

資料

執 筆 者 一 覧

【哺乳類】

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
26	ニホンアシカ	絶滅	佐藤仁志	絶滅	佐藤仁志	－	－
26	ニホンオオカミ	絶滅	大畑純二	絶滅	大畑純二	－	－
27	ニホンカワウソ	絶滅	大畑純二	絶滅	大畑純二	－	－
27	ニホンカモシカ	絶滅	大畑純二	絶滅	大畑純二	－	－
28	ツキノワグマ	絶滅危惧Ⅰ類	大畑純二	絶滅危惧Ⅰ類	大畑純二	緊急保護種	田中幾太郎
29	ミズラモグラ	絶滅危惧Ⅱ類	大畑純二	情報不足	大畑純二	－	－
29	ニホンモモンガ	絶滅危惧Ⅱ類	大畑純二	絶滅危惧Ⅱ類	大畑純二	緊急保護種	田中幾太郎
30	ヤマネ	絶滅危惧Ⅱ類	大畑純二	絶滅危惧Ⅱ類	大畑純二	緊急保護種	田中幾太郎
31	カワネズミ	準絶滅危惧	大畑純二	準絶滅危惧	大畑純二	要注意種	大畑純二
31	コモグラ(西日本産小型アズマモグラ)	準絶滅危惧	大畑純二	情報不足	大畑純二	－	－
31	キクガシラコウモリ	準絶滅危惧	大畑純二	準絶滅危惧	大畑純二	要注意種	大畑純二
32	コキクガシラコウモリ	準絶滅危惧	大畑純二	準絶滅危惧	大畑純二	要注意種	大畑純二
32	モモジロコウモリ	準絶滅危惧	大畑純二	準絶滅危惧	大畑純二	要注意種	大畑純二
32	ユビナガコウモリ	準絶滅危惧	大畑純二	準絶滅危惧	大畑純二	要注意種	大畑純二
33	テングコウモリ	準絶滅危惧	大畑純二	準絶滅危惧	大畑純二	要注意種	大畑純二
33	コテングコウモリ	準絶滅危惧	大畑純二	準絶滅危惧	大畑純二	要注意種	大畑純二
33	ニホンイタチ	準絶滅危惧	大畑純二	準絶滅危惧	大畑純二	要注意種	大畑純二
34	ホンドノレンコウモリ※	情報不足	大畑純二	情報不足	大畑純二	－	－
34	ニホンリス	情報不足	大畑純二	情報不足	大畑純二	－	－

(今回の改訂により掲載対象外となった種)

－	ホンシュウジカ	－	－	準絶滅危惧	大畑純二	要保護種	大畑純二
---	---------	---	---	-------	------	------	------

(2004 改訂により掲載対象外となった種)

－	キュウシュウノレンコウモリ	－	－	－	－	要注意種	大畑純二
---	---------------	---	---	---	---	------	------

※ 25 ページ参照

【鳥類】

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
37	トキ	絶滅	佐藤仁志	絶滅	佐藤仁志	－	－
38	カラスバト	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	緊急保護種	佐藤仁志・井山明
38	ヒメクロウミツバメ	絶滅危惧Ⅰ類	森茂晃・佐藤仁志	情報不足	佐藤仁志	－	－
39	ヨシゴイ	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	要注意種	井山 明
39	オオヨシゴイ	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	要注意種	佐藤仁志・井山明
40	カンムリウミスズメ	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志・森茂晃	情報不足	佐藤仁志	－	－
40	ハチクマ	絶滅危惧Ⅰ類	森 茂晃	絶滅危惧Ⅰ類	森 茂晃	緊急保護種	井山明・佐藤仁志
41	オオタカ	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	－	－
41	サシバ	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	要保護種	井山 明
42	クマタカ	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	緊急保護種	佐藤仁志・井山明
42	ブッポウソウ	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	要注意種	井山 明
43	ハヤブサ	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	緊急保護種	佐藤仁志・井山明
43	ヤイロチョウ	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	要保護種	佐藤仁志・井山明
44	ウチヤマセンニュウ	絶滅危惧Ⅰ類	森 茂晃	－	－	－	－
44	イワミセキレイ	絶滅危惧Ⅰ類	佐藤仁志・森茂晃	情報不足	佐藤仁志	要保護種	佐藤仁志・井山明
45	コイカル	絶滅危惧Ⅰ類	森 茂晃	情報不足	森 茂晃	要注意種	井山 明
46	ヒシクイ	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	要注意種	佐藤仁志・井山明
46	カリガネ	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	－	－

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
47	オオハクチョウ	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	－	－
47	アカツクシガモ	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	要保護種	佐藤仁志・井山明
48	ミゾゴイ	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	情報不足	森 茂晃	－	－
48	クロツラヘラサギ	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	－	－
49	クイナ	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	要注意種	井山 明
49	ヒクイナ	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	要注意種	井山 明
50	ヨタカ	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	要注意種	井山 明
50	タマシギ	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	要注意種	井山 明
51	コアジサシ	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	要注意種	井山 明
51	ミサゴ	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	要保護種	佐藤仁志・井山明
52	オジロワシ	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	要保護種	井山 明
52	チュウヒ	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	準絶滅危惧	森 茂晃	－	－
53	オオコノハズク	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	要注意種	井山 明
53	コノハズク	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	要注意種	佐藤仁志・井山明
54	アカショウビン	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	要保護種	佐藤仁志・井山明
54	ヤマセミ	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	要注意種	井山 明
55	マガン	準絶滅危惧	佐藤仁志	準絶滅危惧	佐藤仁志	要注意種	井山 明
55	コハクチョウ	準絶滅危惧	佐藤仁志	準絶滅危惧	佐藤仁志	要注意種	井山 明
55	ツクシガモ	準絶滅危惧	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	－	－
56	オシドリ	準絶滅危惧	佐藤仁志	準絶滅危惧	佐藤仁志	要注意種	井山 明
56	トモエガモ	準絶滅危惧	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	－	－
56	サンカノゴイ	準絶滅危惧	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	－	－
57	クロサギ	準絶滅危惧	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	要注意種	井山 明
57	イカルチドリ	準絶滅危惧	佐藤仁志	準絶滅危惧	佐藤仁志	－	－
57	シロチドリ	準絶滅危惧	森茂晃・星野由美子	準絶滅危惧	佐藤仁志	－	－
58	ハマシギ	準絶滅危惧	佐藤仁志	準絶滅危惧	佐藤仁志	－	－
58	ハイイロチュウヒ	準絶滅危惧	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	－	－
58	フクロウ	準絶滅危惧	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	－	－
59	アオバズク	準絶滅危惧	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	－	－
59	トラフズク	準絶滅危惧	佐藤仁志	準絶滅危惧	佐藤仁志	－	－
59	コミミズク	準絶滅危惧	佐藤仁志	準絶滅危惧	佐藤仁志	－	－
60	チョウゲンボウ	準絶滅危惧	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	－	－
60	ホオアカ	準絶滅危惧	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	要注意種	井山 明
61	コクガン	情報不足	森 茂晃	情報不足	森 茂晃	－	－
61	オオミズナギドリ	情報不足	佐藤仁志	情報不足	佐藤仁志	－	－
61	コウノトリ	情報不足	森 茂晃	情報不足	森 茂晃	－	－
61	ヘラサギ	情報不足	森 茂晃	情報不足	森 茂晃	－	－
62	ササゴイ	情報不足	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	－	－
62	マナヅル	情報不足	佐藤仁志	情報不足	佐藤仁志	－	－
62	ナベヅル	情報不足	佐藤仁志	情報不足	佐藤仁志	－	－
62	セイタカシギ	情報不足	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	－	－
63	オオジシギ	情報不足	森 茂晃	情報不足	森 茂晃	要保護種	井山 明
63	ハウロクシギ	情報不足	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	－	－
63	ズグロカモメ	情報不足	森 茂晃	情報不足	森 茂晃	－	－
63	マダラウミスズメ	情報不足	佐藤仁志	情報不足	佐藤仁志	－	－
64	ウミスズメ	情報不足	佐藤仁志	情報不足	佐藤仁志	－	－
64	コウミスズメ	情報不足	佐藤仁志	情報不足	佐藤仁志	－	－
64	オオワシ	情報不足	佐藤仁志	情報不足	佐藤仁志	－	－
64	ツミ	情報不足	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	要注意種	井山 明
65	ハイタカ	情報不足	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	要注意種	井山 明

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
65	イヌワシ	情報不足	森 茂晃	情報不足	森 茂晃	－	－
65	コチョウゲンボウ	情報不足	森 茂晃	情報不足	森 茂晃	－	－
65	サンショウクイ	情報不足	森 茂晃	絶滅危惧Ⅱ類	森 茂晃	－	－
66	サンコウチョウ	情報不足	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	要注意種	井山 明
66	アカモズ	情報不足	森 茂晃	情報不足	森 茂晃	要注意種	井山 明
66	コシアカツバメ	情報不足	星野由美子	－	－	－	－
66	コヨシキリ	情報不足	佐藤仁志	情報不足	佐藤仁志	要注意種	井山 明
67	ホシムクドリ	情報不足	森 茂晃	準絶滅危惧	森 茂晃	要注意種	井山 明
67	コルリ	情報不足	森 茂晃	－	－	－	－
67	ノビタキ	情報不足	森 茂晃	情報不足	森 茂晃	要注意種	井山 明
67	コサメビタキ	情報不足	星野由美子	－	－	－	－
68	クロジ	情報不足	森 茂晃	－	－	－	－

【両生類・爬虫類】

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
72	オオサンショウウオ	絶滅危惧Ⅱ類	松野煒・秋吉英雄	絶滅危惧Ⅱ類	松野煒・秋吉英雄	要保護種	松野 煒
72	オキサンショウウオ	絶滅危惧Ⅱ類	野津 大	絶滅危惧Ⅱ類	野津 大	要保護種	野津 大
73	カスミサンショウウオ	準絶滅危惧	秋吉英雄・松野煒	－	－	－	－
73	ブチサンショウウオ	準絶滅危惧	秋吉英雄・松野煒	準絶滅危惧	秋吉英雄・松野煒	－	－
73	ヒダサンショウウオ	準絶滅危惧	秋吉英雄・松野煒	準絶滅危惧	秋吉英雄・松野煒	要保護種	松野 煒
74	ハコネサンショウウオ	準絶滅危惧	秋吉英雄・松野煒	準絶滅危惧	秋吉英雄・松野煒	－	－
74	タゴガエル	準絶滅危惧	秋吉英雄	準絶滅危惧	秋吉英雄・井上明日香	－	－
74	オキタゴガエル	準絶滅危惧	岩田貴之	絶滅危惧Ⅱ類	野津 大	要注意種	野津 大
75	モリアオガエル	準絶滅危惧	秋吉英雄	準絶滅危惧	秋吉英雄・井上明日香	要注意種	松野 煒
75	カジカガエル	準絶滅危惧	秋吉英雄	準絶滅危惧	秋吉英雄・井上明日香	要注意種	松野 煒
75	ジムグリ	準絶滅危惧	秋吉英雄	準絶滅危惧	秋吉英雄	－	－
76	ヒバカリ	準絶滅危惧	秋吉英雄	準絶滅危惧	秋吉英雄	－	－
76	シロマダラ	準絶滅危惧	秋吉英雄	準絶滅危惧	秋吉英雄	－	－
76	タカチホヘビ	準絶滅危惧	秋吉英雄	準絶滅危惧	秋吉英雄	－	－
77	ナガレタゴガエル	情報不足	岩田貴之	－	－	－	－

【汽水・淡水魚類】

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
82	ドウクツミミズハゼ	絶滅	山口勝秀	絶滅	佐藤仁志	－	－
83	ミナミアカヒレタビラ	絶滅危惧Ⅰ類	鴛海智佳	絶滅危惧Ⅰ類	山口勝秀	要保護種	越川敏樹
83	イシドジョウ	絶滅危惧Ⅰ類	山口勝秀	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	要保護種	田中幾太郎
84	ゴギ	絶滅危惧Ⅰ類	山口勝秀	絶滅危惧Ⅰ類	青山徳久	要保護種	田中幾太郎
84	日本海系イトヨ	絶滅危惧Ⅰ類	中野浩史	絶滅危惧Ⅱ類	越川敏樹	要注意種	越川敏樹
85	クルマサヨリ	絶滅危惧Ⅰ類	田久和剛史	絶滅危惧Ⅱ類	越川敏樹	－	－
85	オヤニラミ	絶滅危惧Ⅰ類	中野浩史	絶滅危惧Ⅰ類	佐々木興	要保護種	田中幾太郎
86	スナヤツメ南方種	絶滅危惧Ⅱ類	桑原友春	絶滅危惧Ⅱ類	越川敏樹	要注意種	田中幾太郎
86	カワヤツメ	絶滅危惧Ⅱ類	山口勝秀	絶滅危惧Ⅱ類	越川敏樹	要保護種	越川敏樹
87	サクラマス	絶滅危惧Ⅱ類	山口勝秀	絶滅危惧Ⅱ類	越川敏樹	－	－
87	ヨウジウオ	絶滅危惧Ⅱ類	山口勝秀	－	－	－	－
88	サンゴタツ	絶滅危惧Ⅱ類	山口勝秀	－	－	－	－
88	ガジカ（大卵型：河川陸封型）※	絶滅危惧Ⅱ類	山口勝秀	－	－	－	－
89	イシドンコ	絶滅危惧Ⅱ類	中野浩史	準絶滅危惧	佐藤仁志	－	－

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
89	ルリヨシノボリ	絶滅危惧Ⅱ類	山口勝秀	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	要保護種	越川敏樹
90	シンジコハゼ	絶滅危惧Ⅱ類	山口勝秀	絶滅危惧Ⅱ類	越川敏樹	要保護種	越川敏樹
91	アブラボテ	準絶滅危惧	山口勝秀	準絶滅危惧	青山徳久	要注意種	越川敏樹
91	ズナガニゴイ	準絶滅危惧	山口勝秀	準絶滅危惧	佐藤仁志	要注意種	越川敏樹
91	サンインコガタスジシマドジョウ	準絶滅危惧	中野浩史	情報不足	越川敏樹	－	－
92	アカザ	準絶滅危惧	山口勝秀	準絶滅危惧	越川敏樹	要注意種	越川敏樹
92	アユカケ（カマキリ）	準絶滅危惧	山口勝秀	準絶滅危惧	山口勝秀	要注意種	越川敏樹
92	ウツセコガサ（小卵型・中卵型・両側回遊型）※	準絶滅危惧	山口勝秀	－	－	－	－
93	オオヨシノボリ	準絶滅危惧	中野浩史	準絶滅危惧	佐藤仁志	要保護種	越川敏樹
94	カワアナゴ	情報不足	佐々木興	情報不足	佐藤仁志	－	－

（今回の改訂により掲載対象外等となった種）

－	タモロコ	－	－	情報不足	越川敏樹	－	－
－	カジカ ※	－	－	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	要注意種	越川敏樹

※ 81 ページ参照

【昆虫類】

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
106	ヒメシロチョウ	絶滅	淀江賢一郎	－	－	－	－
107	コバネアオイトトンボ	絶滅危惧Ⅰ類	大浜祥治	絶滅危惧Ⅰ類	大浜祥治	－	－
107	モートンイトトンボ	絶滅危惧Ⅰ類	大浜祥治	準絶滅危惧	祖田 周	－	－
108	ヒロシマサナエ	絶滅危惧Ⅰ類	大浜祥治	絶滅危惧Ⅰ類	大浜祥治	－	－
108	マイコアカネ	絶滅危惧Ⅰ類	大浜祥治	絶滅危惧Ⅰ類	大浜祥治	要注意種	大浜祥治
109	コカワゲラ	絶滅危惧Ⅰ類	剣持康弘	絶滅危惧Ⅰ類	門脇久志	－	－
109	カワラバッタ	絶滅危惧Ⅰ類	林 成多	絶滅危惧Ⅰ類	山内健生	－	－
110	タガメ	絶滅危惧Ⅰ類	林 成多	絶滅危惧Ⅱ類	林 成多	要保護種	尾原和夫
110	トゲナベバタムシ	絶滅危惧Ⅰ類	尾原和夫	絶滅危惧Ⅰ類	林 成多	－	－
111	ハラビロハンミョウ	絶滅危惧Ⅰ類	門脇久志	絶滅危惧Ⅱ類	門脇久志	要保護種	福井修二・永幡嘉之
111	カワラハンミョウ	絶滅危惧Ⅰ類	門脇久志	絶滅危惧Ⅰ類	門脇久志	－	－
112	オオヒョウタンゴミムシ	絶滅危惧Ⅰ類	門脇久志	絶滅危惧Ⅰ類	門脇久志	要保護種	福井修二
112	イワタメクラチビゴミムシ	絶滅危惧Ⅰ類	新部一太郎・星川和夫	絶滅危惧Ⅰ類	星川和夫・新部一太郎	要保護種	門脇久志
113	イソチビゴミムシ	絶滅危惧Ⅰ類	門脇久志	絶滅危惧Ⅰ類	門脇久志	要注意種	淀江賢一郎・増田耕作
113	マルコガタノゲンゴロウ	絶滅危惧Ⅰ類	林 成多	絶滅危惧Ⅰ類	林 成多	－	－
114	ゲンゴロウ	絶滅危惧Ⅰ類	林 成多	絶滅危惧Ⅱ類	林 成多	要注意種	福井修二・永幡嘉之
114	シャープゲンゴロウモドキ	絶滅危惧Ⅰ類	林 成多	絶滅危惧Ⅰ類	林 成多	要保護種	門脇久志・永幡嘉之
115	ダイコクコガネ	絶滅危惧Ⅰ類	鈴木謙治	絶滅危惧Ⅰ類	鈴木謙治	要保護種	福井修二
115	オオハナカミキリ	絶滅危惧Ⅰ類	福井修二	絶滅危惧Ⅰ類	福井修二	要保護種	福井修二
116	カバフキシタバ	絶滅危惧Ⅰ類	三島秀夫	絶滅危惧Ⅰ類	三島秀夫	要注意種	大島弘・門脇久志
116	キマダラルリツバメ	絶滅危惧Ⅰ類	淀江賢一郎	－	－	－	－
117	ルーミスシジミ	絶滅危惧Ⅰ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	緊急保護種	淀江賢一郎
117	ウラナミアカシジミ	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
118	クロシジミ	絶滅危惧Ⅰ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要保護種	淀江賢一郎
118	シルビアシジミ	絶滅危惧Ⅰ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
119	ヒメシジミ本州・九州亜種	絶滅危惧Ⅰ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
119	ゴマシジミ	絶滅危惧Ⅰ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要保護種	淀江賢一郎
120	ウラギンスジヒョウモン	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
120	オオウラギンヒョウモン	絶滅危惧Ⅰ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	緊急保護種	淀江賢一郎
121	ヒョウモンモドキ	絶滅危惧Ⅰ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	緊急保護種	淀江賢一郎

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
121	ウスイロヒヨウモンモドキ	絶滅危惧Ⅰ類	中園洋行・星川和夫	絶滅危惧Ⅰ類	中園洋行・星川和夫	要保護種	淀江賢一郎
122	シータテハ	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
122	ホシミスジ近畿地方以西亜種	絶滅危惧Ⅰ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
123	ウラナミジャノメ本土亜種	絶滅危惧Ⅰ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
123	クロヒカゲモドキ	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要保護種	淀江賢一郎・佐々木保
124	ウラジャノメ	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要保護種	淀江賢一郎
124	キバネセセリ	絶滅危惧Ⅰ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎・佐々木保
125	コキマダラセセリ	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
125	ホシチャバネセセリ	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	絶滅危惧Ⅰ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎・佐々木保
126	オツネトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	長瀬 翔	絶滅危惧Ⅱ類	大浜祥治	要注意種	大浜祥治
126	ゲンバイトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	大浜祥治	絶滅危惧Ⅱ類	大浜祥治	要注意種	大浜祥治
127	ベニイトトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	大浜祥治	－	－	－	－
127	ネアカヨシヤンマ	絶滅危惧Ⅱ類	大浜祥治	準絶滅危惧	大浜祥治	要注意種	三島秀夫
128	ナゴヤサナエ	絶滅危惧Ⅱ類	大浜祥治	絶滅危惧Ⅱ類	大浜祥治	要保護種	大浜祥治
128	ハネピロエゾトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	長瀬 翔	絶滅危惧Ⅱ類	大浜祥治	要注意種	三島秀夫
129	キイロヤマトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	長瀬 翔	絶滅危惧Ⅱ類	祖田 周	要保護種	祖田 周
129	ハッチョウトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	大浜祥治	準絶滅危惧	祖田 周	要注意種	大浜祥治
130	コオイムシ	絶滅危惧Ⅱ類	林 成多	絶滅危惧Ⅰ類	林 成多	－	－
130	ズイムシハナカメムシ	絶滅危惧Ⅱ類	尾原和夫	絶滅危惧Ⅱ類	尾原和夫	－	－
131	ゴミアシナガサシガメ	絶滅危惧Ⅱ類	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	－	－
131	コエゾゼミ	絶滅危惧Ⅱ類	尾原和夫	絶滅危惧Ⅱ類	尾原和夫	－	－
132	サイカチマダラキジラミ	絶滅危惧Ⅱ類	林 成多	－	－	－	－
132	ハマベゴミムシ	絶滅危惧Ⅱ類	林 成多	－	－	－	－
133	コガタノゲンゴロウ	絶滅危惧Ⅱ類	林 成多	絶滅危惧Ⅰ類	林 成多	－	－
133	オキチビハネカクシ	絶滅危惧Ⅱ類	門脇久志	絶滅危惧Ⅱ類	門脇久志	要注意種	福井修二
134	オオツノハネカクシ	絶滅危惧Ⅱ類	林 成多	－	－	－	－
134	アオハナムグリ島前亜種	絶滅危惧Ⅱ類	門脇久志	準絶滅危惧	門脇久志	－	－
135	ツヤネクイハムシ	絶滅危惧Ⅱ類	林 成多	－	－	－	－
135	ニッポンハナダカバチ	絶滅危惧Ⅱ類	前田泰生	絶滅危惧Ⅱ類	前田泰生	－	－
136	キバラハキリバチ	絶滅危惧Ⅱ類	前田泰生	絶滅危惧Ⅱ類	前田泰生	要保護種	杉浦直人・前田泰生
136	オオズグロメバエ	絶滅危惧Ⅱ類	前田泰生	絶滅危惧Ⅱ類	前田泰生	要保護種	杉浦直人・前田泰生
137	ギフチョウ	絶滅危惧Ⅱ類	淀江賢一郎	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要保護種	淀江賢一郎
137	ジャコウアゲハ	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
138	スジボソヤマキチョウ	絶滅危惧Ⅱ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	情報不足	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
138	カラスシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
139	ミヤマカラスシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	情報不足	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
139	ウスイロオナガシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
140	オナガシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
140	ヒロオビミドリシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要保護種	淀江賢一郎
141	ミドリシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
141	クモガタヒヨウモン	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
142	メスグロヒヨウモン	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
142	ミスジチョウ	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎・佐々木保
143	オオムラサキ	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	要保護種	淀江賢一郎・佐々木保
143	ヒメカゲ中部・近畿・中国地方亜種	絶滅危惧Ⅱ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要保護種	淀江賢一郎
144	ギンイチモンジセセリ	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
144	スジグロチャバネセセリ	絶滅危惧Ⅱ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	情報不足	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
145	ミヤマチャバネセセリ	絶滅危惧Ⅱ類	淀江賢一郎・坂田国嗣	情報不足	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
146	アオハダトンボ	準絶滅危惧	祖田 周	準絶滅危惧	祖田 周	要注意種	大浜祥治
146	ムスジイトトンボ	準絶滅危惧	大浜祥治	準絶滅危惧	大浜祥治	－	－

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
146	ホソミイトンボ	準絶滅危惧	祖田 周	準絶滅危惧	祖田 周	－	－
147	ムカシトンボ	準絶滅危惧	大浜祥治	準絶滅危惧	大浜祥治	要注意種	祖田 周
147	サラサヤンマ	準絶滅危惧	長瀬 翔	準絶滅危惧	祖田 周	要注意種	大浜祥治
147	アオヤンマ	準絶滅危惧	祖田 周	準絶滅危惧	祖田 周	要注意種	祖田 周
148	カトリヤンマ	準絶滅危惧	祖田 周	準絶滅危惧	祖田 周	－	－
148	ルリボシヤンマ	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	祖田 周	要注意種	祖田 周
148	ヒメサナエ	準絶滅危惧	大浜祥治	準絶滅危惧	大浜祥治	要注意種	大浜祥治
149	タバサナエ	準絶滅危惧	大浜祥治	準絶滅危惧	大浜祥治	－	－
149	キイロサナエ	準絶滅危惧	長瀬 翔	準絶滅危惧	大浜祥治	要注意種	祖田 周
149	ムカシヤンマ	準絶滅危惧	祖田 周	準絶滅危惧	祖田 周	要注意種	三島秀夫
150	エゾトンボ	準絶滅危惧	大浜祥治	－	－	－	－
150	ヒメアカネ	準絶滅危惧	祖田 周	準絶滅危惧	祖田 周	－	－
150	ミヤマアカネ	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	祖田 周	－	－
151	ウスバカマキリ	準絶滅危惧	林 成多	情報不足	山内健生	－	－
151	ハマスズ	準絶滅危惧	林 成多	情報不足	山内健生	－	－
151	ショウリョウバッタモドキ	準絶滅危惧	林 成多	情報不足	山内健生	－	－
152	セグロイナゴ	準絶滅危惧	林 成多	情報不足	山内健生	－	－
152	ヤマトマダラバッタ	準絶滅危惧	林 成多	－	－	－	－
152	ガロアムシ類	準絶滅危惧	門脇久志	準絶滅危惧	門脇久志	要注意種	門脇久志
153	マエグロハネナガウンカ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－
153	シリアカハネナガウンカ	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－	－	－
153	アヤヘリハネナガウンカ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－
154	エゾゼミ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－
154	アカエゾゼミ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	要注意種	尾原和夫
154	ハルゼミ	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－	－	－
155	エゾハルゼミ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	要注意種	尾原和夫
155	ヒメハルゼミ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	要注意種	尾原和夫
155	エノキカイガラキジラミ	準絶滅危惧	林 成多	－	－	－	－
156	ヒメミズカマキリ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－
156	ホッケミズムシ	準絶滅危惧	尾原和夫	絶滅危惧Ⅱ類	尾原和夫	－	－
156	オオミズムシ	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－	－	－
157	ウミミズカメムシ	準絶滅危惧	林 成多	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－
157	オヨギカタビロアメンボ	準絶滅危惧	川野敬介	－	－	－	－
157	エサキアメンボ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	要保護種	村路雅彦
158	アカスジオオカスミカメムシ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－
158	アダチアカサシガメ	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－	－	－
158	ハマベナガカメムシ	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－	－	－
159	ヨツモンカメムシ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－
159	シロヘリツチカメムシ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－
159	ハマベツチカメムシ	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－	－	－
160	フタテンカメムシ	準絶滅危惧	尾原和夫	絶滅危惧Ⅱ類	尾原和夫	要注意種	林原毅一郎
160	アカアシクチブトカメムシ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－
160	アオクチブトカメムシ	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－	－	－
161	フトハサミツノカメムシ	準絶滅危惧	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	－	－
161	ハマベウスバカゲロウ	準絶滅危惧	林 成多	－	－	－	－
161	セアカオサムシ	準絶滅危惧	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
162	イズモメクラチビゴミムシ	準絶滅危惧	新部一太郎	－	－	－	－
162	タイシャクナガチビゴミムシ※	準絶滅危惧	新部一太郎	－	－	－	－
162	コマルケシゲンゴロウ	準絶滅危惧	林 成多	準絶滅危惧	林 成多	－	－
163	コオナガミズスマシ	準絶滅危惧	林 成多	－	－	－	－

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
163	ミズスマシ	準絶滅危惧	林 成多	情報不足	林 成多	－	－
163	チュウブホソガムシ	準絶滅危惧	林 成多	情報不足	林 成多	－	－
164	ルリクワガタ	準絶滅危惧	福井修二	準絶滅危惧	福井修二	－	－
164	キンキコルリクワガタ	準絶滅危惧	福井修二	準絶滅危惧	福井修二	－	－
164	ヒメオオクワガタ	準絶滅危惧	福井修二	準絶滅危惧	福井修二	要注意種	福井修二
165	オオセンチコガネ	準絶滅危惧	鈴木謙治	準絶滅危惧	鈴木謙治	－	－
165	シナノエンマコガネ	準絶滅危惧	林 成多	情報不足	鈴木謙治	－	－
165	ミツノエンマコガネ	準絶滅危惧	林 成多	情報不足	鈴木謙治	－	－
166	ニセマグソコガネ	準絶滅危惧	鈴木謙治	準絶滅危惧	鈴木謙治	－	－
166	コブナシコブスジコガネ	準絶滅危惧	林 成多	情報不足	鈴木謙治	－	－
166	アカダラハナムケ (アカダラコガネ) ※	準絶滅危惧	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
167	オオチャイロハナムグリ	準絶滅危惧	福井修二	準絶滅危惧	福井修二	要保護種	福井修二
167	アヤスジミゾドロムシ	準絶滅危惧	林 成多	－	－	－	－
167	ケスジドロムシ	準絶滅危惧	林 成多	－	－	－	－
168	ハガマルヒメドロムシ	準絶滅危惧	林 成多	－	－	－	－
168	ヨコミゾドロムシ	準絶滅危惧	林 成多	－	－	－	－
168	イソジョウカイモドキ	準絶滅危惧	門脇久志	情報不足	門脇久志	－	－
169	オオキノコムシ	準絶滅危惧	福井修二	準絶滅危惧	福井修二	要注意種	福井修二
169	マクガタテントウ	準絶滅危惧	星川和夫	準絶滅危惧	星川和夫・本田あい	要注意種	星川和夫
169	ペーヅヒラタカミキリ	準絶滅危惧	福井修二	準絶滅危惧	福井修二	要注意種	門脇久志
170	スネケブカヒロコバナカミキリ	準絶滅危惧	門脇久志	準絶滅危惧	門脇久志	要保護種	門脇久志
170	ヨコヤマヒゲナガカミキリ	準絶滅危惧	福井修二	準絶滅危惧	福井修二	要注意種	福井修二
170	イッシキキモンカミキリ	準絶滅危惧	福井修二	準絶滅危惧	福井修二	要注意種	門脇久志・永幡嘉之
171	キンイロネクイハムシ	準絶滅危惧	林 成多	情報不足	林 成多	－	－
171	スゲハムシ	準絶滅危惧	林 成多	準絶滅危惧	林 成多	－	－
171	ヤマトスナハキバチ	準絶滅危惧	前田泰生	準絶滅危惧	前田泰生	－	－
172	キオビホナガスズメバチ本州亜種	準絶滅危惧	前田泰生	準絶滅危惧	前田泰生	要注意種	前田泰生・杉浦直人
172	キヌゲハキリバチ	準絶滅危惧	前田泰生	準絶滅危惧	前田泰生	－	－
172	チビトガリハナバチ	準絶滅危惧	前田泰生	準絶滅危惧	前田泰生	要注意種	前田泰生・杉浦直人
173	ネジロハキリバチ	準絶滅危惧	前田泰生	準絶滅危惧	前田泰生	－	－
173	シロスジコシブトハナバチ	準絶滅危惧	前田泰生	準絶滅危惧	前田泰生	要注意種	杉浦直人・前田泰生
173	ムネグロメバエ	準絶滅危惧	前田泰生	準絶滅危惧	前田泰生	－	－
174	オキナワルリチラシ	準絶滅危惧	門脇久志	準絶滅危惧	門脇久志	要注意種	門脇久志
174	シロシモフリエダシャク	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
174	フジキオビ	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
175	スカシサン	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
175	クロウスタビガ	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
175	タツカモクメシャチホコ	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
176	ネズミホソバ	準絶滅危惧	松田隆嗣	絶滅危惧Ⅱ類	門脇久志	要保護種	大島弘・門脇久志
176	ホソバミツモンケンモン	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
176	クビグロケンモン	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
177	ナマリキリガ	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
177	ムラサキミツボシキリガ	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
177	ヨスジキリガ	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
178	ツクシカラスヨトウ	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
178	コシロシタバ	準絶滅危惧	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
178	クロシモフリアツバ	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	要注意種	大島弘・門脇久志
179	コトラガ	準絶滅危惧	三島秀夫	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
179	オナガアゲハ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	情報不足	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
179	ツマグロキチョウ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
180	ゴイシシジミ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	情報不足	淀江賢一郎・坂田国嗣	—	—
180	ウラゴマダラシジミ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
180	ウラキンシジミ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	—	—
181	フジミドリシジミ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
181	ウラジロミドリシジミ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	—	—
181	ハヤシミドリシジミ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
182	エゾミドリシジミ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
182	クロミドリシジミ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
182	ヒサマツミドリシジミ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	要注意種	淀江賢一郎
183	キリシマミドリシジミ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	絶滅危惧Ⅱ類	坂田国嗣・淀江賢一郎	要保護種	淀江賢一郎
183	スギタニルリシジミ	準絶滅危惧	淀江賢一郎・坂田国嗣	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	—	—
183	ホシミスズ隠岐亜種	準絶滅危惧	淀江賢一郎	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	—	—
184	アサマイチモンジ	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	—	—	—	—
184	オオチャバネセセリ	準絶滅危惧	坂田国嗣・淀江賢一郎	情報不足	坂田国嗣・淀江賢一郎	—	—
185	コバネコロギス	情報不足	大浜祥治	情報不足	山内健生	—	—
185	ハタケノウマオイ	情報不足	林 成多	情報不足	山内健生	—	—
185	カヤコオロギ	情報不足	林 成多	情報不足	山内健生	—	—
185	イソハサミムシ	情報不足	林 成多	—	—	—	—
186	ムネアカアワフキ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
186	チッチゼミ	情報不足	尾原和夫	—	—	—	—
186	キスジハネビロウンカ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
186	アリヅカウンカ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
187	キボシマルウンカ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
187	カタビロクサビウンカ	情報不足	尾原和夫	準絶滅危惧	尾原和夫	—	—
187	キノカワハゴロモ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
187	スケバハゴロモ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
188	ヒメベッコウハゴロモ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
188	シャシャンボキジラミ	情報不足	林 成多	—	—	—	—
188	ミズカメムシ	情報不足	川野敬介	—	—	—	—
188	ミヤケミズムシ	情報不足	尾原和夫	—	—	—	—
189	イトアメンボ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
189	キバネアシブトマキバサシガメ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
189	アシマダラアカサシガメ	情報不足	尾原和夫	—	—	—	—
189	クロバアカサシガメ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
190	オオアシナガサシガメ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
190	マダラカモドキサシガメ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
190	ヒゲナガサシガメ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
190	クビアカサシガメ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
191	ウデワユミアシサシガメ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
191	オオメダカナガカメムシ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
191	ヒメマダラナガカメムシ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
191	ノコギリカメムシ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
192	ウシカメムシ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
192	イシハラカメムシ	情報不足	尾原和夫	—	—	—	—
192	エゾツノカメムシ	情報不足	尾原和夫	情報不足	尾原和夫	—	—
192	カワラゴミムシ	情報不足	林 成多	—	—	—	—
193	コハンミョウ	情報不足	福井修二	—	—	—	—
193	アイヌハンミョウ	情報不足	福井修二	—	—	—	—
193	コニワハンミョウ	情報不足	福井修二	—	—	—	—
193	ホソハンミョウ	情報不足	福井修二	—	—	—	—

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
194	ノツメクラチビゴミムシ	情報不足	新部一太郎	－	－	－	－
194	ササジメクラチビゴミムシ	情報不足	新部一太郎	－	－	－	－
194	マシダナガゴミムシ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
194	オキナガゴミムシ	情報不足	門脇久志	情報不足	門脇久志	－	－
195	ウミホソチビゴミムシ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
195	ウミミズギワゴミムシ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
195	マダラコガシラミズムシ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
195	ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	情報不足	川野敬介	－	－	－	－
196	マルケシゲンゴロウ	情報不足	林 成多	情報不足	林 成多	－	－
196	ヒメミズスマシ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
196	コミズスマシ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
196	エゾコガムシ	情報不足	川野敬介	－	－	－	－
197	クロコブセスジダルマガムシ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
197	ヤマトモンシデムシ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
197	ウマヅライソハネカクシ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
197	ツマグロマルハナノミ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
198	ホソキマルハナノミ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
198	オニクワガタ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
198	マダラクワガタ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
198	ネプトクワガタ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
199	ムネアカセンチコガネ	情報不足	鈴木謙治	情報不足	鈴木謙治	－	－
199	ツノコガネ	情報不足	鈴木謙治	情報不足	鈴木謙治	－	－
199	クロオビマグソコガネ	情報不足	鈴木謙治	情報不足	鈴木謙治	要注意種	福井修二
199	セスジカクマグソコガネ	情報不足	鈴木謙治	情報不足	鈴木謙治	－	－
200	オキチャイロコガネ	情報不足	鈴木謙治	情報不足	鈴木謙治	－	－
200	オオタケチャイロコガネ※	情報不足	鈴木謙治	情報不足	鈴木謙治	－	－
200	アオアシナガハナムグリ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
200	シラホシダエンマルトゲムシ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
201	ババチビドロムシ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
201	ヒゲナガヒラタドロムシ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
201	ヤマトタマムシ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
201	アオマダラタマムシ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	要注意種	福井修二・永幡嘉之
202	クロマダラタマムシ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
202	ガロアムネスジダンダラコメツキ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
202	オオベニホソヒラタコメツキ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
202	ムネアカツヤケシコメツキ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
203	カドワキツヤミズギワコメツキ	情報不足	門脇久志	情報不足	門脇久志	－	－
203	ヒメボタル	情報不足	川野敬介	情報不足	林 成多	－	－
203	スジグロボタル	情報不足	川野敬介	－	－	－	－
203	ルリヒラタムシ	情報不足	福井修二	－	－	－	－
204	キロテントウゴミムシダマシ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
204	オキツヤヒサゴミムシダマシ	情報不足	門脇久志	情報不足	門脇久志	－	－
204	クロオオハナノミ	情報不足	福井修二	－	－	－	－
204	クロゲンセイ	情報不足	皆木宏明	－	－	－	－
205	フタスジカタビロハナカミキリ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
205	クロソンホソハナカミキリ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
205	オオホソコバナカミキリ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
205	ヒゲシロホソコバナカミキリ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
206	クロサワヒメコバナカミキリ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
206	トラフホソバナカミキリ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
206	ルリボシカミキリ	情報不足	門脇久志	情報不足	門脇久志	－	－
206	オオアオカミキリ	情報不足	門脇久志	情報不足	門脇久志	－	－
207	ヤノトラカミキリ	情報不足	門脇久志	情報不足	門脇久志	－	－
207	キュウシュウチビトラカミキリ	情報不足	門脇久志	情報不足	門脇久志	－	－
207	モンクロベニカミキリ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
207	タキグチモモトホソカミキリ	情報不足	門脇久志	情報不足	門脇久志	－	－
208	クピアカモトホソカミキリ	情報不足	門脇久志・八幡浩二	絶滅危惧Ⅰ類	門脇久志・八幡浩二	－	－
208	アヤモンチビカミキリ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
208	ダイセンセダコブヤハズカミキリ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
208	ハンノキカミキリ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
209	アサカミキリ	情報不足	福井修二	絶滅危惧Ⅰ類	福井修二	－	－
209	ヒメマルミツギリゾウムシ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
209	ミツギリゾウムシ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
209	バッキンガムカギアシゾウムシ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
210	タカハシトゲゾウムシ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
210	ババスゲヒメゾウムシ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
210	クロホシタマクモゾウムシ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
210	モジャモジャツチイロゾウムシ	情報不足	福井修二	情報不足	福井修二	－	－
211	フクイアナバチ	情報不足	皆木宏明	－	－	－	－
211	ウマノオバチ	情報不足	宮永龍一	情報不足	宮永龍一	－	－
211	ダルマアリ	情報不足	伊藤文紀・福井修二	－	－	－	－
211	キバジュズフシアリ	情報不足	伊藤文紀・福井修二	－	－	－	－
212	ケンランアリノスアブ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
212	ネグロクサアブ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
212	ゴヘイニクバエ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
212	カラフトゴマフトビケラ	情報不足	門脇久志	情報不足	門脇久志	－	－
213	ギンボシツツトビケラ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
213	ビワアシエダトビケラ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
213	モリクサツミトビケラ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
213	ウジセトビケラ(ウジシメセトビケラ)	情報不足	林 成多	－	－	－	－
214	アイミヤマシマトビケラ	情報不足	林 成多	－	－	－	－
214	ハマゴウノメイガ	情報不足	松田隆嗣	－	－	－	－
214	ギンツバメ	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
214	クロモンチビヒメシャク	情報不足	松田隆嗣	－	－	－	－
215	ムネシロテンカバナミシャク	情報不足	松田隆嗣・三島秀夫	情報不足	三島秀夫	要注意種	大島弘・門脇久志
215	トガリバナミシャク	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
215	フタキシジエダシャク	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
215	ワタナベカレハ	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
216	オナガミズアオ	情報不足	松田隆嗣	－	－	－	－
216	ギンボシスズメ	情報不足	松田隆嗣	－	－	－	－
216	スキバホウジャク	情報不足	松田隆嗣	－	－	－	－
216	ナカスジシャチホコ	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
217	エゾクシヒゲシャチホコ	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
217	ウスジロドクガ	情報不足	松田隆嗣	－	－	－	－
217	ナチキシタドクガ	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
217	トラサンドクガ	情報不足	松田隆嗣	－	－	－	－
218	シロホソバ	情報不足	松田隆嗣	－	－	－	－
218	ニセオオコブガ	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	要注意種	大島弘・門脇久志
218	ヒメネグロケンモン	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
218	スギタニゴマケンモン	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
219	ゴマシオケンモン	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
219	ウスズミケンモン	情報不足	松田隆嗣	－	－	－	－
219	クビジロツメヨトウ	情報不足	大浜祥治	－	－	－	－
219	アヤモクメキリガ	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
220	ムラサキハガタヨトウ	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
220	キスジウスキヨトウ	情報不足	松田隆嗣	－	－	－	－
220	トビイロアカガネヨトウ	情報不足	三島秀夫	－	－	－	－
220	ムラサキシタバ	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
221	ナマリキシタバ	情報不足	松田隆嗣	－	－	－	－
221	ヨシノキシタバ	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
221	ヒメアシプトクチバ	情報不足	三島秀夫	情報不足	三島秀夫	－	－
221	オオミドリシジミ	情報不足	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－	－	－

(今回の改訂により掲載対象外等となった種)

－	オオカワトンボ	－	－	準絶滅危惧	大浜祥治	－	－
－	マルタンヤンマ	－	－	準絶滅危惧	大浜祥治	－	－
－	オオルリボシヤンマ	－	－	準絶滅危惧	大浜祥治	要注意種	大浜祥治
－	アオサナエ	－	－	準絶滅危惧	祖田 周	－	－
－	クロサナエ	－	－	準絶滅危惧	祖田 周	－	－
－	コサナエ	－	－	準絶滅危惧	大浜祥治	－	－
－	トラフトンボ	－	－	準絶滅危惧	祖田 周	－	－
－	タイリクアカネ	－	－	準絶滅危惧	大浜祥治	－	－
－	コノシメトンボ	－	－	準絶滅危惧	大浜祥治	－	－
－	キトンボ	－	－	準絶滅危惧	祖田 周	－	－
－	クツワムシ	－	－	準絶滅危惧	山内健生	－	－
－	カヤキリ	－	－	情報不足	山内健生	－	－
－	キュウシュウエゾゼミ	－	－	情報不足	尾原和夫	－	－
－	ハマダナガチビゴミシ※	－	－	準絶滅危惧	門脇久志	要注意種	増田耕作・淀江賢一郎
－	ダイセンナガチビゴミシ※	－	－	情報不足	福井修二	－	－
－	ミスミメクラチビゴミシ	－	－	情報不足	福井修二	－	－
－	オキオサムシ	－	－	情報不足	福井修二	－	－
－	オキマイマイカブリ	－	－	情報不足	福井修二	－	－
－	ハマダラハルカ	－	－	情報不足	星川和夫	－	－
－	ウスベニトガリバ	－	－	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
－	ウスズミカレハ	－	－	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
－	ヒサゴズメ	－	－	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
－	コシロオビドクガ	－	－	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
－	シロフヒメケンモン	－	－	情報不足	三島秀夫	－	－
－	ウスアカヤガ	－	－	情報不足	三島秀夫	－	－
－	アミメキシタバ	－	－	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
－	ウスイロキシタバ	－	－	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
－	テングアツバ	－	－	準絶滅危惧	三島秀夫	－	－
－	オオウラギンスジヒョウモン	－	－	情報不足	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－
－	キマダラモドキ	－	－	情報不足	坂田国嗣・淀江賢一郎	－	－

(2004 改訂により掲載対象外となった種)

－	アカスジオオメクラガメ	－	－	－	－	要注意種	尾原和夫
－	キバリゴマフエダシャク	－	－	－	－	要注意種	大島弘・門脇久志
－	ムラサキツバメ	－	－	－	－	要注意種	淀江賢一郎

※ 105 ページ参照

【クモ類】

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
225	イソコモリグモ	絶滅危惧Ⅱ類	景山純孝	－	－	－	－
226	ワスレナグモ	準絶滅危惧	景山純孝	準絶滅危惧	景山純孝	－	－
226	キノボリトタテグモ	準絶滅危惧	景山純孝	絶滅危惧Ⅰ類	景山純孝	－	－
226	キジロオヒキグモ	準絶滅危惧	景山純孝	準絶滅危惧	景山純孝	－	－
227	ムロズミソレグモ	情報不足	景山純孝	情報不足	景山純孝	－	－
227	コマツエンマグモ	情報不足	景山純孝	情報不足	景山純孝	－	－
227	テナガマシラグモ	情報不足	景山純孝	情報不足	景山純孝	－	－
227	タカユヒメグモ	情報不足	景山純孝	情報不足	景山純孝	－	－
228	タイリクユウレイグモ	情報不足	景山純孝	情報不足	景山純孝	－	－
228	ムラクモヒシガタグモ	情報不足	景山純孝	情報不足	景山純孝	－	－
228	ツシマトリノフンダマシ	情報不足	景山純孝	－	－	－	－
228	ヤマトカナエグモ	情報不足	景山純孝	情報不足	景山純孝	－	－
229	アメイロハエトリ	情報不足	景山純孝	情報不足	景山純孝	－	－
229	カトウツケオグモ	情報不足	景山純孝	情報不足	景山純孝	－	－

【甲殻類】

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
233	ハマガニ	絶滅危惧Ⅰ類	桑原友春	－	－	－	－
234	ミナミテナガエビ	準絶滅危惧	桑原友春	絶滅危惧Ⅱ類	佐藤仁志	－	－
234	ヒラテナガエビ(ヤマトテナガエビ)	準絶滅危惧	桑原友春	－	－	－	－
234	ヒメヌマエビ	準絶滅危惧	桑原友春	－	－	－	－
235	ヤマトヌマエビ	準絶滅危惧	桑原友春	－	－	－	－
235	ミナミヌマエビ	準絶滅危惧	桑原友春	－	－	－	－
235	マメコブシガニ	準絶滅危惧	桑原友春	－	－	－	－
236	ベンケイガニ	準絶滅危惧	桑原友春	－	－	－	－
237	トゲナシヌマエビ	情報不足	桑原友春	－	－	－	－
237	タイワンヒライソモドキ	情報不足	桑原友春	－	－	－	－
237	フタバカクガニ	情報不足	桑原友春	－	－	－	－
237	シンジコスナウミナナフシ	情報不足	山内健生	情報不足	山内健生	－	－
238	ニシカワホラワラジムシ	情報不足	山内健生	情報不足	山内健生	－	－
238	ニホンハマワラジムシ	情報不足	山内健生	情報不足	山内健生	－	－
238	ニッポンヒイロワラジムシ	情報不足	山内健生	情報不足	山内健生	－	－
238	ニシカワハヤシワラジムシ	情報不足	山内健生	情報不足	山内健生	－	－
239	シロコシビロダンゴムシ	情報不足	山内健生	情報不足	山内健生	－	－

【陸・淡水産貝類】

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
243	ニシノシマガセル	絶滅危惧Ⅰ類	戸田顕史	絶滅危惧Ⅰ類	野津 大	要保護種	野津 大
243	オキビロウドマイマイ	絶滅危惧Ⅰ類	戸田顕史	絶滅危惧Ⅰ類	野津 大	要注意種	野津 大
244	アラハダシロマイマイ	絶滅危惧Ⅰ類	戸田顕史	絶滅危惧Ⅰ類	野津 大	要保護種	野津 大
244	カワシンジュガイ	絶滅危惧Ⅰ類	戸田顕史	絶滅危惧Ⅰ類	岡村一郎	要注意種	岡村一郎
245	オキムシオイガイ	絶滅危惧Ⅱ類	戸田顕史	絶滅危惧Ⅱ類	野津 大	要注意種	野津 大
245	オキゴマガイ	絶滅危惧Ⅱ類	戸田顕史	絶滅危惧Ⅱ類	野津 大	要注意種	野津 大
246	ヒメナミギセル	絶滅危惧Ⅱ類	戸田顕史	絶滅危惧Ⅱ類	野津 大	要注意種	野津 大
246	オキノクニキビガイ	絶滅危惧Ⅱ類	戸田顕史	絶滅危惧Ⅱ類	野津 大	要注意種	野津 大

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
247	オキシメクチマイマイ	絶滅危惧Ⅱ類	戸田顕史	絶滅危惧Ⅱ類	野津 大	要注意種	野津 大
247	オキシシキマイマイ	絶滅危惧Ⅱ類	戸田顕史	絶滅危惧Ⅱ類	野津 大	要注意種	野津 大
248	オキマイマイ	絶滅危惧Ⅱ類	戸田顕史	絶滅危惧Ⅱ類	野津 大	要注意種	野津 大
249	ヤマクルマガイ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要保護種	岡村一郎
249	アズキガイ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要保護種	岡村一郎
249	イトウムシオイガイ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要保護種	岡村一郎
250	オカムラムシオイガイ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要保護種	岡村一郎
250	ヤママメタニシ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要保護種	岡村一郎
250	オオゴマガイ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要保護種	岡村一郎
251	ミズゴマツボ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	戸田顕史	－	－
251	クリイロキセルガイモドキ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要保護種	岡村一郎
251	ハンジロギセル	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要保護種	岡村一郎
252	カワモトギセル	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要注意種	岡村一郎
252	モリヤギセル	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要注意種	岡村一郎
252	オオタキコギセル(ヒメコギセル)	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要注意種	岡村一郎
253	シイボルトコギセル	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要保護種	岡村一郎
253	ヘソアキコベソマイマイ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	野津 大	要注意種	野津 大
253	ヤマタカマイマイ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要保護種	岡村一郎
254	ダイセンニシキマイマイ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要保護種	岡村一郎
254	トンガリササノハガイ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要注意種	岡村一郎
254	カラスガイ	準絶滅危惧	戸田顕史	準絶滅危惧	岡村一郎	要注意種	岡村一郎
255	マツカサガイ	準絶滅危惧	戸田顕史	－	－	－	－
255	ニセマツカサガイ	準絶滅危惧	戸田顕史	－	－	－	－
256	サイゴクビロウドマイマイ	情報不足	戸田顕史	情報不足	岡村一郎	要保護種	岡村一郎
256	イワミマイマイ	情報不足	戸田顕史	情報不足	岡村一郎	要注意種	岡村一郎

(今回の改訂により掲載対象外となった種)

－	ユウグレナミギセル	－	－	絶滅危惧Ⅱ類	野津 大	要注意種	野津 大
－	ナガタニシ	－	－	情報不足	岡村一郎	－	－
－	マルドブガイ	－	－	情報不足	岡村一郎	－	－

【サンゴ類】

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
259	イソバナ	準絶滅危惧	秋吉英雄	準絶滅危惧	秋吉英雄	－	－
259	イボヤギ	準絶滅危惧	秋吉英雄	準絶滅危惧	秋吉英雄	－	－
259	ムツサンゴ	準絶滅危惧	秋吉英雄	－	－	－	－

今回の改訂により掲載対象外となった種

－	オノミチキサンゴ	－	－	準絶滅危惧	秋吉英雄	－	－
---	----------	---	---	-------	------	---	---

【淡水海綿類】

掲載 ページ	種名	2014		2004		1997	
		カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者	カテゴリー	執筆者
263	シロカイメン	準絶滅危惧	益田芳樹	準絶滅危惧	益田芳樹	－	－
263	ヨコトネカイメン	準絶滅危惧	益田芳樹	準絶滅危惧	益田芳樹	－	－
264	ツツミカイメン	情報不足	益田芳樹	情報不足	益田芳樹	－	－

文 献

哺乳類文献

- 阿部 永 (1988) 日本産モグラ類の分類と類縁関係. 哺乳類科学, 28 (1) : 63-68.
- 阿部 永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明 (1994) 「日本の哺乳類」. 195pp. 東海大学出版会.
- Abe, H. (1995) Revision of the Asian Mole of the Genus *Mogera*. *J. Mammal. Soc. Japan*, 20 (1) : 51-68.
- Abe, H. (1996) On the Specific names of the Japanese moles of the Genus *Mogera* (Insectivora, Talpidae). *Mammal Study*, 21: 115-123.
- Corbet, G. B. (1978) *The Mammals of the Palaearctic Region: a taxonomic review*. British Museum (Natural History). 314pp. Cornell University Press.
- Ciles, R. H. (Ed.) (1971) *Wild life management techniques* (3rd ed.). 633pp. The Wildlife Society, Washington.
- 藤原 仁 (1959) 比婆山・道後山周辺の哺乳類. 「比婆・船通・道後・帝釈. 郷土科学資」: 39-50. 比婆科学教育振興会.
- 船越公威 (1988) ノレンコウモリの活動期における生息場所と個体群動態. 地域総合研究, 16 (2) : 137-147. 鹿児島経済大学.
- 日高敏隆監修 (1996) 「日本動物大百科1・2」. 156 pp. , 155pp. 平凡社.
- 広島哺乳類談話会 (2000) 「広島県の哺乳類」. 169pp. 中国新聞社.
- 今泉吉晴 (1973) 失われゆく日本の野生動物記ーカワウソ最後の生息地をさぐる. アニマ, 5: 5-16.
- 今泉古典 (1969) 「原色日本哺乳類図鑑」. 196pp. 保育社.
- 今泉古典 (1970) 「日本哺乳動物図説」. 350pp. 新思潮社.
- 今泉古典 (1991) 「分類から進化論へ」. 286pp. 平凡社.
- 今西錦司 (1972) 「生物の世界」. 194pp. 講談社.
- 岩瀬純二 (1973) 山岳の主ーカモシカを追って. アニマ, 8: 18-24.
- 岩瀬純二 (1978) 県内の哺乳類の概要. 動物分布調査報告書 (哺乳類). 第2回自然環境保全基礎調査: 1-30. 鳥根県.
- 金森弘樹・井ノ上二郎・周藤靖雄 (1994) 鳥根半島弥山山地におけるニホンジカの生息環境・生息実態・被害発生の相互関係. 鳥根県林業技術センター研究報告, (45) : 35-46.
- 加藤貞享 (2003) 鳳来寺山のホンドモモンガの生息状況. 鳳来寺山自然科学博物館館報, (32) : 61-68.
- 加藤琢矛・大畑純二 (1994) 哺乳類. 木村コレクション隠岐産動物標本目録 (2). 隠岐の文化財, (11) : 1-10.
- 加藤嘉太郎 (1972) 「増訂改版家畜比較解剖図説 (第4版)」. 290pp. 養賢堂.
- 桑原一司・奥田雅史 (2002) 鳥根県瑞穂町におけるコウモリの越冬洞と繁殖洞. 高原の自然史, (7) : 59-83.
- 前田喜四雄 (1984) 日本産翼手目の採集記録 (I). 哺乳類科学, (49) : 55-78.
- 前田喜四雄 (1986) 日本産翼手目の採集記録 (II). 哺乳類科学, (52) : 79-97.
- 盛永俊太郎・安田健編・谷口澄夫解題 (1987) 隠岐・出雲・播磨・備前・備中, 享保元文諸国産物帳集成第Ⅶ巻9: 124-350. 科学書院.
- 中川顕允 (1820) 工藤忠孝複製 (1973) 石見外記 (全). 113pp. 石見地方未刊資料研究会. 鳥根県立大田高等学校図書館.
- 中島福男 (1997) 徳島県内におけるヤマネ発見の意義. 哺乳類科学, 37 (1) : 75-80. 日本哺乳類学会.
- 中島福男 (2001) 「日本のヤマネ」. 169pp. 信濃毎日新聞社.
- 直良信夫 (1965) 「日本産狼の研究」. 290pp. 校倉書房.
- 日本哺乳類学会編 (1997) 「レッドデータ日本の哺乳類」. 279pp. 日本哺乳類学会.
- 日本哺乳類学会種名・標本検討委員会・目名問題検討作業部会 (2003) 哺乳類の高次分類群および分類階級の日本語名称の提案について. 哺乳類科学, 43 (2) : 127-134.
- 小原秀雄 (1971) 「人類が生き残るために」. 205pp. 国土新書.
- 小原秀雄・川那部浩哉 (1999) 「対論ー多様性と関係性の生態学」. 195pp. 農産漁村文化協会.
- 織田鉄一 (1994) スクラーゼ (二糖類水解酵素) 活性から見た食虫類: とくにトガリネズミ亜科とジネズミ亜科について. 哺乳類科学, 34 (1) : 59-65.
- 大畑純二 (1983) 部分白化のコキクガシラコウモリ見つけた! 科学朝日, 43 (9) : 12.
- 大畑純二 (1984) 石見銀山の哺乳類ーコウモリ. 郷土石見, (13) : 90-94.
- 大畑純二 (1986) 1982年に採集したネズミ類と食虫類. 鳥根野生研会報, (4) : 32-34.
- 大畑純二 (1988) 江津市内の廃坑C洞のコウモリ. 鳥根野生研会報, (5) : 15-18.
- 大畑純二 (1989) 鳥根県で初の、ノレンコウモリの日撃と採集. 鳥根野生研会報, (6) : 12.
- 大畑純二 (1989) 鳥根県におけるコウモリの分布. 鳥根野生研会報, (6) : 1-6.
- 大畑純二 (1990) 鳥根のコウモリ. 鳥根県立江津高校研究紀要, (2) : 25-32.
- 大畑純二 (2003) 鳥根県で初めて棲息が確認されたコモグラとミズラモグラ. 鳥根県立三瓶自然館研究報告, (1) : 3-8.
- 大畑純二 (2013) 三瓶山北の原で採集されたミズラモグラ. 鳥根県立三瓶自然館研究報告, (11) : 55-58.
- Riney, T. (1982) *Study and Management of Large Mammals*. 552pp. JOHN & SONS Ltd.
- 佐藤國康 (2002) 住宅難か電線のクランプカバーにいたヤマネ. 岡山自然保護センターだより, 11 (7) : 5.
- 沢田 勇 (1976) 条虫相からみた日本産キクガシラコウモリ科コウモリの分布に関する2, 3の知見. 動物学雑誌, 35: 40-155.
- 沢田 勇 (1984) 山陰地方における洞穴棲コウモリの分布及びそ

の内部寄生虫相. 奈良教育大学紀要, 33: 33-44.

沢田 勇 (1986) 隠岐諸島における洞穴棲コウモリの分布及びその内部寄生虫相. 奈良産大紀要, 33: 145-151.

Seton, E. T. (1925-28) 今泉吉晴訳 (1998) 「シートン動物誌」, 2: 77-292, 11: 137-190. 紀伊国屋書店.

芝田史仁 (2000) ヤマネ. 「冬眠する哺乳類」: 162-186. 東京大学出版会.

島根県環境生活部自然環境課 (1997) 「しまねレッドデータブック－島根県の保護上重要な野生動植物－(動物編)」. 417pp. 島根県.

島根県農林水産部 (1980) 「島根県に分布する獣類」. 105pp. 島根県.

島根県農林水産部森林整備課 (1986, 1991, 1993, 1996) 島根半島弥山山地におけるニホンジカに関する調査, I: 1-56, II: 1-54, III: 1-42, IV: 1-32. 島根県.

清水善吉 (1989) モモンガの演習林. アニマ, (206): 62-63.

土屋公幸 (1988) 日本産モグラ科の染色体による分類. 哺乳類科学, 28 (1): 49-61.

Wemmer, C. M. (Ed.) (1982) *Biology and Management of the Cervidae*. 577pp. Smithsonian Institution Press, Lndon.

山根 積 (1976) カワウソ. 大國天河内教育史: 181. 大國天河内教育史をつくる会.

吉田博一 (1961) 大山の小哺乳類に関する二、三の知見. 哺乳動物学雑誌, 14 (4-6): 127-131.

鳥類文献

東 淳樹 (2005) 里山の猛禽類－サシバ概観. BIRDER, 19 (6): 20-25.

バードライフ・アジア編 (2003) 「絶滅危惧種・日本の野鳥 バードライフ編レッドデータブックに見る日本の鳥」. 207pp. 東洋館出版社.

遠藤公男編 (1993) 「夏鳥たちの歌は、今」. 262pp. 三省堂.

遠藤孝一・平野敏明 (1983) 栃木県におけるノビタキの繁殖分布と繁殖環境. STRIX, (2): 12-18.

遠藤孝一・平野敏明 (1986) 栃木県におけるオオジシギの分布と生息環境. STRIX, (5): 47-52.

遠藤孝一・平野敏明 (1990) 市街地周辺におけるツミの繁殖記録と営巣環境. 日本鳥学会誌, (39): 35-39.

雁を保護する会 (1994) 圏央道とオオヒシクイについて. 雁のたより, (43): 13-16.

濱田義治 (1966) イワミセキレイの記録. 野鳥, (243): 401.

濱田義治・長廻哲雄・森田 進・石本賢治・安井賢次 (1994) 「しまねの野鳥Ⅱ」. 123pp. 山陰中央新報社.

濱田義治・長廻哲雄・森田 進・佐藤仁志 (1984) 「しまねの野鳥」. 123pp. 山陰中央新報社.

林 宏・岡田 徹 (1992) わが国におけるコアジサシの繁殖状況. STRIX, (11): 157-168.

林 正敏 (1982) 長野県におけるヤイロチョウの繁殖初記録. STRIX, (1): 123-124.

日高敏隆監修／樋口広芳・森岡弘之・山岸 哲編 (1996a) 「日本動物大百科 鳥類Ⅰ」. 182pp. 平凡社.

日高敏隆監修／樋口広芳・森岡弘之・山岸 哲編 (1996b) 「日本動物大百科 鳥類Ⅱ」. 180pp. 平凡社.

東 陽一・桑原和之・金井 裕 (1996) コアジサシ *Sterna albifrons* の営巣地の現状と保全策. STRIX, (14): 143-157.

樋口広芳 (1992) カラスバト－密猟にさらされる照葉樹林の黒いハト. アニマ, (242): 41.

平野敏明・安井さち子 (2001) 渡良瀬遊水地周辺における冬期のチュウビの食性. STRIX, (19): 43-47.

広島県 (2012) 「広島県の絶滅のおそれのある野生生物 (第3版)－レッドデータブックひろしま2011－」. 633pp.

<http://www.wbsj.orj/activity/conservation/endangered-species/bfs-census/#summary>

飯田知彦 (1991) オオジシギの繁殖行動と生息環境. STRIX, (10): 31-50.

飯田知彦 (1992) 電柱を営巣場所にするブッポウソウの繁殖分布. STRIX, (11): 99-108.

飯田知彦 (2006) ブッポウソウの巣箱かけプロジェクト. BIRDER, 20 (6): 43-45.

池田善英・井上陽一・須藤一成・夜久保徳・安田亘之・久保上宗次郎・遠間真弓 (1990) 若狭湾における営巣ハヤブサの狩猟行動と給餌行動. STRIX, (9): 15-22.

池田善英・須藤一成・真崎 健 (1992) 石川県加賀地方におけるハチクマとオオタカの繁殖記録. STRIX, (11): 353-355.

五百沢日丸・山形則男・吉野俊幸 (2000) 「日本の野鳥550 山野の鳥」. 359pp. 文一総合出版.

石部 久 (1992) ヤマセミ河川構造によって採食成功率に変化が. アニマ, (242): 45.

石本賢治 (2009) 島根県におけるウチヤマセンニュウの繁殖記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (12): 343-346.

石塚 徹 (1990) 金沢市におけるアカモズの亜種間交雑例. STRIX, (9): 71-75.

出雲市トキによるまちづくり推進協議会 (2011) 「出雲市トキによるまちづくり構想」. 19pp.

神保健次 (1985) 初めて記録をとったヤマセミの子育て. アニマ, (148): 73-79.

香川敏明 (1990) なわばりのしくみを調べる. アニマ, (212): 22-24.

Kaname Kamiya and Kiyooki Ozaki (2002) Satellite Tracking of Bewick's Swan Migration from Lake Nakaumi, Japan. *Waterbirds*, (25): 128-131.

金井 裕・磯部清一・成末雅恵・桑原和之 (1991) 東京湾岸におけるコアジサシの繁殖地の分布変化. STRIX, (10): 263-267.

環境庁 (1981) 「日本産鳥類の繁殖分布」. 554pp.

環境省 (2004) 希少猛禽類調査 (イヌワシ・クマタカ) の結果について. 報道発表資料.

環境省 (2012) 環境省第4次レッドリスト. 鳥類.

環境省自然環境局 (2013) 「第43回ガンカモ類の生息調査報告書」. 195pp.

環境省自然環境局生物多様性センター (2006) 隠岐諸島. 平成17年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業 (モニタリングサイト1000) 海鳥調査業務報告書: 4-16.

- 環境省自然環境局生物多様性センター (2011) 隠岐諸島. 平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業 (モニタリングサイト1000) 海鳥調査業務報告書: 68-82.
- 環境省自然環境局生物多様性センター (2013) 平成24年度 (第44回) /都道府県別羽数確定値. ガンカモ類の生息調査.
- 環境省自然環境局野生生物課 (2010) 改訂レッドリスト付属説明資料. 鳥類.
- 環境省自然環境局野生生物課編 (2002) 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—2 鳥類」. 278pp.
- 叶内拓哉・安部直哉・植田秀雄 (1998) 「山溪ハンディ図鑑7 日本の野鳥」. 623pp. 山と溪谷社.
- 加藤琢矛 (1995) 木村コレクション隠岐産動物標本目録 (3) 鳥類 (第1部). 隠岐の文化財, (12): 1-29.
- 加藤琢矛 (1996) 木村コレクション隠岐産動物標本目録 (3) 鳥類 (第2部). 隠岐の文化財, (13): 1-18.
- 川上和人 (2002) ミゾゴイが絶滅する日. 野鳥, 67 (6): 13-15.
- 川上和人 (2005) サシバが空から消える時. BIRDER, 19 (6): 30-33.
- 川上和人 (2009) ミゾゴイ. バードリサーチニュース, (6) 12: 4-5.
- 川上和人・樋口広芳 (2003) 日本の低山に生息するミゾゴイ *Gorsachius goesagi*, オオタカ *Accipiter gentilis*, サシバ *Butastur indicus* の個体数推移の推定 (英文). 山階鳥類学雑誌, 35: 19-29.
- 川上洋一 (2007) 「絶滅危惧の野鳥事典」. 232pp. 東京堂出版.
- 川本美千夫・澤田千晶・角永 登 (1993) オシドリによる橋脚の穴利用. STRIX, (12): 231-233.
- 川名国男 (2012) 「ミゾゴイ〜その生態と習性〜」. 165pp. ジャパンプリント株式会社.
- 建設省中国地方建設局出雲工事事務所 (1997) 「斐伊川水系の鳥類」. 171pp.
- 桐原政志・山形則男・吉野俊幸 (2000) 「日本の野鳥550 水辺の鳥」. 351pp. 文一総合出版.
- 清棲幸保 (1978a) 「増補改訂版日本鳥類大図鑑Ⅰ」. 652pp. 講談社.
- 清棲幸保 (1978b) 「増補改訂版日本鳥類大図鑑Ⅱ」. 654pp. 講談社.
- 清棲幸保 (1978c) 「増補改訂版日本鳥類大図鑑Ⅲ」. 536pp. 講談社.
- 国際湿地保全連合 (2012) 「世界の水鳥の個体群推定, 第5版 (the Waterbird Population Estimates online database)」
- 米田重玄 (1990) 繁殖期の行動を見る. アニマ, (212): 36-38.
- 小海途銀二郎 (1974) 猛禽クマタカの巣を追って. アニマ, (15): 5-18.
- 久野公啓 (2006) ハチクマってどんな鳥? ハチクマの八不思議. BIREDR, 20 (10): 19-33.
- 呉地正行 (1983) 日本にはオオヒシクイのほうが多かった. アニマ, (129): 18-22.
- 黒田治男 (1991) ヤマセミのとり場の利用様式. STRIX, (10): 51-61.
- 真木広造・大西敏一 (2000) 「日本の野鳥590」. 654pp. 平凡社.
- 美馬秀夫・中村正博・中坂学夫 (1988) アカショウビンがスズメバチの古巣で繁殖. STRIX, (7): 283-284.
- 宮林泰彦 (1994) 野生動物保護における国際協力—北東アジアにおけるガン類個体群の現状とその保護—. 雁のたより, (43): 3-12.
- 森 茂晃・佐藤仁志 (2003) 斐伊川・神戸川水系におけるヤマセミの営巣状況. ホシザキグリーン財団研究報告, (6): 51-58.
- 森 茂晃・佐藤仁志 (2005) ヤマセミの造巣場所選択について. ホシザキグリーン財団研究報告, (8): 247-253.
- 森本 栄・飯田知彦 (1992) クマタカの生態と保護について. STRIX, (11): 59-90.
- 森岡照明・叶内拓哉・川田 隆・山形則男 (1995) 「図鑑日本のワシタカ類」. 631pp. 文一総合出版.
- 中林光生 (1980) 湿田のタマシギ. アニマ, (86): 13-19.
- 中村浩志 (2004) 「甦れ、ブッポウソウ」: 199pp. 山と溪谷社.
- 中村浩志 (2006) ブッポウソウの未来. BIRDER, 20 (6): 20-29.
- 中村浩志・田畑孝宏 (1990) ブッポウソウの雛の食物. 日本鳥学会誌, (38): 131-139.
- 中村登流・中村雅彦 (1995a) 「原色日本野鳥生態図鑑 <水鳥編>」. 304pp. 保育社.
- 中村登流・中村雅彦 (1995b) 「原色日本野鳥生態図鑑 <陸鳥編>」. 301pp. 保育社.
- 根岸啓二監修 (1978) 「鳥根県鳥類目録」. 鳥根県.
- 日本鳥学会 (2000) 「日本鳥類目録 改訂第6版」. 345pp.
- 日本鳥学会 (2012) 「日本鳥類目録 改訂第7版」. 438pp.
- 日本野鳥の会 (2009) カンムリウミスズメ事業報告 (1995年度〜2008年度). 28p
- 日本野鳥の会 (2010) カンムリウミスズメ保護プロジェクト 2009年度事業報告. 47pp.
- 日本野鳥の会 (2011) カンムリウミスズメ保護プロジェクト 2010年度事業報告. 48pp.
- 日本野鳥の会 (2013) カンムリウミスズメ保護プロジェクト 2012年度事業報告. 30pp.
- 日本野鳥の会広島県支部 (1982) 西中国山地鳥類調査報告. STRIX, (1): 113-119.
- 日本野鳥の会鳥根県支部 (1997) 「しまねの鳥」. 184pp.
- 日本野鳥の会山口県支部 (1990) 「山口県版鳥類繁殖地図調査報告書」. 337pp.
- 西村昌彦 (1979) カワセミとヤマセミの造巣場所選択について. 山階鳥類研究所研究報告書, (54): 39-48.
- 大谷善啓・脇坂英弥 (1998) 鳥根県東部におけるヤマセミの営巣状況. ホシザキグリーン財団研究報告, (2): 231-234.
- 小川光昭・湯川 仁 (1976) 広島県備北地方の鳥類 (2). 比和町立科学博物館研究報告, (19): 5-8.
- 岡山県生活環境部自然環境課 (2009) 「岡山県版レッドデータブック2009 動物編」. 416pp.
- 阪本周一 (1991) 岩場を渡り歩くクロサギ. 日本の生物, (52): 36-37. 文一総合出版.
- 佐藤仁志 (1989) 鳥根県のガン類. 雁のたより, (32): 6-9.
- 佐藤仁志編 (1985) 「宍道湖の自然」. 179pp. 山陰中央新報社.
- 佐藤仁志・濱田義治・長廻哲雄 (1986) 大社町におけるミサゴの繁殖記録について. 鳥根野生生物研究会報, (4): 54-55.
- 佐藤仁志・森 茂晃・八幡浩二 (2012) 隠岐諸島におけるカンムリ

ウミズメ *Synthliboramphus wumizusume* の生息状況. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 299-306.

嶋田 忠 (1985) 緑の樹林に餌を求めるアカショウビン. アニマ, (148) : 68-72.

島根県 (1975) 「出雲砂質海岸島根県自然環境保全地域学術調査報告書」. 32pp.

島根県環境生活部景観自然課 (1997) 「しまねレッドデータブック- 島根県の保護上重要な野生動植物- (動物編)」. 417pp.

島根県農林水産部林政課 (1970) 「島根県に分布する鳥類」. 74pp.

白木彩子 (2013) 北海道におけるオジロワシの繁殖の現状と保全上の課題. オホーツクの生態系とその保全 (桜井ほか編著) : 319-324.

鈴木 明 (2005) 希少猛禽類調査 (クマタカ) から見えてきたこと. BIRDER, 19 (2) : 32-33.

鈴木勝利・嶋田哲郎 (2012) 宮城県北部の湖沼におけるマガン個体数の季節変化. 伊豆沼・内沼研究報告, (6) : 63-69.

高野伸二 (1980) 「野鳥識別ハンドブック」. 336pp. 日本野鳥の会.

高野伸二 (1981) 「カラー写真による日本産鳥類図鑑」. 481pp. 東海大学出版会.

高野伸二編 (1986) 「日本の野鳥」. 591pp. 山と溪谷社.

武下雅文 (1996) 日本におけるズグロカモメの生息記録. STRIX, (14) : 182-185.

鳥取県生物学会編 (2012) 「レッドデータブックとっとり改訂版」. 337pp. 鳥取県生活環境部公園自然課.

内田 映 (1997) 「島根県の鳥類」. 75pp. 報光社.

内田 博・松田 喬 (1990) ヨシゴイの集団繁殖. 日本鳥学会誌, (39) : 53-61.

植田陸之 (1991) 都市近郊でツミを見るには. 日本の生物, (5) 3: 18-20. 文一総合出版.

植田陸之 (1996) ツミの繁殖成功率の低下とその原因. STRIX, (14) : 65-71.

植田陸之・遠藤孝一・東條一史・永石文明 (1991) オオタカ・ハイタカ・ツミ3種を比べる. 日本の生物, (50) : 22-29. 文一総合出版.

上野吉雄・保井 浩・山本 裕 (1996) 広島県芸北町の鳥類. 高原の自然史, (1) : 291-393.

山口県環境生活部自然保全課 (2002) 「レッドデータブックやまぐち 山口県の絶滅のおそれのある野生生物」. 511pp.

山本健次郎・三宅貞敏 (1992) 光市牛島におけるカラスバトの生息状況と生態. 山口県立山口博物館研究報告, (20) : 1-25.

山本浩伸・大畑孝二 (2000) 石川県片野鴨池におけるトモエガモの個体数変動と採食場所への飛びたち行動. STRIX, (18) : 55-63.

山階鳥類研究所編 (1975) 「この鳥を守ろう」. 285pp. 霞会館.

山崎 亨 (1992) クマタカ多様な森林生態系を必要とする大型猛禽. アニマ, (242) : 38.

米川 洋 (1987) 日本ハヤブサ物語. アニマ, (172) : 82-85.

両生類・爬虫類文献

林成多 (2013) 隠岐諸島西ノ島の高崎山でオキタゴガエルを撮影.

ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8) : 110.

平田市立鯉淵小学校猪目分校 (2000) 「カジカガエルと猪目分校の子どもたちII」. 64pp.

生駒義博編 (1973) 「日本ハンザキ集覧」. 478pp. 津山科学教育博物館.

岩田貴之・西川完途・松井正文・吉川夏彦 (2007) 島根半島のヒダサンショウウオについて. 爬虫両棲類学会報, 2007 (2) : 129-132.

井上明日香・秋吉英雄・内藤富夫 (2003) 島根県のタゴガエル *Rana tagoi tagoi* の生息状況. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 193-199.

川内一憲・藤井豊 (2010) 福井県でナガレタゴガエルを発見した経緯と状況について. 福井陸水生生物会報, (17) : 7-15.

小原二郎 (1979) オオサンショウウオ. 「第2回自然環境保全基礎調査・動物分布調査報告書 (両生類・は虫類) 全国版」 : 41-45. 日本自然保護協会.

前田憲男・松井正文 (1989) 「日本カエル図鑑」. 223pp. 文一総合出版.

前田憲男・松井正文 (1999) 「改訂版日本カエル図鑑」. 223pp. 文一総合出版.

松橋利光・奥山風太郎 (2002) 山溪ハンディ図鑑9 「日本のカエル」. 191pp. 山と溪谷社.

松野 焯・大氏正巳 (1979) 飼育下におけるオオサンショウウオ *Megarobatorachus japonica* (Temminck) 幼生の成長. 山陰文化研究紀要, (19) : 105-115.

松野 焯 (1997) オオサンショウウオ. 「しまねレッドデータブック- 島根県の保護上重要な野生動植物- (動物編)」 : 122-123. 島根県環境生活部景観自然課.

瑞穂町教育委員会編 (1995) 「ザ・ハンザケシンポジウム in 瑞穂報告書」. 86pp. 瑞穂町.

瑞穂町教育委員会編 (1999) 「瑞穂町エコミュージアムシンポジウム報告書」. 47pp.

内藤順一 (2013) 船通山の小型サンショウウオ. 比婆科学, (247) : 1-6, 3pls.

野津 大 (1983) 「隠岐の生物」. 245 pp. 読売新聞社松江支局

岡田 純・田中 浩・徳永浩之・岡田珠美 (2009) 中国地方西部からのナガレタゴガエルの初記録. 爬虫両棲類学会報, 2009 (2) : 101-103.

大野正男 (1991) 日本産主要動物の文献目録 (23) オオサンショウウオ (1). 東洋大学紀要教養課程篇 (自然科学), (35) : 61-135.

大氏正巳 (1978) オオサンショウウオに関する知見. 動物と自然, 8 (9) : 25-29.

大氏正巳 (1988) 「島根の環境保全」. 270pp. 島根県環境保健部.

大氏正巳・松野 焯 (1976) 島根県におけるオオサンショウウオについて. 山陰文化研究紀要, 16: 1-11. 島根大学.

大氏正巳・松野 焯 (1976) 島根県におけるオオサンショウウオ *Megarobatorachus japonicus* (Temminck) について. 山陰

文化研究紀要, (16) : 1-11.

大氏正巳・松野 煒・杵村喜則・稲葉 茂 (1977) 島根県能義郡
広瀬町西谷川に棲息するオオサンショウウオ *Megarobatorach-
chus japonicus* (Temminck) の行動について. 山陰文化研究
紀要, (17) : 109-116.

大氏正巳・松野 煒・杵村喜則・稲葉 茂 (1979) 飼育下における
オオサンショウウオ *Megarobatorachus japonicus*
(Temminck) 幼生の成長. 山陰文化研究紀要, (19) : 105-115.

佐藤井岐雄 (1943) 「日本産有尾類総説」. 520pp. 日本出版社.

島田孝 (2005) 隠岐島前の西ノ島からオキタゴガエルの初記録. ホ
シザキグリーン財団研究報告, (8) : 218.

島根県編 (1975) オオサンショウウオ生息地. 「自然環境保全地
域学術調査報告 (候補地) 2」 : 28.

島根県邑智郡瑞穂町教育委員会編 (1995) 「特別天然記念物オ
オサンショウウオ生息分布調査報告書」. 24pp. +18figs.

玉湯町教育委員会 (2002) 「玉湯のモリアオガエル-社会教育施設
の機能向上を図るための事業実施報告書」. 12pp.

内山りゅう・前田憲男・沼田研児 (2002) 「日本の両生爬虫類」.
335pp. 平凡社.

汽水・淡水魚類文献

Aizawa, T., Hatsumi, M., and K. Wakahama (1994) Systematic
study on the *Chaenogobius* species (family Gobiidae) by
analysis of allozyme polymorphisms. *Zoological Science*,
11 (3) : 455-465.

Arai, R., Fujikawa, H. and Y. Nagata (2007) Four New
Subspecies of *Acheilognathus* Bitterlings (Cyprinidae:
Acheilognathinae) from Japan. *Bull. Natl. Mus. Nat. Sci.*,
Ser. A, Suppl. 1, pp. 1-28.

道津喜衛 (1989) シンジコハゼ (仮称) の生態と種苗生産. 「ハゼ
科魚類の保護・移植に関する研究成果報告書」 : 1-14.

江田伸司・坂本明弘 (1993) 隠岐の淡水魚類調査. 倉敷市立自然
史博物館研究報告, (8) : 47-50.

後藤悦郎・三浦常廣・森山 勝 (2002) 淡水魚増殖試験 -ゴギ種
苗生産試験-. 島根県内水面水産試験場事業報告, (4) : 187-
190.

林 成多・山口勝秀・中野浩史・寺岡誠二・越川敏樹 (2007) 出
雲平野の水路における水生生物調査 (2005年). ホシザキグ
リーン財団研究報告, (10) : 1-18.

Higuchi, A. and A. Goto (1996) Genetic evidence supporting
the existence of two distinct species in the genus
Gasterosteus around Japan. *Environ. Biol. Fish.*, 47 : 1-16.

樋口正仁 (2003) 日本列島周辺のイトヨ族魚類の遺伝的多様性と
分化. Pages 49-60 in 後藤 晃・森 誠一編, トゲウオの自
然史-多様性の謎とその保全-. 北海道大学図書刊行会, 札幌.

平塚純一 (1988) 大根島の幻のメクラハゼ近況. 島根野生生物研
究会会報, (4) : 29-30.

平塚純一・桑原弘道 (2000) 中海本庄水域の魚類相とその特性.
陸水学雑誌, 61 (2) : 109-118.

今西錦司 (1967) イワナ属その日本における分布. 「自然生態学的

研究」. 3-46. 中央公論社.

石川正樹・久米 学 (2010) イトヨ日本海型と太平洋型の高水温
耐性実験. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 265-268.

石飛 裕・平塚純一・桑原弘道・山室真澄 (2000) 中海・宍道湖
における魚類および甲殻類相の変動. 陸水学雑誌, 61 (2) :
129-146.

岩田正俊 (1934) 大根島溶岩隧道内の動物相. 日本学術協会報
告, 9 (2) : 301-304.

岩田明久 (1999) 遺伝的に著しく異なるドンコ2グループの高津川
水系およびその近隣河川における分布. 魚類学雑誌, 46 (2) :
109-114.

Iwata A. and H. Sakai (2002) *Odontobutis hikimius* n. sp.: A
new freshwater Goby from Japan, with a key to species
of the genus. *Copeia*, 2002 (1) : 104-110.

神代哲朗 (1963) 益田市遠田川のイトヨに就いて. 「高津川総合学
術調査研究報告」 : 112-113. 島根県立益田高等学校.

神代哲朗 (1965) 高津川の魚類 (補遺). 「高津川総合学術調査
研究報告/補編」 : 42-44. 島根県立益田高等学校.

神代哲朗・波多野捷二・椋 勇三 (1963) 高津川の魚類. 「高津川
総合学術調査研究報告」 : 77-97. 島根県立益田高等学校.

上田常一 (1967) 「宍道湖の動物たち」 : 51-118. 上田常一先生退
官記念事業会.

環境省自然環境局野生生物課 (2003) 「改訂・日本の絶滅のおそ
れのある野生生物-レッドデータブック-4 汽水・淡水魚類」.
230pp. 財団法人自然環境研究センター.

環境庁 (1987) 第3回自然環境保全基礎調査「河川調査報告書
32」. 99pp.

河端政一 (1976) 食性から見たヤマメとゴギの相互関係. 「山岳森
林生態学 今西錦司博士古希記念論文集」 : 417-432. 中央
公論社.

Kawanabe H., Y. Tezuka Saito, T. Sunaga, I. Maki and M.
Azuma (1968) Ecology and Biological Production of
Lake Naka-umi and Adjacent Regions. 4. Distribution of
Fishes and their Foods. *Spec. Publ. Seto Mar. Biol. Lab.*
Series II. Part II : 45-73.

川那部浩哉 (1969) 中海水系の魚たち. 「川と湖の魚たち」 : 60-
82. 中央公論社.

川那部浩哉・水野信彦 (1989) 「日本の淡水魚」. 720pp. 山と溪
谷社.

北川忠生・吉岡 基・柏木正章・岡崎登志夫 (2000) ミトコンドリ
アDNA分析からみた中国地方におけるイシドジョウ河川集団
間の遺伝的分化. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) : 63-
72.

Kitagawa, T., Watanabe, M., Kobayashi, T., Yoshioka, M.,
Kashiwagi, M. and T. Okazaki (2001) Two genetically
divergent groups in the Japanese spined loach, *Cobitis*
takatsuensis, and their phylogenetic relationships among
Japanese *Cobitis* inferred from mitochondrial DNA
analyses. *Zoological Science*, 18 (2) : 249-259.

越川敏樹 (1983) 変わりゆく宍道湖と中海 (気になる魚カワヤツ
メ・イトヨ). 淡水魚, (9) : 76-81.

越川敏樹 (1989) 汽水域に生息するハゼ科魚類の分布形態につい

- て、「公益信託Takaraハーモニストファンド平成元年度研究活動報告」: 101-114.
- 越川敏樹 (1992) 宍道湖・中海水域におけるハゼ類の分布 (1) —チチブ属4種とウキゴリ属2亜種について—. 汽水湖研究, (2): 49-56.
- 越川敏樹 (1997a) 汽水魚・淡水魚. 「しまねレッドデータブック・動物編」. 142-143. 島根県景観自然課
- 越川敏樹 (1997b) 中海本庄水域の魚類. LAGUNA, (4): 19-27.
- 越川敏樹 (1998) 本庄工区と北部承水路浅域における底生魚類相. 汽水湖研究, (6): 35-40.
- 越川敏樹 (1999) 中海南岸域における魚類の生息状況-安来市論田における小型定置網の漁獲内容から-. ホシザキグリーン財団研究報告, (3): 239-249.
- 越川敏樹 (2000) 中海における魚介類の生息状況の変遷-小型定置網漁の10数年間の变化より-. ホシザキグリーン財団研究報告, (4): 203-214.
- 越川敏樹 (2001) 中海北東部3地点における底棲性魚類の分布の比較. ホシザキグリーン財団研究報告, (5): 131-138.
- 越川敏樹 (2011) 宍道湖・中海における魚類の減少状況-減少のいちじるしい10種の傾向から-. ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 319-325.
- 越川敏樹・佐藤仁志 (1986) 宍道湖に生息するウキゴリ属の1種 (第1報). 淡水魚, (12): 51-55.
- 越川敏樹・佐藤仁志・水野信彦 (1985) 島根県におけるヨシノボリのすみ分け. 淡水魚, (11): 100-107.
- 越川敏樹・田中幾太郎 (1997) 汽水魚・淡水魚. 「しまねレッドデータブック-島根県の保護上重要な野生動植物-(動物編)」. 138-167. 島根県環境生活部景観自然課.
- 松浦啓一 (1994) 「国立科学博物館淡水魚類標本目録 旧資源科学研究所標本 (3)」. 335pp.
- 松浦啓一・土井 敦・篠原現人 (2000) 「国立科学博物館所蔵標本に基づく日本産淡水魚類の分布」. 256pp.
- 宮地伝三郎編 (1962) 「中海干拓・淡水化事業に伴う魚族生態調査報告」. 50-57, 149-179.
- 宮地傳三郎・川那部浩哉・水野信彦 (1976) 「原色日本淡水魚類図鑑」. 462pp. 保育社.
- 瑞穂町教育委員会編 (1990) 「江川水系出羽川オヤニラミ生息調査報告書」. 8pp.
- 水野信彦 (1972) 高津川水系での魚類の棲息状態. 「高津川水系の生物に関する総合開発調査」: 113-212. 島根県漁政課.
- 長田芳和・藤川博史 (1998a) アカヒレタビラ. 「日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (V)」: 20-24. 日本水産資源保護協会.
- 長田芳和・藤川博史 (1998b) アカヒレタビラ. 水産庁編「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」: 120-121. 日本水産資源保護協会.
- 長田芳和・藤川博史・福原修一 (1981) 鳥取県多鯰が池で採集されたアカヒレタビラについて. 日本生物地理学会報, 36: 48-53.
- 中坊徹次編 (2013) 「日本産魚類検索全種の同定第三版」. 2428pp. 東海大学出版会.
- Nakajima, J. (2012) Taxonomic study of the *Cobitis striata* complex (Cypriniformes, Cobitidae) in Japan. Zootaxa, 3586: 103-130.
- 中島 淳・州澤 譲・清水孝昭・斉藤憲治 (2012) 日本産シマドジョウ属魚類の標準和名の提唱. 魚類学雑誌, 59 (1): 86-95.
- 中村守純 (1969) アカヒレタビラ. 「日本のコイ科魚類」: 42-44. 資源科学研究所, 東京.
- 中村守純 (1993) 「原色日本淡水魚検索図鑑」. 262pp. 北隆館.
- 日本水産資源保護協会編 (1998) 「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」. 437pp. 水産庁.
- 野津 大 (1983) 「隠岐の動物」: 64-68. 読売新聞社松江支局.
- 農水省編 (1983) 宍道湖・中海の魚類. 「宍道湖・中海淡水化に関する水理水質及び生態の挙動について-中間報告-」: 625, 635-638.
- Oshiumi, C. and J. Kitamura (2009) The reproductive ecology of the southern red tabira bitterling *Acheilognathus tabira jordani* in Japan. Journal of Fish Biology, 75, 655-667
- 鴛海智佳・北村淳一・星川和夫 (2003) アカヒレタビラ山陰地域個体群の生活史. 2003年度魚類学会年会講演要旨: 66.
- 碓井星二・加納光樹・荒山和則・中里亮治 (2010) 北浦の沿岸帯におけるクルマサヨリ仔稚魚の生息場所利用パターン. 日本生物地理学会会報, (65): 29-38.
- 斉藤憲治・藤川博史・長田芳和 (1988) 島根県大田市大原川から採集されたアカヒレタビラ. 日本生物地理学会, 43: 57-60.
- 酒井治己・矢部 衛 (2003) トゲウオ科魚類の現状と問題点. Pages 23-45 in 後藤 晃・森 誠一編, トゲウオの自然史—多様性の謎とその保全—. 北海道大学図書刊行会, 札幌.
- Sakai, H., Iwata, A., Byeon, H-K. (2002) Genetic relationships between Japanese and Korean *Odontobutis obscura*. Biogeography, (4): 39-44.
- Saitoh, K. and Aizawa, H. (1987) Local Differentiation within the Striated Spined Loach (the *striata* Type of *Cobitis taenia* Complex). Japanese Journal of Ichthyology, 34, 334-345.
- 佐藤仁志 (1989) 島根県におけるウキゴリ属の一種 *Chaenogobius taranetzii* について. 島根県野生生物研究会報, (6): 26-33.
- 佐藤仁志編 (1985) 「宍道湖の自然」. 180pp. 山陰中央新報社.
- 佐藤仁志・林 公義・岩田明久 (2001) 宍道湖とシンジコハゼ. 14-17. In: 山口勝秀・佐々木興・淀江賢一郎 (編) 「宍道湖自然館第1回特別展 ハゼのなかまたち 展示解説 ハゼの世界に多様性を見る」. 島根県立宍道湖自然館ゴビウス/(財) ホシザキグリーン財団. 34pp.
- 島根県 環境生活部景観自然課 (1997) 「しまねレッドデータブック-島根県の保護上重要な野生動植物-(動物編)」. 417pp.
- 島根県河川課 (1999a) 「江の川水系河川水辺の国勢調査 (魚介類編) 八戸川・家古屋川・出羽川」. 49pp.
- 島根県河川課 (1999b) 「高津川水系河川水辺の国勢調査 (魚介類編) 高津川・白上川・匹見川・津和野川」. 27pp.
- 島根県景観自然課 (1982) 「河川調査報告書-三刀屋川・三隅川・三瓶川・匹見川」. 127pp.
- 島根県景観自然課 (1991) 「河川調査報告書-飯梨川・神戸川・周布川・静間川・伯太川・三隅川・八戸川・出羽川」. 148pp.

島根県景観自然課 (1994) 「河川調査報告書-意宇川・田儀川・敬川・浜田川・益田川-」. 63pp.

島根県景観自然課 (1995a) 「河川調査報告書-隠岐諸島-」. 99pp.

島根県景観自然課 (1995b) 汽水・淡水魚類15種. 「島根県の貴重野生動植物リスト」. 34pp.

島根県景観自然課 (1997) 「河川調査報告書 (島根半島)」. 88pp.

島根県景観自然課 (1998) 「河川調査報告書 (江の川水系)-小谷川・晩谷川・三谷川・早水川・沢谷川・角谷川・細貝川・堂所川・亀谷川-」. 67pp.

Stevenson, D. E. (2002) Systematics and distribution of fishes of the Asian goby genera *Chaenogobius* and *Gymnogobius* (Osteichthyes: Perciformes: Gobiidae), with the description of a new species. *Species Diversity*, 7 (3) : 252-312.

鈴木寿之・陳 義雄 (2011) 田中茂穂博士により記載されたヨシノボリ属3種. 大阪市立自然史博物館研報. 65 : 9-24.

田中幾太郎 (1982) 「消えゆく六日市の野生動物」: 11-33. 自刊.

田中幾太郎 (1996) 「いのちの森・西中国山地」: 37-83. 光陽出版社.

Yamada, M., M. Higuchi and A. Goto (2001) Extensive introgression of mitochondrial DNA found between two genetically divergent forms of threespine stickleback, *Gasterosteus aculeatus*, around Japan. *Environ.Biol. Fish.*, 61 : 269-284.

山口勝秀 (1999) 島根県の淡水魚 (既報の整理). ホシザキグリーン財団研究報告, (3) : 1-38.

山口勝秀 (2003) 島根県におけるカワアナゴの初採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 64.

安江安宣 (1967) 奥出雲のイワナ-世界的にみたゴギの問題点-. 釣りの友, (198) : 40-45.

安江安宣 (1981) 南限地帯のイワナ. 「別冊フィッシング-イワナ・ヤマメ」: 59-66.

吉郷英範 (2001) 隠岐島後で採集された陸水域の魚類. 比和科学博物館研究報告, (40) : 1-15. +3pls.

吉郷英範・内藤順一・中村慎吾 (2001) 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録. 比和科学博物館標本資料報告, (2) : 119-168.

吉郷英範・中村慎吾 (2002) 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録 (II). 比和科学博物館標本資料報告, (3) : 85-136+1pl.

吉郷英範・中村慎吾 (2003) 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録 (III). 比和科学博物館標本資料報告, (4) : 31-75.

(財)ホシザキグリーン財団監修 (2002) 「みんなの宍道湖～自然観察ガイドブック～」. 143pp.

秋山耕治 (2006) 思わずにんまり紀行—島根県. SPINDA, (21) : 33-36.

秋山達朗 (1973) 私の採集した島根県の鞘翅類目録. 邇摩高校研究紀要, (4) : 92-96.

秋山達朗 (1974) 私の採集した島根県の鱗翅類目録. 邇摩高校研究紀要, (5) : 1-6.

秋山美文・坂本 充 (2000) 広島県の水生食肉甲虫類 (コウチュウ目, オサムシ上科). 比和科学博物館研究報告, (39) : 5-33.

Anderson, N. M. and J. R. Spence (1992) Classification and phylogeny of the Holarctic water strider genus *Limnoporus* Stal (Hemiptera, Gerridae). *Can. J. Zool.*, 70 : 753-785.

青木英勝 (1963) 高津川周辺の蝶類分布. 「高津川総合学術調査研究報告」: 115-117.

青木新吾 (2010) 島根県初記録となるエゾコガムシの記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 110.

青木新吾・川野敬介 (2010) 島根県2例目となるムツボシツヤコツブゲンゴロウの記録. (13) : 82.

青戸 賢 (1973) ヒサマツミドリシジミを内尾谷で採集. *Longicorn*, (5) : 12.

有田 齊・前田善広 (2012a) 「珠玉の標本箱 (1) ウラキンシジミ・アイノミドリシジミ・メスアカミドリシジミ・ヒサマツミドリシジミ」. 33pp.

有田 齊・前田善広 (2012b) 「珠玉の標本箱 (2) ミドリシジミ・クロミドリシジミ・ヒロオビミドリシジミなど」. 37pp.

有田 齊・前田善広 (2012c) 「珠玉の標本箱 (4) キマダラルリツバメ」. 37pp.

朝比奈正二郎 (1965) 「原色日本昆虫大図鑑Ⅲ」. 358pp. , 156pls. 北隆館.

朝比奈正二郎 (1974) 島根県産モイワサナエの正体. *TOMBO*, (17) : 23.

浅野 隆・小椋英勇 (2000) 中国山地のオナガシジミの変異. 蝶研フィールド, 7 (15) : 15-19.

伴 一利 (2010) マンシュウアカネを島根県で採集. 山口のむし, (9) : 152.

近木英哉 (1962) 島根県の昆虫目録Ⅰ鱗翅目. 島根農科大学研究報告, 10 (A) : 36-45.

近木英哉 (1963) 島根県の昆虫目録Ⅲ鞘翅目 (コガネムシ科). 島根農科大学研究報告, 12 (A) : 24-31.

近木英哉 (1971a) 「山陰の蝶」松江今井書店. 145pp.

近木英哉 (1971b) 三瓶の昆虫. 「三瓶山の自然」: 46-53.

近木英哉 (1974) 赤名湿地性植物群落の昆虫. 「自然環境保全地域候補地学術調査報告書第1集」: 22-28.

近木英哉 (1977) 浅利黒松海岸の昆虫. 「島根県自然環境保全地域候補地学術調査報告書第4集」: 17-34.

近木英哉 (1980a) 島根県のガロアムシ. すかしば, (14) : 1-2.

近木英哉 (1980b) 「島根半島の昆虫 (改訂版)」. 86pp.

近木英哉 (1980c) 隠岐島の昆虫. 自然環境保全地域候補地学術調査報告書 (第2集) : 35-39.

近木英哉 (1981) 「山陰の虫たち」. 205pp, 近木英哉教授定年退職記念事業会.

近木英哉 (1985) 島根県におけるルリクワガタ属について. すかし

昆虫類文献

相田正人 (1989-1990) 濃尾平野のナゴヤサナエ (1) ～ (7). 月刊むし, (211) : 9-13., (223) : 8-13., (227) : 11-15., (230) : 12-15., (232) : 20-25., (234) : 12-18., (236) : 11-17.

- ば, (24) : 8.
- 近木英哉 (1987) 「三瓶山の昆虫」. 32pp. たたら書房.
- 近木英哉 (1992) 江津市でベーツヒラタカミキリを採集. すかしば, (37/38) : 66.
- 近重克幸・福井修二・鈴木謙治・山崎克友 (1988) 鵜鷺半島・ホンシュウジカの糞に集まる食糞性コガネムシ. すかしば, (30) : 45-48.
- 土畑重人・淀江賢一郎・奥島雄一 (2008) 島根県産ヒメシロチョウ標本の発見と記録の検証. すかしば, (56) : 65-77.
- 江崎悌三 (1941) 隠岐に於ける注目すべき二三の昆虫. 動物学雑誌, 53 (6) : 303-305.
- 江崎悌三ほか (1957) 「原色日本蛾類図鑑」. Vol.1:1-318, pls.1-64; Vol.2:1-304, pls.65-136. 保育社.
- 筆谷憲一 (2007) 島根県・鳥取県・岡山県北部の蝶観察記録2006年. すかしば, (55) : 41-43.
- 筆谷憲一 (2008) 島根県・岡山県・山口県の蝶観察記録2007年. すかしば, (56) : 27-28.
- 筆谷憲一 (2009) 島根県・鳥取県・岡山県北部の蝶観察記録2008年. すかしば, (57) : 4-5.
- 筆谷憲一 (2010) 島根県・鳥取県・岡山県北部・広島県北部の蝶観察記録2009年. すかしば, (58) : 14-15.
- 筆谷憲一 (2013) 蝶たちとの出会いを求めて 山陰および隣接地域2011年～2012年. すかしば, (60) : 36-37.
- 藤井正治 (2003) 安来市佐久保町の野生生物相第II報コウチュウ目その他の採集目録. すかしば, (51) : 17-29.
- 藤村俊彦 (1957) いずも虫だより. 新昆虫, 10 (5) : 20-24.
- 藤村俊彦 (1959) モイワサナエ, 島根県に産す. 新昆虫, 12 (5/6) : 45.
- 藤村俊彦 (1960) 知られざる中国地方の好採集地I. Insect Magazine, (48) : 23-26.
- 藤村俊彦 (1966a) 隠岐島未記録のカミキリムシ (Ⅲ). 昆虫, 34 (2) : 157.
- 藤村俊彦 (1966b) 島根県のカミキリムシ. 比和科学博物館研究報告, (9) : 9-17.
- 藤村俊彦 (1969) 島根県のギフチョウ. 昆虫と自然, 4 (4) : 38.
- 藤岡知夫 (1981) 「改訂増補・日本産蝶類大図鑑」. 図版編152pls., 解説編329pp., 資料編163pp. 講談社.
- 藤岡知夫 (1998) 世界のホシミスジの地理変異-2新亜種の記載を含む-. ホシザキグリーン財団研究報告, (2) : 263-274.
- 藤岡知夫・築山洋・千葉秀幸 (1997) 「日本産蝶類及び世界近縁種大図鑑・I」. 図版編162pls., 解説編302pp., 資料編196pp. 出版芸術社.
- 藤田 宏 (2007) 島根県・隠岐島後のハナカミキリ2種. 月刊むし, 454:11.
- 藤田 宏 (2010) 「世界のクワガタムシ大図鑑」解説編472pp. むし社
- 藤田 宏 (2013) 「藤田宏の解体虫書」. 168pp. むし社.
- 藤原淳一 (2008) 松江市島根町でネグロクサアブを採集. すかしば, (56) : 26.
- 藤原淳一・沼田京子 (2009) 隠岐諸島および島根半島の流水性甲虫相. ホシザキグリーン財団研究報告, (12) : 259-272.
- 福田晴夫ほか (1982) 「原色日本蝶類生態図鑑I」. 277pp. 保育社.
- 福田晴夫ほか (1983) 「原色日本蝶類生態図鑑II」. 325pp. 保育社.
- 福田晴夫ほか (1984a) 「原色日本蝶類生態図鑑III」. 373pp. 保育社.
- 福田晴夫ほか (1984b) 「原色日本蝶類生態図鑑IV」. 373pp. 保育社.
- 福井修二 (1979) 私が採集した島根県のカミキリムシ. すかしば, (12) : 31-32.
- 福井修二 (1987) 松江市のオオハナカミキリの記録. すかしば, (27) : 10.
- 福井修二 (1988) 隠岐諸島甲虫採集リスト (1988.6). すかしば, (30) : 39-41.
- 福井修二 (1990) 赤来町でオオキノコムシを採集. すかしば, (34) : 17.
- 福井修二 (1994a) 瑞穂町の甲虫類. 「島根県瑞穂町の昆虫類」: 27-37. 島根県昆虫研究会.
- 福井修二 (1994b) 三瓶山の鞘翅目. 「三瓶山の昆虫相とその保全」: 31-57. 島根県昆虫研究会.
- 福井修二 (2006) 飯南町でゲンバイトンボが採集される. すかしば, (55) : 50.
- 福井修二 (2012a) ケンランアリノスアブの採集記録. すかしば, (59) : 39-40.
- 福井修二 (2012b) ショウリョウバッタモドキの記録. すかしば, (59) : 43.
- 福井修二・鬼頭剛・鈴木謙治・山崎克友 (1989) 匹見産昆虫目録 4. 匹見町の鞘翅目 (2). すかしば, (31) : 13-18.
- 福岡一雅 (1996) ハネビロエゾトンボ採集の報告. すかしば, (43/44) : 51.
- 二橋 亮・二橋弘之 (2002) イソアカネ極東亜種 (マンシュウアカネ) の日本国内における記録. Tombo, (45) : 29-30.
- 後藤和夫・田中正文 (1989) クロドリシジミの新分布地. 山口県の自然, 5 (9) : 45-46.
- 後藤雅人 (1969) ゴマシジミの新産地. NECYDALIS, 2 (5) : 18.
- 後藤 伸 (1987) 和歌山県産ハネナガウンカ類. 南紀生物, 29 (1) : 58-61.
- 浜田 康・井上 清 (1985) 「日本産トンボ大図鑑」. 図版編371pls., 解説編 364pp., 講談社.
- 波根康夫 (1957) クロシジミの採集記録. 千鳥, (3) : 29.
- 長谷川仁 (1965) シリアカハネナガウンカ. 「原色昆虫百科図鑑」: 338. 集英社, 東京.
- 長谷川道明 (2011) 昆虫類IV. 豊橋市立自然史博物館所蔵日本産チョウ類標本目録I. 豊橋市立自然史博物館資料集, (23) : 1-163.+4pls.
- 橋本説朗 (2007) 日本のヒメシジミの変異. 蝶研フィールド, (252) : 15-30.
- 端山 武 (2010a) 島根県益田市喜阿弥海岸からのウミミズギワゴミムシ (コウチュウ目オサムシ科) の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 147-148.
- 端山 武 (2010b) 島根県出雲市坂浦海岸からのイソハサミムシ (ハサミムシ目ハサミムシ科) の記録. ホシザキグリーン財団

- 研究報告, (13) : 149-150.
- 端山 武 (2010c) 島根県におけるイソジョウカイモドキ (コウチュウ目ジョウカイモドキ科) の採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 151-154.
- 端山 武 (2012a) 浜山公園のオオヒョウタンゴミムシの記録. すかしば, (59) : 29.
- 端山 武 (2012b) 隠岐の島町のウミミズカメムシの記録. すかしば, (59) : 38-39.
- 林 匡夫・森本 桂・木元新作 (1984) 原色日本甲虫図鑑Ⅳ 438 pp. 保育社
- 林 成多 (2005) 「改訂しまねレッドデータブック」に掲載された直翅類の観察記録. すかしば, (53) : 38-39.
- 林 成多 (2006a) オオヒョウタンゴミムシ成虫の出現時期について. すかしば, (54) : 65
- 林 成多 (2006b) 飯南町赤名のツヤネクイハムシとババスゲヒメゾウムシ. すかしば, (54) : 65.
- 林 成多 (2006c) 「改訂しまねレッドデータブック」に掲載された直翅類の観察記録 (その2) . すかしば, (54) : 66-67.
- 林 成多 (2007a) 島根県におけるバッタ・コオロギ・キリギリス類の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (10) : 119-141.
- 林 成多 (2007b) 島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園の昆虫相 (2) レッドデータブック掲載種と希少種の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (10) : 225-229.
- 林 成多 (2009a) 「大万木山産キュウシュウエゾゼミ」の標本はコエゾゼミ. すかしば, (58) : 16.
- 林 成多 (2009b) 日本産ヒラタドロムシ科概説. ホシザキグリーン財団研究報告, (12) : 35-85.
- 林 成多 (2010) 島根県産カミキリムシ類の文献記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 17-43.
- 林 成多 (2011a) 島根県のセミ類に関する知見. ホシザキグリーン財団研究報告, (14) : 87-96.
- 林 成多 (2011b) 島根県の水生甲虫. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (1) : 1-117.
- 林 成多 (2012a) 山陰のダルマガムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 53-63.
- 林 成多 (2012b) 島根県の海浜におけるアリジゴク4種の分布. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 201-206.
- 林 成多 (2012c) 島根県松江市大橋川産のツマグロマルハナノミについて. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 248.
- 林 成多 (2012d) 島根県松江市でバックinghamカギアシゾウムシを採集. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 274.
- 林 成多 (2013) 島根県の海岸性甲虫. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (9) : 1-98.
- Hayashi, M. (2007) Ecological notes on the adult stage of *Graphephelmis shirahatai* (Nomura) (Coleoptera, Elmidae). Elytra, Tokyo, 35 (1) : 102-107.
- Hayashi, M. (2013) Descriptions of Larva and Pupa of *Graphephelmis shirahatai* (Nomura) (Coleoptera, Elmidae). Elytra, New Series, 3 (1) : 53-63.
- Hayashi, M., S. D. Song and T. Sota (2013) Patterns of hind-wing degeneration in Japanese riffle beetles (Coleoptera: Elmidae). Eur. J. Entomol. 110 (4) : 689-697.
- 林 成多・門脇久志 (2012) 隠岐諸島の甲虫目録 (1930-2011). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (5) : 1-120.
- 林 成多・門脇久志 (2013) 隠岐諸島産直翅系昆虫類 (昆虫綱多新翅亜節) の目録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8) : 75-90.
- 林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (14) : 299-306.
- 林 成多・松田隆嗣・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2012) 隠岐諸島における昆虫分布調査Ⅱ. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 287-297.
- 林 成多・初宿成彦・八木 剛・曾田貞滋・岩井大輔 (2003) 中国山地およびその周辺地域における湿地性ハムシ類の保全生物学的研究. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 1-25.
- 林 成多・山口勝秀 (2012) グンバイトンボを旧瑞穂町内で確認. すかしば, (59) : 33.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8) : 1-73.
- 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料. ホシザキグリーン財団研究報告, (9) : 245-263.
- 林 成多・宮武頼夫 (2012) 山陰地方のキジラミ図鑑. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (6) : 1-97.
- 林 成多・宮武頼夫・門脇久志 (2011) 島根県のキジラミ相. ホシザキグリーン財団研究報告, (14) : 213-250.
- 林 正美 (1998) 埼玉県の中翅類. 埼玉県昆虫誌Ⅰ : 147-234.
- 林 正美 (1999) キノカワハゴロモの本州および九州からの記録. Rostrum, (48) : 38.
- 林 正美・税所康正 (2011) 「日本産セミ科図鑑」. 220pp. 誠文堂新光社, 東京.
- 林 長閑編 (1985) 「生物大図鑑 昆虫Ⅱ甲虫」. 399pp. 世界文化社.
- 林 長閑 (1986) 「甲虫の生活」. 177pp. 築地書館.
- 林原毅一郎 (1992) 知夫里島のカメムシ類. すかしば, (37/38) : 61-63.
- 平野幸彦 (1989) *Micropeplus satoi* Y. Watanabe (ハネカクシ科) 隠岐に産す. 甲虫ニュース, (81) : 3.
- 平島義宏監修 (1989) ガロアムシ目. 「日本産昆虫総目録」 : 61. 九州大学農学部昆虫教室・日本野生生物研究センター.
- 平嶋義宏・緒方一夫 (1992) 昆虫, この素晴らしき生き物たち. 「昆虫採集学」 : 7-121.
- 平田信夫 (1990) 昭和20年代の島根県のカミキリムシ目録. すかしば, (34) : 1-11.
- 広江寅三 (1931) 三瓶山採集行. ユーグレナ, 2 (3) : 17-19.
- 広島県 (1995) 「広島県の絶滅のおそれのある野生生物」. 437pp.
- 広渡一成・渡辺一雄 (2000) 西日本産ギフチョウ *Leuhdorfla japonica* のミトコンドリアND5遺伝子に認められたスニップス (一塩基多型 : SNPs) とその意味. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) : 215-224.
- 蛭川憲男 (1985) 「日本の昆虫2. クロシジミ」. 145pp. 文一総合出版.

- 日浦 勇 (1962) 日本におけるジャノメチョウ科の採集記録. 大阪市立自然史博物館業績, (74) : 29-63.
- 日浦 勇・宮武頼夫ほか (1977) 「原色日本昆虫図鑑 下巻」. 385pp. 保育社.
- 星川和夫 (1994) 瑞穂町の蛾類群集. 「島根県特定地域野生生物緊急調査報告書, 瑞穂町の昆虫類」: 58-71.
- 星川和夫 (2001) ウスイロヒョウモンモドキ三瓶山個体群の保全計画 (試案). 淀江賢一郎編「ウスイロヒョウモンモドキの衰亡と保護-激減する草索性チョウ類の保護をめざして-結果報告書」: 81-84.
- 星川和夫 (2005) 三瓶山のウスイロヒョウモンモドキ: モニタリングの結果と保全対策. 島根県立三瓶自然館研究報告, (3) : 89.
- 星川和夫ほか (1994) 三瓶山の環境構造: 蛾類相からの解析. 「島根県特定地域野生生物緊急調査報告書, 三瓶山の昆虫相とその保全」: 113-140.
- 星川和夫・門脇和也 (2003) イワタメクラチビゴミムシの追加記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 98.
- 星川和夫・中蘭洋行 (2005) 三瓶山のウスイロヒョウモンモドキ: モニタリングの結果と保全対策の概要. 日本鱗翅学会中国支部報, (6) : 5.
- 星川和夫・小倉久和 (1998) 松江市近郊の植生の異なるため池における水生昆虫群集. ホシザキグリーン財団財団研究報告, (2) : 235-253.
- 星川和夫・津下麻樹 (1998) 西日本におけるマクガタテントウの生活史—分布南限における気候適応の破綻—. 中国昆虫, (12) : 31-35.
- 星川和夫・森 孝之 (2000) 西日本におけるカワトンボ属2種の河川空間利用: ある混生地における移植実験の結果から. New Entomol., 49 (1/2) : 18-25.
- 船城保明 (1988) 島根県未記録のカミキリ2種. すかしば, (29) : 12.
- 市田忠夫 (1996) 青森県のウンカ下目. *Celastrina*, (31) : 41-76.
- 市川顕彦 (1995) 中国地方のヒシバタ類. すかしば, (41/42) : 23-24.
- 市川顕彦 (2002) 2002年版、日本産直翅目チェックリスト. ぱったりぎす, (131) : 33-49.
- 市川顕彦・門脇久志 (1998) 隠岐諸島の昆虫17. 隠岐諸島の直翅類. すかしば, (46) : 47-55.
- 市川顕彦・村井貴史・本田恵理 (2000) 総説・日本のコオロギ. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) : 257-332.
- 池田一喜 (1993) 1992年の採集日記から. 蝶州, (6) : 13-16.
- 井村有希・水沢清行 (2013) 「日本産オサムシ図説」. 368pp. 六本脚.
- 今坂正一・中條道崇 (1984) ヒサゴゴミムシダマシ属の系統と進化 (8). 月刊むし, (157) : 23-29.
- 稲田和久・門脇久志・祖田 周・大浜祥治 (2001) 隠岐諸島の昆虫19. 隠岐・島後のカワゲラ類 (第1報). すかしば, (49) : 71-79.
- 稲田和久・祖田 周 (1999) 島根県斐伊川水系のカワゲラ相 (予報). ホシザキグリーン財団研究報告, (3) : 131-140.
- 猪又敏男 (1990) 「原色蝶類検索図鑑」. 223pp. 北隆館.
- 猪又敏男 (2005) 日本の蝶 (17) キチョウ. 月刊むし, (408) : 33-37.
- 猪又敏男・池田真澄・岸田泰則・板垣有而・金田吉高 (1986) 「大図録・日本の蝶」. 499pp.+86pls. 竹書房.
- 井上 寛ほか (1982) 「日本産蛾類大図鑑」. 968pp.+556pp.+393pls. 講談社.
- Inoue, H. (1998) A new species of the *Herpetogramma* Ledere (*Pyraustinae*, *Crambidae*) From Japan. Trans. Lepid. Soc. Japan, 51 (4) : 316-318.
- 井上雅仁・三島秀夫・大畑純二 (2009) 赤名湿地でみられる動植物について (中間報告). 島根県立三瓶自然館研究報告, (7) : 37-52.
- 井上雅仁・三島秀夫・大畑純二 (2011) 世界遺産石見銀山遺跡周辺で確認された動植物目録. 三瓶自然館研究報告, (9) : 49-75.
- 犬飼拓展 (2013) 雨の中の宝石-中国地方、蝶の旅.SPINDA, (28) : 10-12.
- 石田明儀 (1968) 出雲市のゼフィルス, *Necydalis*, 1 (2) : 8.
- 石田明儀・西田秀行 (1980) イワタメクラチビゴミムシの記録. すかしば, (13) : 31.
- Ishikawa, T. (1998) A New Species of the Genus *Polytoxus* (Heteroptera, Reduviidae) from Japan. Jpn. J. syst. Ent., 4 (2) : 325-330.
- 石川 忠ほか編 (2012) 「日本原色カメムシ図鑑第3巻」. 573pp. 全国農村教育協会.
- 石川佳宏 (2004) ギフチョウ属とその食草カンアオイ属文献資料一覧. ホシザキグリーン財団研究報告, (7) : 179-260.
- 石本信博・佐々木保 (1979) 浜田市で採集したギンイチモンジセセリとクロヒカゲモドキ. すかしば, (12) : 30.
- 石谷正字・門脇久志 (2000) ゴミムシ相およびその生物学的研究 (4) 島根半島のゴミムシ類. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) : 27-39.
- 一色周知監修 (1969) 「原色日本蛾類幼虫図鑑 (上)」. 237 pp. 保育社.
- 一色周知監修 (1969) 「原色日本蛾類幼虫図鑑 (下)」. 237 pp. 保育社.
- 板垣 治 (2008) 島根県安来市でキマダラルリツバメを採集. すかしば, (56) : 32.
- 板倉宏文 (1970) 浜山にて得た甲虫2種. *Necydalis*, 3 (1) : 9.
- 板倉宏文 (1984) フタスジカタビロハナカミキリを採集. すかしば, (22) : 25.
- 伊藤文紀・久保田直哉 (1984) 匹見産昆虫目録1. 匹見町の鱗翅目. すかしば, (21) : 1-14.
- 伊藤 宏 (1986) 三瓶山でウラキシジミを採集. すかしば, (25) : 14.
- 伊藤 宏・三島秀夫 (2000) 島根県三瓶山のウスイロヒョウモンモドキ. 24-27. In: 淀江賢一郎 (編) 「検討会討議資料集 ウスイロヒョウモンモドキの衰亡と保護-激減する草索性チョウ類の保護をめざして-」. (財) ホシザキグリーン財団, 94 pp.
- 伊藤 寿 (2005) 島根県島根半島でウラナミジャノメを採集. 月刊むし, (418) : 18.
- 伊藤 寿 (2006a) 島根県におけるホシミスジとウラナミジャノメの採集例. すかしば, (54) : 15.
- 伊藤 寿 (2006b) 中国地方のホシミスジの謎. 日本鱗翅学会中国支部報, (7) : 4-6.

- 伊藤 寿 (2007) 島根県浜田市・江津市でホシミスジを採集. すかしば, (55) :32.
- 岩田久二雄 (1936) 擬鼻高峰と鼻高峰の習性. 昆虫, 10 (5) :233-250.
- 和泉浩行 (1985a) 赤来町の鞘翅目 (I) -中間報告-. すかしば, (23) :11-16.
- 和泉浩行 (1985b) 赤来町の鞘翅目 (II) -中間報告-. すかしば, (24) :5-7.
- 和泉浩行 (1985c) 赤来町でウラキンシジミを採集. すかしば, (24) :7.
- 和泉浩行 (1988) 赤来町の蝶類 -赤名・谷地区を中心にして-. すかしば, (29) :1-6.
- 門脇久志 (1958) 隠岐島昆虫目録. 謄写自刊. 8pp.
- 門脇久志 (1968) 隠岐島の昆虫1. スネケブカヒロコバネカミキリの生態. 採集と飼育, (30) :91-99.
- 門脇久志 (1976) 隠岐島の昆虫2. 隠岐島の蝶類. すかしば, (6) :3-23.
- 門脇久志 (1977a) 隠岐島の蝶類 (補遺1). すかしば, (7) :14.
- 門脇久志 (1977b) 隠岐島の昆虫3. 隠岐島のカミキリムシ. すかしば, (7) :15-38.
- 門脇久志 (1977c) 隠岐島の昆虫4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8) :1-9.
- 門脇久志 (1977d) 島根むしノート4. コメツキムシ・クワガタムシ・ハンミョウの記録. すかしば, (8) :16-17.
- 門脇久志 (1978) 隠岐島の昆虫5. 隠岐島のコメツキムシ. すかしば, (10) :27-36.
- 門脇久志 (1979) 隠岐島の昆虫7. 隠岐島のオサムシ. すかしば, (12) :17-21.
- 門脇久志 (1980) 隠岐島の昆虫8. 隠岐島のジョウカイボン. すかしば, (13) :29-30.
- 門脇久志 (1982) 隠岐島の昆虫9. 隠岐島のアリ類. すかしば, (17) :27-30.
- 門脇久志 (1983) 隠岐島の昆虫10. 隠岐島の甲虫類目録. すかしば, (20) :3-20.
- 門脇久志 (1985) 隠岐島の昆虫11. 隠岐島のセミ. すかしば, (23) :21-23.
- 門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33) :13-18.
- 門脇久志 (1991) 隠岐島の昆虫15. 隠岐島のゴミムシダマシ. すかしば, (35) :9-14.
- 門脇久志 (1994) 三瓶山のバッタ類. 三瓶山の昆虫相とその保全: 17-19. 島根県昆虫研究会.
- 門脇久志 (1996) 隠岐諸島の昆虫16. 隠岐のカワトンボ. すかしば, (43/44) :73-78.
- 門脇久志 (1998) 島根県のトビケラ類. すかしば, (46) :1-12.
- 門脇久志 (2001a) 隠岐諸島の昆虫18. 中根猛彦博士同定の隠岐の昆虫類. すかしば, (49) :39-55.
- 門脇久志 (2001b) タガメの1卵塊からの飼育例. すかしば, (49) :63-69.
- 門脇久志・岸田泰則 (1977) 隠岐島の蛾 (II). 蛾類通信 (91) :506-513.
- 門脇久志・岸田泰則 (1987) 隠岐島の昆虫13. 隠岐島の蛾 (3). すかしば, (27) :1-14.
- 門脇久志・三島秀夫 (2006) 隠岐島の蛾 (IV). すかしば, (54) :23-29.
- 門脇久志・那須 敏 (2001) 1994年隠岐・島後のカミキリムシ採集紀行. すかしば, (49) :29-32.
- 門脇久志・淀江賢一郎 (1979) 鹿足郡津和野町地倉沼で得た昆虫類. すかしば, (12) :33-34.
- 門脇久志・淀江賢一郎 (1988) 隠岐の昆虫. 日本の生物, 2 (4) :43-52.
- 門脇久志・淀江賢一郎・大島弘 (1992) 島根県で採集された蛾類目録. すかしば, (37/38) :1-44.
- 柿沼 進 (2009) 島根県浜田市でゴヘイニクバエを採集. はなあぶ, (27) :56.
- 神垣健司 (1994) キマダラモドキの研究 I. 比婆科学, (159) :1-21.
- 神垣健司 (2005) 中国地方のシルビアシジミの衰亡と考察. 蝶研フィールド, (227) :27-30.
- 上田常一 (1961) 松江市堀川の生物. 山陰文化研究紀要, (1) :1-25.
- 上田常一 (1964) 山陰の珍チョウ. 「山陰の動物誌」:121-129. 松江今井書店.
- 上田常一 (1965) 「隠岐の動物」:49-56. 松江園山書店.
- 神谷一男・山本 玄 (1934) 甲虫目録1, 隠岐島の昆虫相. 関西昆虫学会会報, (53) :308-309.
- 金子岳夫 (2012) クロモンチビヒメシヤクの島根県からの記録. 誘蛾燈, (210) :142.
- 環境庁編 (1980) 「日本の重要な昆虫類・中国版」第2回自然環境保全基礎調査.
- 環境庁編 (1982) 「日本の重要な昆虫類の分布・全国版」第2回自然環境保全基礎調査.
- 環境庁編 (1991) 「日本の絶滅のおそれのある野生生物」. 271pp. (財) 自然環境研究センター.
- 環境庁編 (1993) 「動植物分布調査報告書 (昆虫 (トンボ) 類)」. 259pp.
- 環境庁編 (1993) 「動植物分布調査報告書 (昆虫 (セミ・甲虫) 類)」. 351pp.
- Katsuma, N. (2009) A new species of the genus *Setodes* Rambur (Trichoptera, Lepitoceridae) from Japan. Biogeography, 11: 41-46.
- 桂孝次郎 (1999) 大阪でも見つかった, 最近, 新種記載されたユミアシサシガメの一種 (*Polytoxus armillatus* T. Ishikawa). かめむしニュース, (19) :2.
- 桂孝次郎・宮武頼夫 (1993) ウシカメムシの幼生期, 分布及び生活史の概略について. 大阪市立自然史博物館研報, (47) :37-44.
- 川井信矢 (2000) ムネアカセンチコガネの穴掘り採集法. 鯉角通信, (1) :54-56.
- 川井信矢 (2003) 砂地性マグソコガネ類の篩いによる採集法. 鯉角通信, (6) :53-58.
- 川井信矢・河原正和 (2001) 隠岐・知夫里島の秋季の糞虫について. 鯉角通信, (2) :45-48.
- 川合禎次・谷田一三 (2005) 「日本産水生昆虫 - 科・属・種への

- 検索」. 1342pp. 東海大学出版
- 河上康子・林 成多 (2007) 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究 (2) 島根半島. ホシザキグリーン財団研究報告, (10): 37-76.
- 川元 裕 (2010) 島根県西部におけるウラナミジャノメの採集記録. 山口のむし, (9) : 48.
- 川野敬介 (2005) 島根県東部の止水性水生昆虫の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (8) : 77-97.
- 川野敬介・中野浩史・林 成多・山内健生 (2006) 出雲市平田地域のため池生物調査 (2) 止水性水生昆虫類の生息状況. ホシザキグリーン財団研究報告, (9) : 13-37.
- 川野敬介・尾原和夫・大木克行・吉岡誠人・青木新吾・林 成多・皆木宏明 (2011) 島根県産水生半翅類の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (2) : 104pp.
- 川野敬介・皆木宏明 (2012) 島根県におけるホタル類の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 235-247.
- 川久保千恵・星川和夫 (2011) 三瓶山姫逃池におけるトンボ群集の変遷. 島根県立三瓶自然館研究報告, (9) : 25-33.
- 河瀬直幹・林 成多 (2009) 島根県安来市で採集されたギンボシツツトビケラ *Setodes argentatus* の記録 (毛翅目ヒゲナガトビケラ科). ホシザキグリーン財団研究報告, (12) : 323-324.
- 河瀬直幹・林 成多 (2010) 島根県奥出雲町船通山で採集されたトビケラ目成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 83-86.
- 河瀬直幹・林 成多 (2011) 島根県出雲市で採集されたトビケラ成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (14) : 189-193.
- 河瀬直幹・林 成多 (2012) 2009~2011年に島根県で採集したトビケラ成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 253-258.
- 建設省中国地方建設局出雲工事事務所編 (1994) 「斐伊川水系の昆虫」200pp.
- 木村正明 (1989) 隠岐のホシミスジの分布とその食餌植物について. NEPTIS, (2) : 23-26.
- 木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布. 「概観島前地誌」: 54-56. 隠岐地理学会.
- 木村康信 (1939a) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 1-23. 自刊.
- 木村康信 (1939b) 島前ニ於ケル動植物分布. 「増補改訂・概観島前地誌」: 19-34. 隠岐地理学会.
- 木村康信 (1975) 隠岐の蝶. 島前の文化財, (5) : 10-14.
- 衣笠弘直・桂孝次郎 (1992) 隠岐島 (島後, 島根県隠岐郡) で採集したトンボ. すかしば, (37/38) : 143.
- Kishii, T. (1991) New Negastrinae with some notes "some new forms of Elateridae in Japan (X)". Bulletin of the Heian High School, (20) : 17-45.
- 岸本 修・中島久朋・小椋英勇・河野広光 (1983) 島根県のウラジャノメの2産地. すかしば, (19) : 8
- 岸田泰則 (2011a) ドクガ科. 岸田泰則編「日本産蛾類標準図鑑2」: 139-147. 学研教育出版, 東京.
- 岸田泰則 (2011b) ヒトリガ科. 岸田泰則編「日本産蛾類標準図鑑2」: 148-167. 学研教育出版, 東京.
- 岸田泰則・柳田慶浩・清野昭夫・石塚勝巳 (2011) ヤガ科シタバガ亜科. 岸田泰則編「日本産蛾類標準図鑑2」: 244-264. 学研教育出版, 東京.
- 岸田泰則編 (2011) 日本産蛾類標準図鑑1. 2. 学研教育出版, 東京.
- 小早川誠 (2004) 島根県内にて希少ゲンゴロウを採集. すかしば, (52) : 8.
- 小早川誠 (2007) 島根県内にてシャープゲンゴロウモドキを採集. すかしば, (55) : 49-50.
- 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・島前で得られた水生昆虫. すかしば, (55) : 51-54.
- 小早川誠・永田正人 (2006) 島根県内にてコガタノゲンゴロウを採集. すかしば, (54) : 30-31.
- 小林一彦 (1957) 毛無山を中心とした島根広島県境の蝶類採集報告. 千鳥, (3) : 31-42.
- 小林一彦 (1958) ミスジチョウと市街地. 千鳥, (4) : 1-3.
- 小林一彦 (1993) 鳥取県およびその周辺のヒメハルゼミ生息地について. 鳥取生物, (27) : 11-21
- 小林一彦 (1994) 山陰地方のギフチョウとカンアオイ. 「山陰のチョウたち」: 166-169. 山陰中央新報社.
- 小林裕和・松本 武 (2011) 「日本産コガネムシ上科図説 第3食葉群Ⅱ」178pp. 昆虫文献六本脚
- Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). Bull. Kanagawa Pref. Mus., (17) : 13-35.
- 児玉 洋 (1984a) 匹見産昆虫目録2. 匹見町の鞘翅目. すかしば, (22) : 11-19.
- 児玉 洋 (1984b) 松江市でコブナシコブスジコガネを採集. すかしば, (22) : 19.
- 児玉 洋 (1985) 出雲北山のホンシュウジカの糞に集まる食糞コガネ. すかしば, (23) : 19-20.
- 小島圭三・林 匡夫 (1969) 原色日本昆虫生態図鑑Ⅰカミキリ編. 294p p. 56p l s. 保育社.
- 国土交通省中国地方整備局斐伊川・神戸川総合開発工事事務所 (2007) 「尾原ダム自然環境調査業務 報告書」
- 国土交通省中国地方整備局斐伊川・神戸川総合開発工事事務所 (2010) 「尾原ダム自然環境モニタリング調査業務 報告書」
- 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所 (2011) 「尾原ダム自然環境モニタリング調査業務 報告書」
- 小坂一章 (2009a) 高津川河畔のツマグロキチョウとシルビアシジミ. 山口のむし, (8) : 31.
- 小坂一章 (2009b) 江の川中流域に居すキイロヤマトンボ. 山口のむし, (8) : 79-91.
- 小坂一章 (2010a) 中国太郎下流域に散居するキイロヤマトンボ. 山口のむし, (9) : 117-126.
- 小坂一章 (2010b) 石州高津川にキイロヤマトンボあり. 山口のむし, (9) : 127-134.
- 小坂敏和 (1994) 広島県産甲虫ノート (14). 広島虫報, (33) : 11-15.
- 小柳二三夫 (2013) ゴマシジミ異常型を雲南市で採集. すかしば, (60) : 22.
- 近藤万里・星川和夫 (2009) ホシミスジ隠岐個体群の成虫の発生消長と生息空間. ホシザキグリーン財団研究報告, (12) : 229-234.

- 久保田直哉 (1985) 松江市近郊の蝶類の分布に関する知見. すかしば, (24) :13-14.
- 久保田直哉 (1986) 隠岐諸島・中ノ島で得たチョウ類. すかしば, (26) :14.
- 久保田直哉 (1987) 隠岐諸島・島後でエゾミドリシジミを発見. すかしば, (27) :16.
- 久保田直哉 (1988) 隠岐・西ノ島でシルビアシジミを採集. すかしば, (30) :54.
- 久保田直哉・伊藤文紀 (1983) 隠岐新記録の蝶2種. すかしば, (20) :46.
- 久保康彦・横山 隆 (2013) 「珠玉の標本箱 (5) ウラゴマダラシジミ」. 33pp. 有田 齊・前田善広編.
- 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之編 (1985) 「原色日本甲虫図鑑 (III)」. 500pp. 保育社.
- 京都大学蝶類研究会 (2004) 2003年日本産蝶類採集情報. SPINDA, (19) :120-149.
- 京都大学蝶類研究会 (2005) 2004年日本産蝶類採集情報. SPINDA, (20) :106-142.
- 京都大学蝶類研究会編 (2011) 「京大蝶研の標本箱」, 234pp.
- 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター編 (1989) 「日本産昆虫総目録」. 1767pp. 九州大学農学部昆虫学教室.
- 町田禎之 (1985) 匹見産昆虫目録3. 匹見町の半翅目. すかしば, (23) :1-8.
- 前田泰生 (2006) 島根県産メバエ類の採集記録. すかしば, (54) :1-6.
- 前田泰生・北村憲二 (2006) 島根県産ネジレバネ類. すかしば, (54) :7-8.
- 丸山宗利ほか (2013) アリヅカウナカ, キノカワハゴロモ: 「アリの巣の生き物図鑑」, 110-111, 東海大学出版会.
- Maruyama, M. and M. Hayashi (2009) Description of the intertidal aleocharine *Halorhadinus sawadai* sp. n. from Japan, with notes on the genus *Halorhadinus* Sawada, 1971. *Koleopterologische Rundschau*, 79: 71-82.
- 益田耕作 (1966) 恐羅漢山のウラジャノメ. 昆虫と自然, 1 (5) : 38.
- 増田耕作 (1954) チビゴミムシの一種. *Rare Insects*, (9) :11-15.
- 増田耕作 (1955) 石見地方のチビゴミムシ亜科の甲虫. 島根県立益田産業高校研究報告集, (3) :1-4.
- 増田耕作 (1985) 「昆虫採集と新種」. 14pp. 自刊.
- 益本仁雄 (1973) 「フン虫の採集と観察」. 96pp. ニューサイエンス社.
- 益野俊行 (1954) 中部中国山脈の蝶類 (1). *Amateur Entomology*, 4 (3) :6-11.
- 益野俊行 (1954) 中国山脈中部の蝶類. *Amateur Entomology*, 5 (1/2) :18-19.
- 松原 至 (2001) 中国地方産ルリクワガタ属分布資料 (1). 鯉角通信, (3) :25-28.
- 松原 至 (2002) 中国地方産ルリクワガタ属分布資料 (2). 鯉角通信, (4) :15-17.
- 松田 賢・中村慎吾 (1999a) 島根県高津川の昆虫相. ホシザキグリーン財団研究報告, (3) :57-119.
- 松田 賢・中村慎吾 (1999b) 江の川水系の昆虫類. 比和科学博物館研究報告, (37) :39-176.
- 松田隆嗣 (2009) 松江市で採集されたガ類について. すかしば, (57) :29-30.
- 松田隆嗣 (2012a) ナマリキシタバの幼虫を立久恵峡で採集. すかしば, (59) :6.
- 松田隆嗣 (2012b) ムラサキシタバを島根半島で採集. すかしば, (59) :8.
- 松田隆嗣 (2012c) 鳥取県大山におけるネズミホソバの採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (7) :16.
- 松田隆嗣 (2012d) ハマゴウノメイガを島根県で採集. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) :298.
- 松田隆嗣・野口祐美子 (2013a) 松江市各地でウスズミカレハを確認. すかしば, (59) :10.
- 松田隆嗣・野口祐美子 (2013b) 松江市でオナガミズアオを採集. すかしば, (60) :17-18.
- 松村雅史 (1979) 島根・鳥取両県での甲虫数種の採集記録. すかしば, (11) :21.
- 松野 宏 (1972) 山口県産蝶類数種の記録. 山口県の自然, 3 (6) :20-22.
- 松浦 誠・山根正気 (1984) 「スズメバチ類の比較行動学」. xvi+428pp. 北海道大学図書刊行会.
- 松崎 隆 (2009a) ギフチョウ採集記録2001~2004年. 緑蝶, (9) :23-37.
- 松崎 隆 (2009b) ルームシジミ採集記録2001~2004年. 緑蝶, (9) :49-52.
- 三上秀彦 (1995) 中国産ギフチョウの変異と分布を考える. 蝶研フィールド, 10 (3) :4-9.
- Miyatake, Y. (1980) Notes on the genus *Pachypsylla* of Japan, with description of a new species (Homoptera: Psyllidae). *Bull. Osaka Mus. Nat. Hist.*, (33) :61-70, pl. 18.
- 皆木宏明 (2007a) 島根県初記録となるフクイアナバチ (ハチ目: アナバチ科) について. 島根県立三瓶自然館研究報告, (5) :25-26.
- 皆木宏明 (2007b) 島根県西部で初記録となるコバネアオイトトンボ (トンボ目: アオイトトンボ科) について. 島根県立三瓶自然館研究報告, (5) :27-28.
- 皆木宏明 (2008) 島根県中央部で確認されたベニイトトンボ (トンボ目: イトトンボ科). 島根県立三瓶自然館研究報告, (6) :33-34.
- 皆木宏明・前田泰生 (2000) 海浜における送粉生態系の保全に関する研究. 1. 大社砂丘における訪花昆虫の種類とそれらの季節消長. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) :139-160.
- 三島秀夫 (1983) 三瓶山でギフチョウを採集. すかしば, (20) :46.
- 三島秀夫 (1986) 温泉津町でギフチョウを採集. すかしば, (25) :14.
- 三島秀夫 (1991) キイロサナエとゲンバイトンボの記録. すかしば, (35) :5.
- 三島秀夫 (1998) ホソバミツモンケンモンを採集. すかしば, (46) :56.

- 三島秀夫 (2001a) 島根県「春の夜蛾・秋の夜蛾」. すかしば, (49) :1-7.
- 三島秀夫 (2001b) 三瓶山でスギタニルリシジミを採集. すかしば, (49) :86.
- 三島秀夫 (2002) 蛾の記録3つ. すかしば, (50) :76.
- 三島秀夫 (2007) 注目すべき島根県のカ数種について. 島根県立三瓶自然館研究報告, (5) :31-33.
- 三島秀夫 (2011) 注目すべき島根県のカ数種2010. 島根県立三瓶自然館研究報告, (9) :103-105.
- 三島秀夫 (2012) 注目すべき島根県のカ数種2011. 島根県立三瓶自然館研究報告, (10) :63-64.
- 三島秀夫 (2013) 島根県のカ. 谷田昌也編「六虫会25周年記念誌」:48-49.
- 三島秀夫・尾原和夫 (2005) 2004・島根県西部の蛾類あれこれ. すかしば, (53) :39.
- 三島秀夫・大浜祥治 (2009) 隠岐諸島の蛾類 (I). すかしば, (57) :45-104.
- 三島秀夫・矢田猛士 (2008) 島根県大田市富山町の蛾類. 島根県立三瓶自然館研究報告, (6) :21-31.
- 三島秀夫・矢田猛士 (2009) 島根県大田市富山町の蛾類II. 島根県立三瓶自然館研究報告, (7) :107-119.
- 三島秀夫・米浦道子 (2010) 島根県大田市久手町の蛾類. 島根県立三瓶自然館研究報告, (8) :25-32.
- 三島昭一 (1977) ウラナミジャノメの採集例. すかしば, (8) :22.
- 三島昭一 (1988) 三瓶山でクロミドリシジミ幼虫を採集. すかしば, (30) :53.
- 三島昭一 (1990) 三瓶山でウラキンシジミを採集する. すかしば, (34) :20.
- 三島昭一 (1991a) 島根県東部のゴマシジミ調査記録. すかしば, (36) :14.
- 三島昭一 (1991b) 頓原町都加賀でのゼフィルス調査記録. すかしば, (36) :14.
- 三島昭一 (1993) 未記録種2種を含む三瓶山のチョウ採集記録 (1993年). すかしば, (39/40) :52.
- 三島昭一 (1995a) Thymelicus属2種の採集記録. すかしば, (41/42) :13.
- 三島昭一 (1995b) ウラジロミドリシジミを島根半島で採集. すかしば, (41/42) :13.
- 三島昭一 (1995c) 出雲市でスジボソヤマキチョウを採集する. すかしば, (41/42) :13.
- 三島昭一 (1997a) 江川水系でミスジチョウを観察する. すかしば, (45) :12.
- 三島昭一 (1997b) 1995年夏・ゼフィルス三瓶山での記録. すかしば, (45) :58.
- 三島昭一 (1998a) ヒサマツミドリシジミ卵を金城町で採集. すかしば, (46) :64.
- 三島昭一 (1998b) 島根県大万木山のブナ林でヒサマツミドリシジミを採集. すかしば, (46) :65-66.
- 三島昭一 (1998c) ゴマシジミの吉田村民谷における衰亡の記録. すかしば, (46) :66-67.
- 三島昭一 (2004a) ヒサマツミドリシジミを島根県旭町で採集する. すかしば, (52) :22.
- 三島昭一 (2004b) ギフチョウの新産地. すかしば, (52) :30.
- 三島昭一 (2007a) 島根県三瓶山産ホシミスジの覚え書き. すかしば, (55) :33-34.
- 三島昭一 (2007b) 島根県産ホシミスジの分布と一考察. すかしば, (55) :34-35.
- 三島昭一 (2007c) スギタニルリシジミを島根県赤来町で採集. すかしば, (55) :34-35.
- 三島昭一 (2012) ヒメシジミを匹見町で採集する. すかしば, (59) :18.
- 三島昭一 (2013a) ウラギンスジヒョウモン♀を三瓶山で撮影. すかしば, (60) :25.
- 三島昭一 (2013b) メスグロヒョウモン♀を島根半島で目撃. すかしば, (60) :25.
- 三島昭一 (2013c) 島根県西部金城町のヒメシジミとコキマダラセセリを採集. すかしば, (60) :27-28.
- 三島寿雄 (1970) 島根県東部のヒロオビミドリシジミ. 昆虫と自然, 5 (12) :7-8.
- 三島寿雄 (2007) 枕木山でオオルリボシヤンマを採集. すかしば, (55) :12.
- 三島寿雄・松岡嘉之 (1979) 「大山の蝶」. 205pp. 米子今井書店.
- 水戸野武夫 (1955) スネケブカヒロコバネカミキリについて. 島根県生物学会報, (5) :9-10.
- 水戸野武夫 (1959) 隠岐島で採れた珍しい昆虫. 新昆虫, 12 (2) :46.
- 三宅 登・福井修二・金子信博・片桐成夫 (1990) 島根大学農学部付属三瓶演習林の鞘翅目. 山陰地域研究 (森林資源), (6) :175-188.
- 三宅恒方 (1908) 隠岐島の昆虫相に就て. 日本昆虫学会報, 2 (8) :182-186.
- 三宅誠治 (2007) 中国地方のクロミドリシジミ. 月刊むし, (437) :42-47.
- Miyake, T (1907) An annotated list of the Lepidoptera of OKI. Annot. Zool. Japan, 6 (3) :163-217.
- Miyake, Y. and S. Nakamura (1995) Description of a new species of genus *Sericania* preserved in the Hiwa Museum for Natural History (Insecta: Coleoptera: Scarabaeidae). *HIBAKAGAKU*, (164) :9-12.
- Miyamoto, S. and Yasunaga, T. (1988) A new genus and species of the Miridae from Japan (Hemiptera, Heteroptera). *ESAKIA*, (26) :133-138.
- 宮本正一 (1977) 日本産異翅半翅類の学名について (2). *Rostraria*, (27) :207-209.
- 宮本正一・石原 保ほか (1964) 「原色日本昆虫大図鑑III」. 358pp. 北隆館.
- 宮本詔子 (2010) 益田市の冬季におけるクロマダラソテツシジミ観察記録2009年. すかしば, (58) :17-20.
- 宮本詔子・宮本聡史 (2008a) 益田市でベニイトトンボを採集する. すかしば, (56) :45-47.
- 宮本詔子・宮本聡史 (2008b) 益田市でタイワンウチワヤンマの成虫と羽化殻を採集. すかしば, (56) :49-51.
- 宮本詔子・宮本聡史 (2008c) 島根県におけるヒロシマサナエの新

- 産地発見と生態の記録. すかしば, (56) : 53-64.
- 宮本詔子・宮本聡史 (2009) 益田市でオナガアカネを採集. すかしば, (57) : 34-35.
- 宮本詔子・宮本聡史 (2010a) 益田市におけるベニイトトンボの分布調査. すかしば, (58) : 27-29.
- 宮本詔子・宮本聡史 (2010b) 益田市中垣内町でハッチョウトンボを確認する. すかしば, (58) : 30.
- 宮武頼夫・加納康嗣編 (1992) 「検索入門セミ・バッタ」. 215pp. 保育社.
- 宮武頼夫編 (1996) 「青木浩昆虫コレクション目録」. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第28集
- 水田國康 (1993) 広島県のフン虫雑記 (4). ふくがん, (6) : 4-6.
- 森 正人・北山 昭 (2002) 「改訂版 図説日本のゲンゴロウ」. 231pp. 文一総合出版.
- 森川比呂志 (1977) 隠岐採集記. *Sakaiensis*, 14 (1) : 4-7.
- Morimoto, K and Maeta, Y (2009) A New Species of *Stenoria* (Coleoptera, Meloidae) from Japan, with Description of the First Instar Larva. *Jpn. J. syst. Ent.*, 15 (2) : 475-480.
- 森田誠司 (1993) 海棲のオサムシ科甲虫について. *昆虫と自然*, 28 (11) : 17-22.
- 森山正治 (1978) 私の採集した蝶とカミキリ (一). すかしば, (10) : 22.
- 森山正治 (1979a) 私の採集した蝶とカミキリ (二). すかしば, (11) : 23-24.
- 森山正治 (1979b) 私の採集した蝶とカミキリ (三). すかしば, (12) : 35-36.
- 森山正治 (1980) 私の採集した蝶とカミキリ (四). すかしば, (13) : 25-26.
- 守安 敦 (2002) ヒロシマサナエの新産地. *昆虫と自然*, 37 (14) : 43.
- 村井貴史・伊藤ふくお (2011) 「バッタ・コオロギ・キリギリス生態図鑑」. 北海道大学出版会, 札幌.
- 村路雅彦・加藤正雄 (1990) エサキアメンボ *Limnoporus esakii* の生活史に関する知見. *中国昆虫*, (4) : 1-5.
- 長見和正 (1958) ウミズカメムシの新産地. *新昆虫*, 11 (2) : 48-49.
- 長瀬 翔 (2007a) 神戸川でキロヤマトンボの幼虫を採集. すかしば, (55) : 28.
- 長瀬 翔 (2007b) 島根半島でムカシトンボの幼虫を確認. すかしば, (55) : 44.
- 長瀬 翔 (2012a) 島根半島部でハネビロエゾトンボを採集. すかしば, (59) : 29.
- 長瀬 翔 (2012b) 飛来種のオオギンヤンマを採集. すかしば, (59) : 29.
- 長瀬 翔 (2013) 神戸川でナゴヤサナエの幼虫を採集. すかしば, (60) : 50.
- 柳楽泰久 (1936) 分布三件. *昆虫界*, 4 (23) : 69.
- 長島孝行 (1982) ガロアムシの生活史. *インセクトリウム*, 19 (3) : 4-17.
- 中原正登 (1982) 旅伏山でのオオムラサキ採集例. すかしば, (16) : 4.
- 中井 衛 (1954) 松江付近の蟬類. *昆虫界*, (120) : 2-4.
- 中川邦隆 (1997) ハナムグリ採集紀行PART II, 隠岐西ノ島、中ノ島. みやくに通信 (77) : 1-3.
- 中村慎吾 (1973) 中国山地におけるヒメシジミの分布. *蝶と蛾*, 22 (3/4) : 104-105.
- 中村慎吾 (1987) 帝釈峠昆虫記6. タイシャクナガチビゴミシと鍾乳洞の昆虫たち. 帝釈文化, (17) : 8-15.
- 中村慎吾・亀山 剛・片山舜輔 (2001) 江の川の昆虫類. ホシザキグリーン財団研究報告, (5) : 17-114.
- 中村慎吾・松田 賢 (2005) 島根県高津川の昆虫類, 2000年の調査結果. ホシザキグリーン財団研究報告, (8) : 99-172.
- 中村慎吾・関本生人・小田信明 (1999) 比和町立自然史科学博物館に寄贈された故伊藤弘氏の日本産蝶類標本. 比和町立自然科学博物館標本資料報告, (1) : 23-50.
- 中村泰士 (1969) 匹見町のミドリシジミ類-付・恐羅漢のウラジャノメについて-. すかしば, (4) : 3-5.
- 中村泰士 (1977) 島根県下のオオムラサキ杉谷型. すかしば, (7) : 39.
- 中村泰士 (1978) ヒサマツミドリシジミ♀の斑紋変異. すかしば, (10) : 1-4.
- Nakane T. (1983) New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent Regions, xxxvi. *Frag. Coleop.*, 35/37 : 141.
- 中根猛彦 (1963) 「原色昆虫大図鑑Ⅱ」: 443pp., 192pls. 北隆館.
- 中根猛彦 (1989) 日本の雑甲虫覚え書. *北九州の昆虫*, 36 (3) : 143-152.
- 中藺洋行 (2004) ハマバツチカメムシを島根県で採集. すかしば, (52) : 16.
- 中藺洋行・星川和夫 (2003) ウスイロヒョウモンモドキ三瓶山個体群の動態: 2002年度モニタリング調査の報告. *中国昆虫*, (16) : 35-44.
- 中藺洋行・宮永龍一・伊藤 宏・淀江賢一郎・星川和夫 (2001) 三瓶山のウスイロヒョウモンモドキ個体群の現状 (速報). ホシザキグリーン財団研究報告, (5) : 265-269.
- 直海俊一郎 (1994) 本州から未記録のハネカクシ2種. *房総の昆虫*, (11) : 22.
- 成瀬吾朗・佐々田護 (1951) 西部中国山脈の蝶類第一報. *昆虫石見*, (2) : 9-11.
- 日本鞘翅目学会編 (1984) 「日本産カミキリ大図鑑」565pp. 講談社.
- 日本直翅類学会編 (2006) 「バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑」. 北海道大学出版会, 札幌.
- 西田秀行 (1980a) シルビアシジミを加賀で採集. すかしば, (14) : 4.
- 西田秀行 (1980b) ゴマシジミの一産地. すかしば, (14) : 11.
- 西脇淳浩・星川和夫 (2001) 宍道湖におけるナゴヤサナエとウチワヤンマの羽化消長. ホシザキグリーン財団研究報告, (5) : 215-221.
- 延 栄一 (1997) 山陰のギフチョウの変異と未来ギフ. *蝶研フィールド*, (131) : 8-12.
- 野津 裕 (1978) 島根県の甲虫. すかしば, (9) : 9-12.
- 野津幸夫 (1990) 三瓶山の食糞性コガネムシ. すかしば, (34) : 17.
- 野津幸夫 (1993) 島根県のセミの分布記録2例. すかしば,

- (39/40) : 36.
- 野津幸夫 (1995a) 枕木山のホタルの記録. すかしば, (41/42) : 53.
- 野津幸夫 (1995b) 島根県未記録種を含む稀な蛾類の採集記録. すかしば, (41/42) : 55-56.
- 野津幸夫 (1996) 隠岐諸島産ヒメボタルの記録. すかしば, (43/44) : 68.
- 野津幸夫 (1997a) キボシマルウンカを石見銀山で採集. すかしば, (45) : 12.
- 野津幸夫 (1997b) 島根県産昆虫類の分布記録 (1). すかしば, (45) : 54-55.
- 野津幸夫 (1997a) ケシマグソコガネ類 2 種の記録. すかしば, (45) : 81.
- 野津幸夫 (1997d) ホソバミツモンケンモンを島根県から初記録. すかしば, (45) : 82.
- 野津幸夫 (1998a) 飯石郡のアカエゾゼミとエゾハルゼミの分布記録. すかしば, (46) : 22.
- 野津幸夫 (1998b) ミツノエンマコガネを島根県から初記録. すかしば, (46) : 67.
- 野津幸夫 (2012a) ナマリキシタバ 島根県にて採集. すかしば, (59) : 4-5.
- 野津幸夫 (2012b) シロシモフリエダシャクを安来市布部ダムで採集. すかしば, (59) : 12.
- 野津幸夫 (2012c) 浜田市金城町傍示峠8月初旬の蜻蛉. すかしば, (59) : 32-33.
- 野津幸夫 (2013a) グンバイトンボを江の川水系濁川で採集. すかしば, (60) : 43.
- 野津幸夫 (2013b) 浜田市雲月山でヒメクロサナエ、ムカシヤンマ、ミヤマアカネを確認. すかしば, (60) : 43.
- 能美 豪 (1969) 鹿足郡六日市町の蝶. NECYDALIS, 2 (2) : 9-13.
- 野崎隆夫 (2000) 広島県産カラフトゴマフトビケラの確認. 比和科学博物館研究報告, (39) : 1-4.
- 野崎隆夫・中村慎吾 (2005) 島根県で採集されたトビケラ成虫の記録. 比和科学博物館研究報告, (45) : 217-229.
- 尾原和夫 (1983) 島根県西部で採集した陸生カメムシ類. すかしば, (20) : 51-56.
- 尾原和夫 (1986) 島根県東部で採集した陸生カメムシ類. すかしば, (26) : 5-11.
- 尾原和夫 (1988) 島根県東部で採集した陸生カメムシ類 (2). すかしば, (29) : 7-9.
- 尾原和夫 (1989) 浜山のオオヒョウタンゴミムシ. すかしば, (32) : 31.
- 尾原和夫 (1990) 島根県の同翅類 (1) -セミを除く頸吻群-. すかしば, (33) : 7-9.
- 尾原和夫 (1991a) 第1回斐伊川放水路環境調査委員会資料 : 179-183, 建設省中国建設局出雲工事事務所.
- 尾原和夫 (1991b) 隠岐・島後で採集した半翅類. すかしば, (36) : 12-13.
- 尾原和夫 (1993a) 1993年隠岐で採集した半翅類. すかしば, (39/40) : 27-28.
- 尾原和夫 (1993b) 三瓶山のセミ. すかしば, (39/40) : 36.
- 尾原和夫 (1994) 瑞穂町の直翅型昆虫類. 「島根県瑞穂町の昆虫相」 : 13-14. 島根県昆虫研究会.
- 尾原和夫 (1997) 島根県の両生・水生カメムシ類. すかしば, (45) : 13-16.
- 尾原和夫 (1999a) 出雲市郊外における脱皮殻調査によるセミ類 7 種の羽化消長. ホシザキグリーン財団研究報告, (3) : 265-272.
- 尾原和夫 (1999b) 隠岐・島後で採集した異翅半翅類. すかしば, (47) : 19-22.
- 尾原和夫 (2000a) 島根県で採集された未公表の異翅半翅類. すかしば, (48) : 33-41.
- 尾原和夫 (2000b) ユミアシサシガメ属 *Polytoxus* の島根県における記録. すかしば, (48) : 42.
- 尾原和夫 (2000c) トゲナベブタムシ匹見町で採集される. すかしば, (48) : 43.
- 尾原和夫 (2001) キノカワハゴロモの島根県内での記録. すかしば, (49) : 56.
- 尾原和夫 (2002a) カタビロクサビウンカの島根県における記録. すかしば, (50) : 49.
- 尾原和夫 (2002b) 島根県における山地性セミ類の記録. すかしば, (50) : 50.
- 尾原和夫 (2002c) 島根県で採集記録の少ない異翅半翅類について. すかしば, (50) : 73-75.
- 尾原和夫 (2003) 2003年大万木山域におけるエゾゼミ類の記録. すかしば, (51) : 29.
- 尾原和夫 (2005) 2004年ツマグロキチョウの観察記録. すかしば, (53) : 30.
- 尾原和夫 (2006a) 隠岐諸島のアメンボ類. *Rostria*, (52) : 61-63.
- 尾原和夫 (2006b) 島根県の半翅類. 「新島根の生物」 : 189-202. 日本生物教育会第61回全国大会記念誌.
- 尾原和夫 (2008a) 島田孝氏採集の隠岐産カメムシ類. すかしば, (56) : 1-7.
- 尾原和夫 (2008b) 島根県で採集された未公表の異翅半翅類 (2). すかしば, (56) : 9-22.
- 尾原和夫 (2008c) 中海南岸における半翅類の定点調査. すかしば, (56) : 19-22.
- 尾原和夫 (2008d) 島根県におけるナベブタムシ類の分布. ホシザキグリーン財団研究報告, (11) : 211-215.
- 尾原和夫 (2009) 島田孝氏採集の隠岐産同翅類. すかしば, (57) : 19-26.
- 尾原和夫 (2010a) 大根島の陸生半翅類. すかしば, (58) : 7-11.
- 尾原和夫 (2010b) 珍種イシハラカメムシを奥出雲町で発見. すかしば, (58) : 12.
- 尾原和夫 (2011) 脱皮殻調査によるヒメハルゼミの羽化曲線. *CI-CADA*, 20 (1/2) : 18-20.
- 尾原和夫 (2012) 島根県のセミ類, 近年の生息情報. すかしば, (59) : 34-35.
- 尾原和夫 (2013) 西中国山地のコオイムシ. すかしば, (60) : 40-41.
- 尾原和夫・三島秀夫 (2007a) 安来市東赤江町の蛾類. すかしば, (55) : 19-22.
- 尾原和夫・三島秀夫 (2007b) 出雲市塩冶町の蛾類. すかしば, (55) : 25-27.

- 尾原和夫・三島秀夫・淀江賢一郎 (2001) 島根県佐田町高津屋農道の昆虫類. ホシザキグリーン財団研究報告, (5) :139-160.
- 尾原和夫・大浜祥治・三島秀夫 (2007) 2005年島根県浜田市弥栄村程原林道の蛾類記録. すかしば, (55) :27-28.
- 越智輝雄 (2000) 日本産コブスジコガネの解説 (1). 鯉角通信, (1) :57-67.
- 越智輝雄 (2001) 日本産コブスジコガネの解説 (2). 鯉角通信, (2) :73-82.
- 岡 義人 (1969a) 出雲市のゼフィルスII. NECYDALIS, 2 (4) :1-3.
- 岡 義人 (1969b) 出雲市産蝶類目録II. 自刊. 8pp.
- 岡 義人 (1969c) 大田市三瓶山7月の蝶. NECYDALIS, 2 (5) :1-3.
- 岡 義人 (1971) 島根県未記録の蝶5種. 蝶と蛾, 22 (3/4) :109-111.
- 岡 義人 (1979) 三隅町でゲンイチモンジセセリを採集. すかしば, (12) :37.
- 岡 義人 (1983) 中国地方のオサムシ (2). 江川～高津川流域における地理的分布. すかしば, (20) :41-43.
- 岡 義人・曾田貞滋 (1979) 中国地方のオサムシ (1) -日野川流域～江川流域における地理的分布-. すかしば, (12) :1-15.
- 岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 島根教育, (430) :10-15.
- 岡部武夫 (1950) 隠岐雑俎. 隠岐郷土選書, (2) :17-29.
- 岡田雅裕 (1950) 浜田市近辺の蝶. 浜田高校生物部部報, 2 (1) :7-11.
- 岡田雅裕 (1952a) アサマイチモンジとシルビアシジミ. 昆虫石見, (2) :13-14.
- 岡田雅裕 (1952b) 三瓶山及びその付近の蝶 (1). 比婆科学, (27) :12-16.
- 岡田雅裕 (1952c) 「島根県石見地方産蝶類採集目録」. 26pp. 浜田昆虫同好会.
- 岡田雅裕・成瀬吾朗 (1949) 三瓶生物誌. 浜田高等学校生物学部部報, 2 (1) :4-24.
- 岡田雅裕・成瀬吾朗 (1951) 石見地方の蝶類第一報. 浜田高校生物学部部報, (6) :1-16.
- 岡田正哉 (1984) 竹節虫を調べやう5. ぱったりぎす, (61) :1972-1983.
- 岡島秀治・荒谷邦雄 (2012) 「日本産コガネムシ上科標準図鑑」. 444pp. 学研
- 岡本土朗 (1951) ホシミスジの新産地. 昆虫石見, (2) :18.
- 岡村一郎 (1989) 吾妻山でフジキオビを採集. すかしば, (31) :18.
- 岡山県 (2003) 「岡山県野生生物目録」. 397pp.
- 岡山県生活環境部自然環境課 (2003) 「岡山県レッドデータブック」. 465pp.
- 岡山県生活環境部自然環境課 (2010) 「岡山県レッドデータブック2009 動物編」. 416pp.
- 小村制伸 (2003) 山陰のギフチョウ採集案内. ゆずりは, (17) :27-28.
- 大林延夫・新里達也 (2007) 「日本産カミキリムシ」880pp. 東海大学出版会.
- 大田高校生物部 (1965) 三瓶山の蝶. 「三瓶研究総合誌第一集」:34-40.
- 大浜祥治 (1986) 匹見・益田周辺におけるトンボの記録. すかしば, (26) :1-4.
- 大浜祥治 (1987) 島根県のトンボ10種の新産地. すかしば, (28) :17-18.
- 大浜祥治 (1988) 布部ダム周辺のトンボとチョウ. すかしば, (30) :49-51.
- 大浜祥治 (1991) 斐川町でヒメハルゼミの鳴き声を確認. すかしば, (36) :4.
- 大浜祥治 (1996) 1995年隠岐諸島セミの記録. すかしば, (43/44) :62.
- 大浜祥治 (1998) 島根県のセミ分布メモ. すかしば, (46) :20-21.
- 大浜祥治 (2001a) 隠岐・島後でタガメが採集される. すかしば, (49) :26-27.
- 大浜祥治 (2001b) 隠岐のエゾゼミの生息状況. すかしば, (49) :27.
- 大浜祥治 (2001c) 神戸川でムスジイトトンボを発見. すかしば, (49) :28.
- 大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば, (50) :1-36.
- 大浜祥治 (2003a) 隠岐・島前の海士町でモノサシトンボが確認される. すかしば, (51) :15.
- 大浜祥治 (2003b) 八雲村星上山でヒメハルゼミの鳴き声を確認. すかしば, (51) :33.
- 大浜祥治 (2004) 隠岐・島後の油井ノ池でコバネアオイトトンボが大発生. すかしば, (52) :13.
- 大浜祥治 (2006) 島根県のトンボ類. 新島根の生物, 日本生物教育会島根大会実行委員会:171-187.
- 大浜祥治 (2007a) 隠岐・西ノ島でオオギンヤンマとハネビロトンボを採集. すかしば, (55) :24.
- 大浜祥治 (2007b) 2006年隠岐・島前で確認した直翅類. すかしば, (55) :55-60.
- 大浜祥治 (2008) 島前自然観察記. 隠岐の文化財, (25) :27-28.
- 大浜祥治 (2009a) 隠岐・島前で確認した直翅類-第2報-. すかしば, (57) :9-12.
- 大浜祥治 (2009b) 2008年、島根県のタイワンウチワヤンマ分布状況調査. すかしば, (57) :27-28.
- 大浜祥治 (2009c) 隠岐・島前でタガメを確認. すかしば, (57) :36.
- 大浜祥治 (2009d) 隠岐・島前のトンボ追加記録. すかしば, (57) :37-44.
- 大浜祥治 (2012) 2009～2011年、山陰地方沿岸部におけるタイワンウチワヤンマ分布状況調査. すかしば, (59) :30-31.
- 大浜祥治 (2013) 鳥取県初記録のタイワンウチワヤンマを境港市で採集. すかしば, (60) :42.
- 大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相－島根県のトンボ相 [IV] -. すかしば, (43/44) :1-26.
- 大浜祥治・小早川誠・長瀬 翔・林 成多 (2012) 島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園のトンボ相. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) :65-68.
- 大浜祥治・三島秀夫・祖田 周・淀江賢一郎 (1992) 島根県のトンボ相Ⅲ. すかしば, (37/38) :81-106.

- 大浜祥治・坂田国嗣 (2010) カトリヤンマに寄生するヤンマタケ (冬虫夏草) を発見! . すかしば, (58) : 31.
- 大浜祥治・祖田 周・淀江賢一郎・三島秀夫 (2003) 島根県のトンボ相 V. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 215-290.
- 大浜祥治・淀江賢一郎 (1995) ナゴヤサナエの生活史. 「斐伊川水系の昆虫」: 78-81.
- 大浜祥治・淀江賢一郎・大浜靖子 (1991) 宍道湖のナゴヤサナエ (2) . すかしば, (35) : 15-17.
- 大畑純二・三島秀夫 (2000a) 三瓶山昆虫標本目録 (II) 鱗翅目. 島根県立三瓶自然館収蔵標本目録, (5) : 1-85.
- 大畑純二・三島秀夫 (2000b) 山田昆虫コレクション目録 (鱗翅目) . 島根県立三瓶自然館収蔵標本目録, (6) : 1-40.
- 大畑純二・三島秀夫 (2002) 三瓶山昆虫標本目録 (III) . 島根県立三瓶自然館収蔵標本目録, (7) : 1-70.
- Oohata, J., Minagi, K. and Maeta, Y. (2010) Some Bionomical Notes on Newly Discovered Blister Beetle, *Stenoria oohatai* Morimoto et Maeta from Japan (Coleoptera, Meloidae, Nimognathinae). Bulletin of the Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe. No. 8 : 13-15.
- 大畑純二・皆木宏明・三島秀夫 (2003) 島根県立三瓶自然館収蔵資料目録, (8) : 1-100.
- 大平仁夫 (1999) 隠岐諸島のコメツキムシ類. ホシザキグリーン財団研究報告, (3) : 223-237.
- 大木克行 (2000) キュウシュウエゾゼミを山口県で採集. CICADA, 15 (2) : 21-22.
- 大木克行 (2001) 山口県におけるキノカワハゴロモとスカシハゴロモモドキの記録. Rostria, (50) : 57-58.
- 大木克行 (2003) 山口県および愛媛県で得られたユミアシサシガメ類とアシナガサシガメ類. Rostria, (51) : 27-36.
- 大木克行・三時輝久 (2001) 山口県のアメンボ類の分布資料と生息環境. 山口県立山口博物館研究報告, (27) : 1-14.
- 大桃定洋・福富宏和 (2013) 「日本産タマシ大図鑑」208pp. むし社.
- 大村 誠 (1969a) 浜田市近辺のチョウ. NECYDALIS, 2 (2) : 3-9.
- 大村 誠 (1969b) 三階山と私. NECYDALIS, 3 (2) : 1-2.
- 大野正男 (2000a) 日本産主要動物の種別知見総覧 (54), オオヒョウタンゴムシ (1) . 東洋大学紀要教養課程篇 (自然科学), (44) : 133-162.
- 大野正男 (2000b) 日本産主要動物の種別知見総覧 (54), カワラハンミョウ (1) . 東洋大学紀要教養課程篇 (自然科学), (44) : 163-201.
- 大野正男 (2001) 日本産主要動物の種別文献目録 (18a) ベーツヒラタカミキリ (2) . ホシザキグリーン財団研究報告, (5) : 311-333.
- 大野正男・門脇久志 (1983) 島根県産ハムシ科分布資料 (1) . すかしば, (20) : 47-49.
- 大阪府 (2000) 「大阪府野生生物目録」. 351pp.
- 大島益堂 (1951) 浜田・長者原に産するホシチャバネセセリについて. 昆虫石見, (2) : 16.
- 大島 弘 (1994a) 浜田市・江津市の蛾類. 「島根県特定地域野生生物緊急調査報告書, 浜田・江津地区の昆虫類」: 26-31.
- 大島 弘 (1994b) 邑智町内田温泉地区の蛾. 「島根県特定地域野生生物緊急調査報告書, 邑智地区の昆虫類」: 24-29.
- 大浦清介 (1962) 時代別病害虫の被害状況. 「島根県植物防疫史」: 1-44. 島根県植物防疫協会.
- 大屋厚夫 (1991) 那賀郡三隅町岡見のチョウ40年の記録. すかしば, (36) : 1-3.
- オリックス浜田開発株式会社 (1994) 昆虫類確認種目録. 「島根中央地域リゾート構想環境影響評価書 (資料編)」.
- 長田 勝 (1997) 灯火で採集したカワラバタ. ぱったりぎす, (113) : 54.
- Owada M. (1998) Moths of *Eterusia aedea* (Lepidoptera, Zygaenidae) from the Islands of Okinoshima, off Fukuoka, North Kyusyu. Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo, (30) : 7-12.
- 尾添 暁・川島逸郎・二橋 亮 (2012) 「日本のトンボ」. 531pp. 文一総合出版, 東京.
- 西城 洋 (2001) 島根県の水田と溜め池における水生昆虫の季節的消長と移動. 日本生態学会誌, 51 (1) : 1-11.
- 西城 洋 (2002) 止水性水生昆虫の生活史における養魚水田の役割. 日本生態学会誌, 52 (2) : 155-165.
- 税所康正 (2004) 大万木山のエゾゼミ類. CICADA, 18 (1) : 9-10.
- 酒井 香 (1996) 隠岐諸島西ノ島産のアオハナムグリの1新亜種. 月刊むし, (309) : 10-11.
- 酒井 香・藤岡昌介 (2007) 「日本産コガネムシ上科図説 第2巻 食葉群 I」173pp. 昆虫文献六本脚
- 坂本 充 (2001) 広島県のキリギリス類 (バッタ目: キリギリス科) . 比和科学博物館研究報告, (40) : 99-121. 5pls.
- 坂田国嗣 (1996a) 安来市内でギフチョウ採集. すかしば, (43/44) : 44.
- 坂田国嗣 (1996b) 三瓶山と恐羅漢山でサツマシジミ確認. すかしば, (43/44) : 44.
- 坂田国嗣 (1997a) 蝶類の配偶行動の観察. すかしば, (45) : 1-8.
- 坂田国嗣 (1997b) 仁多町にてスジグロチャバネセセリ多数確認. すかしば, (45) : 58.
- 坂田国嗣 (1997c) 安来市の蝶相. すかしば, (45) : 65-70.
- 坂田国嗣 (1998) 1997年に出会った蝶たち. すかしば, (46) : 39-46.
- 坂田国嗣 (1999a) 蝶・その産地の衰亡. すかしば, (47) : 5-8.
- 坂田国嗣 (1999b) 仁多町呑谷にてコミスジ異常型とアカエゾゼミ採集. すかしば, (47) : 41.
- 坂田国嗣 (2000) 1999年キリシマミドリシジミの行動観察. すかしば, (48) : 50-51.
- 坂田国嗣 (2004) チョウの観察記録. すかしば, (52) : 41-46.
- 坂田国嗣 (2005) 2004年チョウの観察記録. すかしば, (53) : 1-3.
- 坂田国嗣 (2010) 松江市と安来市でメスグロヒョウモン♀確認. すかしば, (58) : 13.
- 坂田国嗣 (2012) 安来市でメスグロヒョウモン再確認. すかしば, (59) : 3.
- 坂田国嗣 (2013a) 2012年度・蝶観察記録. すかしば, (60) : 31-34.
- 坂田国嗣 (2013b) 安来市でハッチョウトンボの発生確認. すかしば, (60) : 35.
- 三田隆生 (1988) 潮風のオオウラギン. 蝶研サロン, (17) : 1-3.
- 山陰むしの会編 (1993) 「山陰のトンボ」. 208pp. 山陰中央新報

- 社.
- 山陰むしの会編 (1994) 「山陰のチョウたち」. 208pp. 山陰中央新報社.
- 指田春樹 (2005) ギフチョウ採集記録. 多摩虫, (47) : 49-53.
- 佐藤陽路樹 (1994) 隠岐プロテ採集報告. プロテニュース, (10) : 4-5.
- 佐藤仁志 (1986) 宍道湖岸でナゴヤサナエの大量羽化を確認. すかしば, (26) : 12-13.
- 佐藤仁志 (1992) ナゴヤサナエの新産地 (静間川). すかしば, (37/38) : 51.
- 妹尾俊男 (1989) 中央大学附属高校に寄贈された昆虫標本I 鱗翅目 (蝶類). 教育・研究, (3) : 39-69.
- 繁浪和夫 (1962) 作物別病害虫の発生と被害状況. 「島根県植物防疫史」: 45-142. 島根県植物防疫協会.
- 島田 孝 (2004a) 隠岐島後からエサキアメンボを発見. すかしば, (52) : 19.
- 島田 孝 (2004b) 隠岐自然館甲虫標本目録. すかしば, (52) : 33-40.
- 島田 孝 (2006a) 隠岐島後の重柄川河口の地表性甲虫 (1) ハマベゴミムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (9) : 126.
- 島田 孝 (2006b) 隠岐島後の重柄川河口の地表性甲虫 (2) オオツノハネカクシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (9) : 144.
- 島田 孝・石川忠 (2004) 隠岐島後からアダチアカサシガメを発見. すかしば, (52) : 16.
- 島田 孝・尾原和夫・大浜祥治 (2005) 隠岐の水生食肉甲虫類. すかしば, (53) : 41-48.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 島根県自然環境保全地域候補地学術調査報告書第2集, 別表2-6.
- 島根県 (1991) 「匹見自然林 (安蔵寺山加令谷) 学術調査報告書」: 80pp.
- 島根県 (1995) 「島根県の貴重野生動植物リスト」: 34pp.
- 島根県環境生活部景観自然課 (1997) 「しまねレッドデータブック- 島根県の保護上重要な野生動植物- (動物編)」. 417pp.
- 島根県昆虫研究会編 (1994a) 「三瓶山の昆虫相とその保全」. 221pp.
- 島根県昆虫研究会編 (1994b) 「島根県瑞穂町の昆虫類」. 82pp.
- 島根県自然保護読本編集委員会編 (1975) 船通山と吾妻山. 「しまねの自然」: 60-62.
- 島根県農林水産部林政課 (1987) 島根半島弥山山地におけるニホンジカに関する調査.
- 宍道湖のナゴヤサナエ研究グループ (1988) 宍道湖のナゴヤサナエ. 島根野生生物研究会会報, (5) : 1-14.
- 新海義春 (2004) ヒサマツミドリシジミの採集記録. わたしたちの自然史, (88) : 22.
- 白水 隆 (1951) 日本産ミドリシジミ類の1新種. 昆虫, 19 (2) : 60-66.
- 白水 隆 (1980) 島根県那賀郡大佐山のヒョウモンモドキなど. すかしば, (9) : 6.
- 白水 隆 (1985) 「日本産蝶類文献目録」. 873pp. 北隆館.
- 白水 隆 (1988) オオウラギンヒョウモンはなぜ消えたか. SATSUMA, (100) : 363-365.
- 白水 隆 (2002) 「続・日本産蝶類文献目録」. 1272pp.+21pp. 白水隆文庫刊行会・ホシザキグリーン財団.
- 白水 隆・松香宏隆 (2003) 蝶類交尾飛翔の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 99-137.
- 曾田貞滋 (1977) 島根半島高尾山山塊及び松江平野のカミキリムシ. すかしば, (7) : 1-13. 2pls.
- 曾田貞滋 (2003) ミトコンドリアDNA分析に基づく西日本のオオオサムシ亜属の系統地理学的研究. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 153-166.
- 祖田 周 (1988) 安来市周辺のトンボ相 -スライド目録-. 1979-87. すかしば, (29) : 17-19.
- 祖田 周・大浜祥治 (2002) 安来市でムスジイトトンボが発見される. すかしば, (50) : 76.
- 祖田 周・大浜祥治 (2004) 2003年タイリクアキアカネ・オナガアカネの記録. すかしば, (53) : 15.
- 祖田 周・大浜祥治 (2006) 2004年・2004年、島根県の飛来アカトンボの記録. すかしば, (54) : 22.
- 祖田 周・大浜祥治 (2007) 2006年島根県の飛来アカトンボの記録. すかしば, (55) : 60.
- 祖田 周・大浜祥治 (2008) 2007年島根県の飛来アカトンボの記録. すかしば, (56) : 26.
- 祖田 周・大浜祥治 (2012) 2009-2011年島根県の飛来アカトンボの記録. すかしば, (59) : 31-32.
- Sugi, S. (1990) Two new species of *Sugitania* Matsumura (Noctuidae, Cuculliinae) from Japan. *Tinea*, (13) : 55-60.
- 杉 繁郎 (2000) 「日本産蛾類大図鑑以後の追加種と学名の変更」. 171pp. 日本蛾類学会.
- 杉 繁郎・中村正直 (1986) キバラケンモンとその近縁種たち. 月刊むし, (189) : 4-11.
- 杉村光俊・石田昇三・小島圭三・石田勝義・青木典司 (1999) 「原色日本トンボ幼虫・成虫大図鑑」. 917pp. 北海道大学図書刊行会.
- 杉村光俊・小坂一章・吉田一夫・大浜祥治 (2008) 「中国・四国のトンボ図鑑」. 255pp. いかだ社, 東京.
- 杉浦直人・皆木宏明・前田泰生 (1999) 島根県産ミヤコアオイ (ウマノスズクサ科) の受粉と結実. ホシザキグリーン財団研究報告, (3) : 195-208.
- 隅江直子・阪口津希子 (1982) ヒョウモンモドキの生活史. すかしば, (16) : 11-24. , (17) : 19-25.
- 鈴木謙治 (1994) 三瓶山の糞虫相. 「三瓶山の昆虫相とその保全」: 164-170.
- 鈴木謙治 (2006) ニセマダソコガネの採集記録. すかしば, (54) : 32.
- 鈴木邦雄 (1998) 日本産カワトンボ属 (均翅亜目, カワトンボ科) の分類, 地理的分布および地理的変異 (概説) 付: 新動物境界線「カワトンボ線」の提唱. ホシザキグリーン財団研究報告, (2) : 289-314.
- 鈴木邦雄・宮地加織 (1996) 日本産カワトンボ属 (均翅亜目, カワトンボ科) 4種におけるテリトリー占有オスのメス認知能力. Tombo, 39 (1/4) : 2-12.
- 小路嘉明 (1990a) オオウラギンヒョウモンの探し方. 蝶研サロン, (40) : 14-16.
- 小路嘉明 (1990b) 中国地方のゴマシジミの探し方. 蝶研サロン,

- (41) :1-3.
小路嘉明 (1993a) ルーミスジミのポイントの探し方. 蝶研サロン, (42) :1-12.
小路嘉明 (1993b) ヒメヒカゲ産地一覧. 蝶研サロン, (74) :16-19.
小路嘉明 (1994) 広島県のヒョウモンモドキの保護. 比婆科学, (159) :29-42.
立川周二 (1985) エサキアメンボは絶滅するか-その分布と生息地から-. *Rostraria*, (37) :521-525.
高橋 昭 (1976) 名古屋地方のヒョウモンモドキ特にそのextinction消滅について. 佳香蝶, 28 (107) :33-37.
高橋真弓ら (1982-1984) 「原色日本蝶類生態図鑑 I」. 277pp. 保育社.
高橋真弓・淀江賢一郎 (1992) 島根県三瓶山産ヤマキマダラヒカゲの生態的知見と地理的変異. 蝶と蛾, 43 (2) :107-119.
高橋寿郎 (1997a) 隠岐島のコガネムシに関する文献目録. すかしば, (45) :41-48.
高橋寿郎 (1997b) 中国山地をめぐる地域のコガネムシ相. ホシザキグリーン財団研究報告, (1) :205-219.
高橋寿郎 (1998) 日本海島嶼のコガネムシに関する文献目録. すかしば, (46) :23-37.
高橋寿郎 (1999) 島根県のコガネムシに関する文献目録・追加 (1). すかしば, (47) :43-44.
高橋寿郎・淀江賢一郎 (1996) 島根県昆虫文献目録5. 島根県のコガネムシに関する文献目録. すかしば, (43/44) :27-41.
高橋佳孝 (1994) 「三瓶山牧野の変遷と残された課題」. 39pp. 中国農業試験場畜産部.
高橋佳孝・井上雅仁・Ondopa, J (2008) ウスイロヒョウモンモドキの食草オミナエシの推移からみた三瓶山東の原草地の植生管理. 三瓶自然館研究報告, (6) :1-6.
高坂 寿 (1992) 西日本のオナガシジミ. 蝶研フィールド, 7 (4) :6-12.
竹内 亮 (1983) エゾミドリシジミをアカガシより採卵. ゆらぎあ, (7) :14.
竹内 亮 (1993a) キリシマミドリシジミ. 「鳥取県のすぐれた自然 (動物編)」 :158-159.
竹内 亮 (1993b) ヒョウモンモドキ. 「鳥取県のすぐれた自然 (動物編)」 :174-175.
竹内 亮 (1993c) ミスジチョウ. 「鳥取県のすぐれた自然 (動物編 9)」 :178-179.
田中俊明 (2005) 2005年採集メモ帳. 蝶道, (337) :1744.
谷 幸三・富永 修・土井仲治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16) :29-41.
谷本幹夫 (1957) ホシミスジ立久恵で採る. 千鳥, (3) :30.
谷田一三監修 (2000) 「原色 川虫図鑑」. 240pp. 全国農村教育協会.
館林治志 (1957) ウラナミアカシジミ茶臼山で採集. 千鳥, (3) :26.
手塚 浩 (2009) ゴマシジミ採集記録2001~2004年. 緑蝶, (9) :46-49.
富永 修 (1994) 隠岐島の直翅類の記録. ぱったりぎす, (101) :5-6.
富永 修編 (1996) 図鑑 日本のクサキリ. ぱったりぎす, (106) :1-24.
富沢 章 (2000) 石川県におけるハマゴウノメイガの分布と生態. 蛾類通信, (211) :208-212.
友国雅章 (1985) 隠岐諸島の異翅半翅類. 国立科博専報, (18) :153-161.
友国雅章監修 (1993) 「日本原色カメムシ図鑑」. 380pp. 全国農村教育協会.
鳥取県生活環境部環境政策課 (2002) 「レッドデータブックとっとり-鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物- (動物編)」. 214pp.
土江好子・淀江賢一郎 (1997) 1996年ナゴヤサナエ羽化殻調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (1) :39-41.
津田松苗 (1954) 三瓶山浮布池のトビケラ. 新昆虫, 7 (12) :26-27.
塚本圭一 (1994) 「日本糞虫記」. 231pp. 青土社.
塚本圭一 (2003) 日本フン虫誌 (4) :絶滅に瀕するフン虫. 鯉角通信, (6) :33-41.
Tsuneki, K. (1956, 1957, 1958) Ethological studies on *Bemix nipponica* Smith, with emphasis on the psychobiological analysis of behavior inside the nest (Hymenoptera, Sphecidae). Part I, II, III. *Mememory of Faculty of Liberal Arts, Fukui University, Series II, Natural Science*, 6 :77-172, 4pls.; 7 :1-115; 8 :1-78, 4pls
鶴崎展巨 (2012) ハマベツチカメムシ. 「レッドデータブックとっとり」改定版. :93. 鳥取県.
内田俊夫 (2013) 2012年の採集記録と確認報告. すかしば, (60) :23.
内田臣一・稲田和久・祖田 周 (1999) 島根県斐伊川にコカワゲラ (カワゲラ科) が多産. 兵庫陸水生物, (50) :87-90.
内田正吉 (2003) クツワムシはなぜ減ったのか?. 寄せ蛾記, (108) :5-6.
上田昇平・潘 宇・小藪紅仁・占部由香・淀江賢一郎・宇佐美真一 (2005) 隠岐と島根県本土に生息するチョウ類の地理変異に関する系統学的解析. ホシザキグリーン財団研究報告, (8) :25-30.
上野俊一 (1986) 特殊環境と生活. 「原色日本甲虫図鑑 I」 :113-121.
Ueno, S. (1956) New *Halophilous* Trechids of Japan (Coleoptera, Harpalidae). *Mem. Coll. Sci. Univ. Kyoto, series B*, 23 (1) :61-68.
Ueno, S. (1958a) The cave beetles from Akiyoshi-dai Karst and its vicinities. II. *Uozumitrechus*, a new group of the genus *Rakantrechus*. *Mem. Coll. Sci. Univ. Kyoto, series B*, 25 (1) :49-61.
Ueno, S. (1958b) The cave trechids from the central part of the Chugoku District, Japan. I. A new species of *Trechiamia* from the Taishaku limestone area. *Mem. Coll. Sci. Univ. Kyoto, series B*, 25 (3) :181-184.
Ueno, S. (1958c) The Cave Trechids from the Central Part of the Chugoku District, Japan II. *Mem. Coll. Sci. Univ. Kyoto, series B*, 25 (3) :185-197.
Ueno, S. (1970) The Fauna of the Insular Lava Caves in West Japan III. Trechinae (Coleoptera). *Bull. Nat. Sci. Mus.*, 13

- (4) : 603-622.
- Ueno, S. (1971) The Fauna of the Insular Lava Caves in West Japan IX. Trechinae (Additional) . *Bull. Nat. Sci. Mus.*, 14 (2) : 181-185.
- Ueno, S. (1978) The *Thalassoduvallius* (Coleoptera, Trechinae) of the Izu area, Central Japan. *Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo*, (11) : 123-130., pl.6.
- Ueno, S. (1985) The Cave Trechids from the Central Part of the Chugoku District, Japan II. Memo. Coll. Sci. Univ. Kyoto, series B, 25 (3) : 185-197.
- Ueno, S. (1994) Occurrence of *Thalassoduvallius* (Coleoptera, Trechinae) on two isolated Islands off Kyusyu, West Japan. *Elytra*, 22 (1) : 45-48.
- Ueno, S. (2007) Blind Trechine Beetles (Coleoptera, Trechinae) from the Tsushima Islands, West Japan. *Elytra*, 35 (2) : 385-399.
- Ueno, S. (2008) Occurrence of a New *Stygiotrechus* (Coleoptera, Trechinae) in the Shimane Peninsula, West Japan. *J. speleol. Soc Japan*, 33 : 1-5.
- Ueno, S. (2010) Occurrence of a New *Uozumitrechus* (Coleoptera, Trechinae) in the Shimane Peninsula, West Japan. *Elytra*, 38 (1) : 131-136.
- 上野俊一・黒沢良彦・佐藤正孝 (1989) 「原色日本甲虫図鑑 (II)」. 514pp. 保育社.
- Ueno, S. and Naito, T. (2007) Occurrence of *Stygiotrechus* (Coleoptera, Trechinae) on the Japan Sea Side of Western Honshu, Japan. *Ent. Rev. Japan*, 62 (1) : 11-15.
- 碓井 徹 (2003) 島根県隠岐諸島における水生半翅類の分布記録. *Rostria*, (51) : 25-26.
- 若槻匡志 (1957a) 松江市近郊におけるギフチョウとその生活史. 千鳥, (1) : 5-11.
- 若槻匡志 (1957b) シルビアシジミの採集記録. 千鳥, (3) : 29.
- 若槻匡志 (1959) 第3回中国山地遠征報告. 千鳥, (5) : 1-7.
- Watanabe Y. (1990) A New *Micropeplus* (Coleoptera, Staphylinidae) from the Islands of Oki, West Japan. *Proc. Soc. Syst. Zool.*, (42) : 37-41.
- 渡辺 隆・須藤 勲 (1959) 中国山脈のウラジャノメ. 2pp. 島根県高等学校文化連盟研究集録.
- 渡辺一雄 (1993) 中国山地における氷期の遺存種ウラジャノメ. 「日本産蝶類の衰亡と保護第2集」 : 111-124.
- 渡辺一雄 (1995) ギフチョウの生息環境と共存への課題. 昆虫と自然, 30 (4) : 5-15.
- 渡辺一雄 (1998) ギフチョウの飛翔行動と分布論—地形依存的集合・散開運動による散逸の防止と生殖. ホシザキグリーン財団研究報告, (2) : 165-223.
- 渡辺一雄・淀江賢一郎・難波通孝・山中捷二・後藤和夫 (2000) 中国地方におけるギフチョウ—分布図および分布論. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) : 225-237.
- 渡辺通人 (2007) 越 英夫先生採集の収蔵標本. 山梨の昆虫, (50) : 1325-1380.
- 渡辺泰明 (1979) チビハネカクシ亜科 (Micropeplinae) 概説. 甲虫ニュース, (45) : 1-8.
- 渡辺康之編 (1996) 「ギフチョウ」 269pp. 北海道大学図書刊行会.
- 養父志乃夫・淀江賢一郎 (1983) 島根県のトンボ相・II : 解説と考察. すかしば, (20) : 57-68.
- 山田 学 (1999) 匹見町の甲虫採集記録. すかしば, (47) : 9-18.
- 山田 学 (2001a) 匹見町のセミ・ナナフシ・カマキリ・ゴキブリの記録. すかしば, (49) : 17-19.
- 山田 学 (2001b) 匹見町におけるオキナワリチラシの発見. すかしば, (49) : 19.
- 山田 学 (2001c) 匹見町におけるトゲナベブタムシの生息環境. すかしば, (49) : 20.
- 山田 学 (2003a) 匹見町におけるオオチャイロハナムグリの採集記録. すかしば, (51) : 16.
- 山田 学 (2003b) 匹見町・高津川にてカワラバタの生息を確認. すかしば, (51) : 30.
- 山田 学 (2003c) 島根県西部地域におけるハンミョウ類・ヒョウタンゴミムシ類の採集および観察記録. すかしば, (51) : 34-36.
- 山田 学 (2004a) 西中国山地のオオキノコムシ類の採集・観察記録. すかしば, (52) : 11.
- 山田 学 (2004b) 美濃郡匹見町でのヒラタムシ類の採集記録. すかしば, (52) : 12-13.
- 山口英夫 (1994a) シャープゲンゴロウモドキ (4) 分布図. 越虫, (25) : 18-22.
- 山口英夫 (1994b) シャープゲンゴロウモドキ (5) 資料編. 越虫, (25) : 25-34.
- 山口県環境生活部自然保護課 (2002) 「レッドデータブックやまぐち」. 513pp.
- 山本正志 (1974) カラスシジミを採集. すかしば, (1) : 5.
- 山本正志 (1978) 仁多郡内のミスジチョウの記録. 昆虫と自然, 13 (13) : 18.
- 山本正志 (1981) 津和野町でヒサマツミドリシジミ卵を採卵. すかしば, (15) : 16.
- 山本正志 (1982) 船通山でフジミドリシジミを採集. すかしば, (18) : 27.
- 山本正志 (1983) 中国山地のゴマシジミ調査記録. すかしば, (19) : 7-8.
- 山本正志 (1989) 三瓶山でクロミドリシジミ幼虫を採集. すかしば, (31) : 19.
- 山本正志 (2002) ツマグロキチョウの調査報告. すかしば, (50) : 37-38.
- 山本正志 (2005a) 島根県中部地域 (江の川流域) における岩場の蝶 (ホシミスジ・ウラナミジャノメ・ヘリグロチャバネセセリ) の採集及び観察記録. すかしば, (53) : 23-25.
- 山本正志 (2005b) 江の川流域でシルビアシジミを採集. すかしば, (53) : 22.
- 山本正志 (2005c) 江津市の海岸でゲンイチモンジセセリを採集. すかしば, (53) : 25.
- 山本正志 (2005d) 島根県石見町冠山のギフチョウ. すかしば, (53) : 25-26.
- 山本正志 (2005e) ツマグロキチョウの調査報告 (2) . すかしば, (53) : 28-29.

- 山本正志 (2005f) ヒサマツミドリシジミを島根県瑞穂町で採集. すかしば, (53) : 29.
- 山本正志 (2005g) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるハンミョウ類の採集及び観察記録. すかしば, (53) : 31-34.
- 山本正志 (2006a) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるゼフィルス類の採集報告. すかしば, (54) : 41-43.
- 山本正志 (2006b) 島根県金城町弥畝牧場にてヒメシジミ・コキマダラセセリを採集. すかしば, (54) : 44-45.
- 山本正志 (2006c) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるオオムラサキの採集・観察記録. すかしば, (54) : 45-46.
- 山本正志 (2006d) 江の川河岸のギフチョウ (大和村長藤高梨のギフチョウの一習性). すかしば, (54) : 46.
- 山本正志 (2006e) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるクモガタヒョウモンの採集・観察記録. すかしば, (54) : 48-49.
- 山本正志 (2006f) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるツマグロキチョウの越冬地を確認. すかしば, (54) : 49.
- 山本正志 (2006g) 三瓶山麓で採集したカミキリ2種 (スネケブカヒロコバネカミキリ, ルリボシカミキリ). すかしば, (54) : 54-55.
- 山本正志 (2006h) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるハッチョウトンボの採集・観察記録. すかしば, (54) : 50.
- 山本正志 (2006i) 島根県瑞穂町久喜にてゲンバイトンボを採集. すかしば, (54) : 50-51.
- 山本正志 (2006j) 山陰地方のセミ類の採集・鳴き声等の観察記録 (エゾ・アカエゾゼミ, チッチゼミ). すかしば, (54) : 60-61.
- 山本正志 (2006k) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるカワラバッタの採集・観察記録. すかしば, (54) : 58.
- 山本直樹 (1994) シャープゲンゴロウモドキ島根県で採集. 越虫, (25) : 13.
- 山本直樹 (1995) 中国地方のヒメヒカゲ (上). 蝶研フィールド, 10 (7) : 15-20.
- 山本直樹・山岡幸雄 (1997) 島根県のシャープゲンゴロウモドキ. 月刊むし, (321) : 34-35.
- 山中捷二 (1994) ホシチャバネセセリ. 「山陰のチョウたち」 : 148.
- 柳田慶浩 (1999) 春の夜蛾・秋の夜蛾. やどりが, (183) : 2-19.
- 柳橋浩一 (1987) 三瓶山でクロミドリシジミを採集. 蝶州, (1) : 25.
- 矢野高広・岸田泰則 (2011) スズメガ科. 岸田泰則編「日本産蛾類標準図鑑1」 : 327-329. 学研教育出版, 東京.
- 矢代 学・市川顕彦 (2002) 島根県多伎町でハマスズを発見. 月刊むし, (372) : 48.
- 安田正利 (1989) 島根県鹿足郡柿木村でヒサマツミドリシジミ卵を採卵. 蝶州, (3) : 7.
- 安田正利 (1993) 島根県六日市町でタガメを採集. 蝶州, (6) : 2.
- 安江安宣 (1957) シルビアシジミの分布とその食草について考えること. すずむし, 7 (2) : 19-28.
- 安松京三 (1931) *Megachile kobensis* Cockerell 及び *M. perfervida* Cockerell に就いて. 昆虫世界, 35 (5) : 150-158.
- 安永智秀ほか (2001) 「日本原色カメムシ図鑑第2巻」. 350pp. 全国農村教育協会.
- 八幡浩二 (2001) アオマダラタマムシの採集記録. すかしば, (49) : 8.
- 八幡浩二 (2004) 隠岐・島後でまたタガメが採集される. すかしば, (52) : 29.
- 淀江賢一郎 (1976) 隠岐島産キリシマミドリシジミの生活史. すかしば, (6) : 24-27.
- 淀江賢一郎 (1977) 島根県における湿原性蝶類3種の採集記録. すかしば, (8) : 13-15.
- 淀江賢一郎 (1978) 三瓶山の蝶類 (1). すかしば, (10) : 37-47.
- 淀江賢一郎 (1979a) 松江市近郊のギフチョウ調査記録 (1). すかしば, (11) : 27.
- 淀江賢一郎 (1979b) 松江市近郊のギフチョウ調査記録 (2). すかしば, (12) : 29-30.
- 淀江賢一郎 (1980) 松江市近郊のギフチョウ調査記録 (3). すかしば, (14) : 19-20.
- 淀江賢一郎 (1981) 島根県からキリシマミドリシジミを発見する. すかしば, (15) : 16.
- 淀江賢一郎 (1982a) 松江市近郊のギフチョウ調査記録 (4). すかしば, (16) : 27-28.
- 淀江賢一郎 (1982b) 島根県昆虫文献目録 I. 島根県のトンボに関する文献目録. すかしば, (17) : 1-10.
- 淀江賢一郎 (1982c) エゾゼミの採集記録. すかしば, (17) : 10.
- 淀江賢一郎 (1983a) 三瓶山でカラスシジミを採集. すかしば, (19) : 4.
- 淀江賢一郎 (1983b) 隠岐 (島後) でヘリグロチャバネセセリとアカシジミを採集する. すかしば, (20) : 56.
- 淀江賢一郎 (1984a) ゲンバイトンボを六日市で発見. すかしば, (21) : 17.
- 淀江賢一郎 (1984b) エゾゼミを忌部高原で確認. すかしば, (21) : 19.
- 淀江賢一郎 (1984c) ガロアムシの新産地. すかしば, (22) : 19.
- 淀江賢一郎 (1985) 大社・日御碕でシルビアシジミを採集. すかしば, (23) : 24.
- 淀江賢一郎 (1986a) 「ギフチョウ88カ所めぐり」 : 182-183. 蝶研出版.
- 淀江賢一郎 (1986b) 島根県東部のヒロオビミドリシジミ新産地. すかしば, (25) : 16.
- 淀江賢一郎 (1987) 島根県のトンボに関する文献目録 [3]. すかしば, (27) : 15-16.
- 淀江賢一郎 (1988a) 隠岐・知夫里島における殺虫剤空中散布によるオオウラギンヒョウモンの衰亡. 日本昆虫学会中国支部平成2年度例会発表資料. 1p.
- 淀江賢一郎 (1988b) 島根県加賀でミヤマチャバネセセリを採集. すかしば, (29) : 23.
- 淀江賢一郎 (1988c) 島根県昆虫文献目録2. 島根県のカミキリムシに関する文献目録. すかしば, (30) : 21-38.
- 淀江賢一郎 (1988d) 隠岐島産ルーミスシジミの記録2題. すかしば, (30) : 54.
- 淀江賢一郎 (1988e) 松江市内のミヤマチャバネセセリ. すかしば, (30) : 55.
- 淀江賢一郎 (1992a) 島根県昆虫文献目録3. 島根県のセミに関する文献目録. すかしば, (37/38) : 75-80.
- 淀江賢一郎 (1992b) ロシア沿海州のチョウと自然. すかしば,

(37/38) :107-140.

淀江賢一郎 (1993a) 県別レッドデータリスト (隠岐). 「日本産蝶類の衰亡と保護第2集」:56-57. 日本鱗翅学会・日本自然保護協会.

淀江賢一郎 (1993b) 島根県昆虫文献目録4. 島根県の水生昆虫に関する文献目録. すかしば, (39/40) :29-35.

淀江賢一郎 (1994a) 三瓶山の蝶類. 「三瓶山の昆虫相とその保全」:77-95.

淀江賢一郎 (1994b) 瑞穂町のチョウ相. 「島根県特定地域野生生物緊急調査 (平成4年度) 報告書」:51-57.

淀江賢一郎 (1999) 隠岐島でムラサキツバメを採集. すかしば, (47) :42.

淀江賢一郎編 (2000) 「ウスイロヒヨウモンモドキの衰亡と保護ー激減する草原性チョウ類の保護をめざしてー」. 94pp. ホシザキグリーン財団.

淀江賢一郎編 (2001) 「ウスイロヒヨウモンモドキの衰亡と保護ー激減する草原性チョウ類の保護をめざしてー」. 86pp. ホシザキグリーン財団.

淀江賢一郎 (2002) 県別レッドデータリスト (島根) 「日本産蝶類の衰亡と保護第5集」:104-107. 日本鱗翅学会.

淀江賢一郎 (2003) 日本産蝶類県別レッドデータ・リスト (2002年)・島根県. 「日本産チョウ類の衰亡と保護第5集」:104-107.

淀江賢一郎 (2005) 島根県で採集されたクジャクチョウのことなど. Butterflies (フジ), (39) :53-55.

淀江賢一郎 (2009) 日本産蝶類都道府県別レッドリスト (三訂版). 「日本産チョウ類の衰亡と保護第6集」:214-217.

淀江賢一郎・中井博喜 (2010a) 山陰地方における最近の蝶の話題. Butterflies (フジ), (50) :49-54.

淀江賢一郎・中井博喜 (2010b) クロマダラソテツジミ島根県における分布拡大 (2009). すかしば, (58) :21-26.

淀江賢一郎・中井博喜・山本正志 (1976) 赤名湿原で得た蝶類. すかしば, (6) :30.

淀江賢一郎・岡 義人 (1980) 瑞穂湿原の蝶とトンボ. すかしば, (14) :13-15.

淀江賢一郎・佐藤仁志 (1986) 匹見峡でガロアムシを発見. 島根県野生生物研究会報, (4) :36.

淀江賢一郎・鶴崎展巨 (1997) 島根県の動物相に関する文献目録 (1993-1995年). ホシザキグリーン財団研究報告, (1) :15-33.

淀江賢一郎・鶴崎展巨 (1998) 島根県の動物相に関する文献目録 Part2 (1996-1997年). ホシザキグリーン財団研究報告, (2) :91-107.

淀江賢一郎・鶴崎展巨 (2000) 島根県の動物相に関する文献目録 Part3 (1998-1999年). ホシザキグリーン財団研究報告, (4) :7-26.

淀江賢一郎・山本正志 (1978) 広島県東部のキバネセセリとクロヒカゲモドキ. 比婆科学, (109) :27-28.

淀江賢一郎・星川和夫・門脇久志・尾原和夫・三島秀夫 (2000) 松江市円木池とその周辺の昆虫類. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) :161-192.

淀江賢一郎・星川和夫・斉藤光男・門脇久志・尾原和夫 (1998) 島

根県斐伊川水系の昆虫類 (1997年の調査結果). ホシザキグリーン財団研究報告, (2) :7-86.

淀江賢一郎・和泉浩行・佐々木保 (1993) 県別レッドデータリスト (28) 島根県. 「日本産蝶類の衰亡と保護第2集」:54-56. 日本鱗翅学会・日本自然保護協会.

淀江賢一郎・尾原和夫・三島秀夫 (2000) 島根県宍道町の昆虫相. 宍道町歴史叢書5, 町史研究 (Ⅲ) :20-78.

淀江賢一郎・坂田国嗣・藤原泰樹・山本正志 (2006) 島根県の蝶類ー島根県には何種類の蝶類がいるのか? 「新島根の生物」:219-245. 日本生物教育会島根大会実行委員会.

淀江賢一郎・養父志乃夫 (1982) 島根県のトンボ相. I:基礎データ集. すかしば, (18) :1-26.

横倉 明 (2005) ヒメシジミの魅力. Butterflies (fuji), (39) :15-20.

米田淳二 (1988) ヒメハルゼミを八雲村で確認. すかしば, (30) :44.

吉田浩二 (1972) 横田のオオムラサキ. Longicorn, (2) :4-5.

(財) ホシザキグリーン財団監修 (2002) 「みんなの宍道湖ー自然観察ガイドブックー」. 143pp.

クモ類文献

景山純孝 (1966) 山陰地方の真正蜘蛛類第1報. 松江市立教育研究所研究集録, (3) :94-102.

景山純孝 (1967) 隠岐島産真正蜘蛛類について. 松江市立教育研究所研究集録, (4) :75-86.

景山純孝 (1968) 隠岐島産真正蜘蛛類について (続報). 松江市立教育研究所研究集録, (5) :97-104.

景山純孝 (1970) 島根県仁多郡鬼の舌震の真正蜘蛛類. 松江市立女子高等学校研究紀要, (1) :17-29.

景山純孝 (1971) 島根県美濃郡匹見峡の真正蜘蛛類. 松江市立女子高等学校研究紀要, (2) :39-46.

加村隆英・淀江賢一郎・斉藤光男 (1999) 島根県斐伊川水系のクモ類 (1997年の調査結果). ホシザキグリーン財団研究報告, (3) :39-56.

環境省 (2006) 日本レッドデータブック. 環境省自然環境局野生生物課 (編)

皆木宏明 (2012) 島根県におけるキノボリタテグモの分布について. 島根県立三瓶自然館研究報告 (10) :35-38.

皆木宏明・景山純孝 (2013) 島根県西部で初記録となるワスレナグモ (クモ目:ジグモ科) について. 島根県立三瓶自然館研究報告 (10) :65-67.

野津幸夫・吉岡武雄 (2004) 隠岐の文化財.

小川光昭 (1997) 江の川流域の真正クモ類. 比和科学博物館研究報告, (34) :195-204.

小川光昭 (2003) 江の川流域の真正クモ類 (第2報). 比和科学博物館研究報告, (42) :181-197.

小川光昭・松田 賢・中村慎吾 (2000) 島根県高津川の真正クモ類. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) :41-48.

坂本 巖 (1961) 琴引山にクモをたずねて. 松江生物懇談会会報, (2) :1-3.

坂本 巖 (1962) 三瓶山の真正クモ目. 「三瓶総合調査報告書」:

57-60.

島根県 (2003) 「都市計画道路仁摩湯乃津線環境影響評価準備書」.

島根県 (2003) 「都市計画道路浜田三隅線環境影響評価準備書」.

新海 明・谷川明男 (2003) 島根県で観察したクモ類. Kishidaia, 84: 69-71.

新海 明・谷川明男 (2006) 東京蜘蛛談話会2006年度合宿報告 島根県大田市温泉津 (ゆのつ) 温泉周辺のクモ. Kishidaia, 90: 52-61.

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生 (2010) 県別クモ類分布図ver.2010. 著者自刊 (CD-ROM)

Suzuki, K. and Tsurusaki, N. & Kodama, Y. (2006) Distribution of an endangered burrowing spider *Lycosa ishikariana* in the San'in Coast of Honshu, Japan (Araneae: Lycosidae). Acta Arachnologica, 55 (2) : 79-86.

植村利夫 (1941) 佐藤井岐雄氏採集隠岐島産真正蜘蛛類概報. Acta Arach., 6 (2) : 36-42.

八木沼健夫 (1938) 中国地方の蜘蛛相概要. Acta Arach., 3 (4) : 142-151.

八木沼健夫 (1986) 「原色日本クモ類図鑑」. 305pp. 保育社.

甲殻類文献

林 成多 (2012) 島根県東部で採集した陸棲等脚目の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, 15: 195-200.

林 成多 (2013) 隠岐諸島中ノ島で観察した淡水産十脚目甲殻類. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8) : 95-96.

林 成多・佐々木興・中野浩史・寺岡誠二・山口勝秀・越川敏樹 (2008) 出雲市平田地域の河川に生息する水生生物. ホシザキグリーン財団研究報告, (11) : 1-60.

林 成多・辻井要介・中野浩史・山口勝秀・越川敏樹 (2011) 島根県出雲市の河川に生息する水生生物. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (3) : 1-108.

今井 正 (2012) 能登半島および能登島における淡水産コエビ類の分布. 日本生物地理学会会報, (67) : 153-162.

板木孝典 (2009) 島根県東部におけるエビ類の分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (12) : 299-307.

板木孝典 (2010) 島根県東部におけるエビ類の分布調査Ⅱ. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 279-288.

上田常一 (1951) 山陰における石見と出雲の陸水エビ類. 島根大学論集, (1) : 71-82.

上田常一 (1963) 山陰地方 (隠岐群島を含む) 及びその付近海域のカニ類について. Researches on Crustacea, (7) : 20-31.

上田常一 (1964) 「山陰の動物誌」157pp. 今井書店.

上田常一 (1965) 「隠岐の動物」172pp. 園山書店.

上田常一 (1970) 「日本淡水エビ類の研究 (改訂増補版)」. 213pp. 園山書店.

加藤琢予・池田 等 (1992) 木村コレクション隠岐産動物標本目録 (1) 十脚甲殻類. 隠岐の文化財, (9) : 1-29.

川井唯史・中田和義 (2011) 「エビ・カニ・ザリガニー淡水甲殻類の保全と生物学」. 460pp. 生物研究社.

古林敏彦 (2008) 宍道湖・中海のエビ・カニ類. Pp.14-17. 宍道湖自然館第15回特別展「エビ・カニ大図鑑」展示解説 しまねのエビ・カニ. 島根県立宍道湖自然館ゴビウス. 65pp.

桑原弘道 (2000) エビのなかま (節足動物門/甲殻綱/十脚目), カニのなかま (節足動物門/甲殻綱/十脚目), その他の甲殻類. Pp.76-85. 斐伊川水系の底生動物. 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 出雲, 170pp.

桑原友春 (2011) 島根県松江市の境水道で採集されたフタバカクガニ. ホシザキグリーン財団研究報告, (14) : 262.

桑原友春 (2012) 島根県東部のカニ図鑑〜陸上・潮間帯・淡水編〜. Pp.28-36. 宍道湖自然館第23回特別展「かにつ記〜陸を歩くカニとそのなかまたち〜」展示解説 かにつ記. 島根県立宍道湖自然館ゴビウス. 60pp.

桑原友春・中野浩史・本尾 洋 (2012) 日本海から初記録のタイワンヒライソモドキ. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 263-265.

桑原友春・山口勝秀・中野浩史 (2013) 隠岐諸島におけるカニ類の分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8) : 97-107.

本尾 洋 (2003) 日本海産カニ類-I. 既知種. のと海洋ふれあいセンター研究報告, (9) : 55-68.

本尾 洋 (2008a) 日本海産エビ類-I. 既知種. のと海洋ふれあいセンター研究報告, (14) : 13-27.

本尾 洋 (2008b) 日本海で近年採捕された暖流系のいわゆる稀少大型甲殻類. のと海洋ふれあいセンター研究報告, (14) : 28-42.

丹羽信彰 (2010) 外来輸入エビ, カワリヌマエビ属エビ (*Neocaridina* spp.) および *Palaemonidae* spp. の輸入実態と国内の流通ルート. CANCER, (19) : 75-80.

Nunomura, N. (1984) Studies on the terrestrial crustaceans in Japan II. Taxonomy of the family Scyphacidae. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (6) : 1-43.

Nunomura, N. (1986) Studies on the terrestrial isopod crustaceans in Japan. III. Taxonomy of the Families Scyphacidae (continued), Marinoniscidae, Halophilosciidae, Philosciidae and Oniscidae. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (9) : 1-72.

Nunomura, N. (1987) Studies on the terrestrial isopod crustaceans in Japan. IV. Taxonomy of the families Trachelipidae and Porcellionidae. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (11) : 1-76.

Nunomura, N. (1990) Studies on the terrestrial isopod crustaceans in Japan V. Taxonomy of the families Armadillidiidae, Armadillidae and Tylidae, with taxonomic supplements to some other families. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (13) : 1-58.

Nunomura, N. (2001) A new species of the genus *Cyathura* (Crustacea: Isopoda) from the Lake Shinji-ko, Shimane Prefecture, western Japan. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (24) : 19-23.

大畑純二 (2008) 島根の淡水エビ類 (上田コレクションについて). Pp.48-53. 宍道湖自然館第15回特別展「エビ・カニ大図鑑」

展示解説 しまねのエビ・カニ. 島根県立宍道湖自然館ゴビウス. 65pp.

佐藤仁志・加藤琢矛(1996)「上田常一動物標本コレクション目録～甲殻類～」. 島根県立三瓶自然館収蔵資料目録第1号. 138 pp. 島根県立三瓶自然館.

武田正倫・古田晋平・宮永貴幸・田村昭夫・和田年史(2011)日本海南西部鳥取県沿岸およびその周辺に生息するカニ類. 鳥取県立博物館研究報告, (48): 29-94.

辻井要介(2014) 島根県出雲市の湧水環境に生息するトゲナシマエビとミナミテナガエビ. ホシザキグリーン財団研究報告, (17). 印刷中.

宇田川弘康・佐藤仁志(1991)山陰地方における淡水エビ類の分布について. 島根野生生物研究会会報, (7): 19-21.

Yamauchi T. (2004) A Checklist of Published Crustacean Species from Brackish Lakes, Shinjiko and Nakami, Japan. LAGUNA, (11): 69-86.

山内健生・布村 昇(2003) 島根県産陸棲等脚目分布資料 (I) 既報の整理. ホシザキグリーン財団研究報告, (6): 167-171.

陸・淡水産貝類文献

東 正雄(1995)「原色日本陸産貝類図鑑」. 保育社.

福田 宏(1996) ミズゴマツボ. 和田恵次編「日本における干潟海岸とそこに棲息する底生生物の現状. WWW Japan Science Report,」3: 1-182.

福田 宏(2000) 巻貝類I－総論. 佐藤正典編「有明海の生きものたち」: 100-137, 海游舎.

波部忠重(1993) 第4回自然環境保全基礎調査.

Hosaka, K. & Fukuda, H. (1996) Discovery of a population of an endangered brackish-water snail *Stenothyra japonica* (Gastropoda: Neotaenioglossa: Stenothyridae) and characteristics of the accompanied molluscan fauna in Onoda City, Yamaguchi Prefecture, western Japan, with a comment on the conservation value. *The Yuriyagai*, 4: 65-96.

建設省地方建設局出雲工事事務所(2000) 斐伊川水系の底生動物. 133pp.

吉良哲明(1939) 隠岐島及び山陰地方の採集. 附うそのなみまいの和名の問題. *Venus*, 9 (3/4): 170-174.

清井武志・秋吉英雄(2007) 島根県内の社寺林叢における陸産貝類(軟体動物門腹足綱)の生態学的評価. ホシザキグリーン財団研究報告, (10): 227-287.

近藤高貴(2002) 日本産イシガイ類図鑑.

Kuroda, T. (1962) Notes on the Stenothyridae (aquatic Gastropoda) from Japan and adjacent region. *Venus*, 22: 59-69, pl. 4.

黒住耐二(1996) ミズゴマツボ. 「日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料, (3), I. 軟体動物」(日本水産資源保護協会編): 22-28, 83-84, 日本水産資源保護協会.

黒住耐二・一澤 圭・川上 靖(2011) 鳥取県立博物館に寄贈された石坂元貝類コレクション－非海産腹足類－.

湊 宏(1971) 隠岐諸島のキセルガイ. ちりばたん, 6 (7): 165-

167.

湊 宏(1972) 隠岐の陸産貝類相. ちりばたん, 7 (4): 78-82.

湊 宏(1980)「陸産貝類の観察と研究」. 85pp. ニューサイエンス社.

湊 宏(1994) 日本産キセルガイ科貝類の分類と分布に関する研究. 貝類学雑誌 (*Venus*), Supplement, (2): 212pp. +6 tables +74 pls.

湊 宏(2005a) イトウムシオイガイ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-. 58pp.

湊 宏(2005b) ハンジロギセル. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-. 109pp.

湊 宏(2005c) 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-. 58pp.

野津 大(1983)「隠岐の生物」. 245 pp. 読売新聞松江支局.

谷山 浩(2002a) アズキガイ. レッドデータブックとっとり, 172 pp.

谷山 浩(2002b) クリイロキセルガイモドキ. レッドデータブックとっとり, 177pp.

谷山 浩(2002c) キセルガイモドキ. レッドデータブックとっとり, 178pp.

谷山 浩・宇野 明(2012) ヤママメタニシ. レッドデータブックとっとり改訂版, 149pp.

戸田顕史・馬堀望美・福田 宏・品川 明(2003) 宍道湖におけるミズゴマツボの出現と分布. ホシザキグリーン財団研究報告, (6): 59-63.

宇野 明(2002a) オオゴマガイ. レッドデータブックとっとり, 174 pp.

宇野 明(2002b) ヤママメタニシ. レッドデータブックとっとり, 175 pp.

サンゴ類文献

秋吉英雄(1985) 山陰海中散歩. (山陰中央新報15回連載記事)

秋吉英雄(2002)「海辺の博物学 島根県海辺の生物たち」. 42pp. (財) 島根ふれあい環境財団21.

秋吉英雄(2003)「島根漂着物図鑑」. 41pp. (財) 島根ふれあい環境財団21.

江口元起(1968) 生物学御研究所編「相模産ヒドロ珊瑚類及び石珊瑚類」. 丸善.

波部忠重(1971) 大社町日御碕沿岸の無脊椎動物相. 「日御碕海岸海中公園調査報告書」: 31-38.

波部忠重(1973) 隠岐海中公園候補地の無脊椎動物相. 「海中公園センター調査報告書」: 27-35.

堀越増興・永田豊・佐藤任弘(1987)「日本列島をめぐる海」. 299pp. 岩波書店.

井田 齊・福田雄雄(1973) 島根県隠岐周辺の魚類. 「海中公園センター調査報告書」: 37-45.

海中公園センター(1973)「島根県海中公園学術調査報告書」. 76pp.

幸塚久則・秋吉英雄(2006) 隠岐の島周辺海域から採集された浅海産非造礁性イシサンゴ類. 日本生物地理学会会報, 61: 53-66

- 幸塚久則・秋吉英雄 (2007) 隠岐諸島に生息する浅海産非造礁性
イシサンゴ類. うみうし通信, 54 : 4-6
- 西村三郎 (1992) 「原色検索日本海岸動物図鑑 I」. 425pp. 保育
社.
- 野村恵一・梶村光男・内田紘臣 (1994) 隠岐諸島における造礁性
イシサンゴ類について. 海中公園情報, (106) : 7-11.
- 島根大学理学部附属隠岐臨海実験所 (1995) 隠岐臨海実験所周
辺の動・植物リスト, 53pp
- 島根県水産試験場 (1963) 「沿岸水族幼稚魚生態調査研究報告
書」.
- 白井祥平 (1976) 「島根半島海中公園海中調査結果 (概要)」.
10pp.
- 田村剛・斉藤一雄 (1973) 島根県隠岐地区海中公園の保護及び利
用計画の概要. 「海中公園センター調査報告書」: 53-76.
- 矢島孝昭 (1986) 能登九十九湾周辺海域におけるキクメイシモド
キ *Oulastrea crispata* La., arl の生態分布. 金沢大学日本海域
研究所報告, (18) : 21-36.

淡水海綿類文献

- 益田芳樹 (2001) 淡水海綿類. 浜島繁隆ら編「ため池の自然」:
102-109. 信山社サイテック, 東京
- 益田芳樹・佐藤国康 (1990) 穴道湖及びその周辺の淡水海綿につ
いて. Kawasaki Medical Society, (16) : 67-82.
- 益田芳樹・佐藤国康 (1991-2000) 淡水海綿の話ーその1～6ー.
兵庫陸水生物, (39/40) : 17-20., (41) : 49-52., (42) : 43-46.,
(43) : 59-66., (51/52) : 345-356.

写真撮影者等一覧

【哺乳類】

写真掲載ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所 (採集場所)※	撮影日 (採集日)※	撮影者 (採集者)※	備 考
口絵1	ニホンアシカ	絶滅	竹島	1931年 7 月	－	標本
	ニホンカモシカ	絶滅	山梨県	1980年	大畑純二	
	ツキノワグマ	絶滅危惧Ⅰ類	邑南町	2006年 6 月 6 日	島根県中山間地域研究センター	
	ヤマネ	絶滅危惧Ⅱ類	－	2007年 4 月28日	島根県立三瓶自然館	
	カワネズミ	準絶滅危惧	江津市	1982年	大畑純二	
	キクガシラコウモリ	準絶滅危惧	大田市	1992年 1 月 6 日	大畑純二	
	ユビナガコウモリ	準絶滅危惧	江津市	1983年 4 年 8 日	大畑純二	
	ニホンイタチ	準絶滅危惧	江津市	－	大畑純二	

【鳥類】

写真掲載ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所	撮影日	撮影者	備 考
口絵2	カラスバト	絶滅危惧Ⅰ類	益田市	2002年10月14日	石本賢治	
	ヒメクロウミツバメ	絶滅危惧Ⅰ類	西ノ島町	1986年	野津 大	
	ヨシゴイ	絶滅危惧Ⅰ類	出雲市	1996年 6 月17日	川上 章	
	カンムリウミスズメ	絶滅危惧Ⅰ類	隠岐諸島近海	2013年 4 月22日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	ハチクマ	絶滅危惧Ⅰ類	益田市	2003年 8 月13日	石本賢治	
	オオタカ	絶滅危惧Ⅰ類	出雲市	2003年12月14日	北脇 努	
	サシバ	絶滅危惧Ⅰ類	出雲市	1986年 4 月25日	佐藤仁志	
	クマタカ	絶滅危惧Ⅰ類	浜田市	1987年 6 月	石本賢治	
口絵3	ブッポウソウ	絶滅危惧Ⅰ類	奥出雲町	1984年 5 月28日	飯塚洋一	
	ハヤブサ	絶滅危惧Ⅰ類	出雲市	1987年 4 月25日	佐藤仁志	
	ヤイロチョウ	絶滅危惧Ⅰ類	雲南市	1994年 5 月24日	佐藤仁志	
	ウチヤマセンニユウ	絶滅危惧Ⅰ類	島根県島嶼	2008年 7 月13日	石本賢治	
	イワミセキレイ	絶滅危惧Ⅰ類	浜田市	1987年 4 月	石本賢治	
	コイカル	絶滅危惧Ⅰ類	松江市	2000年 4 月 1 日	秦 智秋	
	ヒシクイ	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	1984年12月22日	佐藤仁志	
	カリガネ	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	2000年 3 月16日	佐藤仁志	
口絵4	オオハクチョウ	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	1986年 1 月 9 日	佐藤仁志	
	アカツクシガモ	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	1986年 1 月30日	佐藤仁志	
	ミゾゴイ	絶滅危惧Ⅱ類	益田市	2006年 6 月24日	石本賢治	
	クロツラヘラサギ	絶滅危惧Ⅱ類	松江市	2009年11月19日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	クイナ	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	1995年10月16日	川上 章	
	ヒクイナ	絶滅危惧Ⅱ類	江津市	2011年 2 月19日	石本賢治	
	ヨタカ	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	2013年 5 月14日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	タマシギ	絶滅危惧Ⅱ類	浜田市	1991年 6 月	石本賢治	
口絵5	コアジサシ	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	1984年 5 月19日	秦 智秋	
	ミサゴ	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	1995年12月11日	佐藤仁志	
	オジロワシ	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	1983年 3 月19日	佐藤仁志	
	チュウビ	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	1997年 3 月30日	秦 智秋	
	オオコノハズク	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	2000年 7 月 9 日	佐藤仁志	
	アカショウビン	絶滅危惧Ⅱ類	大田市	1993年 7 月25日	佐藤仁志	
	ヤマセミ	絶滅危惧Ⅱ類	浜田市	1996年10月10日	井山 明	
	マガン	準絶滅危惧	出雲市	1992年 3 月 8 日	佐藤仁志	
口絵6	コハクチョウ	準絶滅危惧	出雲市	1982年12月10日	佐藤仁志	
	ツクシガモ	準絶滅危惧	益田市	2003年 3 月 2 日	秦 智秋	
	オシドリ	準絶滅危惧	出雲市	1996年 1 月21日	北脇 努	
	サンカノゴイ	準絶滅危惧	出雲市	2002年11月24日	秦 智秋	
	コシアカツバメ	情報不足	江津市	2013年 5 月21日	星野由美子	
	コルリ	情報不足	益田市	2003年 5 月10日	石本賢治	
	コサメビタキ	情報不足	浜田市	1998年 5 月14日	石本賢治	
	クロジ	情報不足	浜田市	1997年 3 月 4 日	石本賢治	

【両生類・爬虫類】

写真掲載 ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所	撮影日	撮影者	備 考
口絵7	オオサンショウウオ	絶滅危惧Ⅱ類	邑南町	2013年9月18日	鳥根県立宍道湖自然館	
	オキサンショウウオ	絶滅危惧Ⅱ類	隠岐の島町	2012年6月6日	隠岐ジオパーク推進協議会	
	カスミサンショウウオ	準絶滅危惧	安来市	2010年2月25日	岩田貴之	
	ブチサンショウウオ	準絶滅危惧	奥出雲町	2003年5月23日	岩田貴之	
	ヒダサンショウウオ	準絶滅危惧	安来市	2013年3月3日	岩田貴之	
	オキタゴガエル	準絶滅危惧	西ノ島町	2013年9月11日	鳥根県立宍道湖自然館	
	シロマダラ	準絶滅危惧	安来市	2002年7月2日	秋吉英雄	
	ナガレタゴガエル	情報不足	吉賀町	2012年5月7日	岩田貴之	

【汽水・淡水魚類】

写真掲載 ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所 (採集場所)※	撮影日 (採集日)※	撮影者 (採集者)※	備 考
口絵8	ドウクツミミズハゼ	絶滅	長崎県	—	—	標本（国立科学博物館所蔵）
	ミナミアカヒレタビラ	絶滅危惧Ⅰ類	斐伊川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	イシドジョウ	絶滅危惧Ⅰ類	三隅川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	ゴギ	絶滅危惧Ⅰ類	江の川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	日本海系イトヨ	絶滅危惧Ⅰ類	斐伊川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	クルマサヨリ	絶滅危惧Ⅰ類	斐伊川水系	2012年10月20日	鳥根県立宍道湖自然館	
	オヤニラミ	絶滅危惧Ⅰ類	江の川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	スナヤツメ南方種	絶滅危惧Ⅱ類	斐伊川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
口絵9	カワヤツメ	絶滅危惧Ⅱ類	斐伊川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	サクラマス	絶滅危惧Ⅱ類	斐伊川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	ヨウジウオ	絶滅危惧Ⅱ類	斐伊川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	サンゴタツ	絶滅危惧Ⅱ類	斐伊川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	カジカ（大卵型：河川陸封型）	絶滅危惧Ⅱ類	神戸川水系	1994年7月17日	佐藤仁志	
	イシドンコ	絶滅危惧Ⅱ類	高津川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	ルリヨシノボリ	絶滅危惧Ⅱ類	大田市	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	シンジコハゼ	絶滅危惧Ⅱ類	斐伊川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
口絵10	アブラボテ	準絶滅危惧	江の川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	ズナガニゴイ	準絶滅危惧	江の川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	サンインコガタスジシマドジョウ	準絶滅危惧	斐伊川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	アカザ	準絶滅危惧	江の川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	アユカケ（カマキリ）	準絶滅危惧	斐伊川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	ウツセミカジカ（小卵型・中卵型：両側回遊型）	準絶滅危惧	江の川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	オオヨシノボリ	準絶滅危惧	高津川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
	カワアナゴ	情報不足	斐伊川水系	—	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）

【昆虫類】

写真掲載 ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所 (採集場所)※	撮影日 (採集日)※	撮影者 (採集者)※	備 考
口絵11	ヒメシロチョウ	絶滅	奥出雲町	1952年7月12日	平田信夫	標本（倉敷市立自然史博物館所蔵）
	コバネアオイトトンボ	絶滅危惧Ⅰ類	松江市	1995年11月4日	大浜祥治	
	モートンイトトンボ	絶滅危惧Ⅰ類	松江市	2005年5月28日	高木 聡	
	ヒロシマサナエ	絶滅危惧Ⅰ類	益田市	2007年6月8日	宮本詔子	
	マイコアカネ	絶滅危惧Ⅰ類	出雲市	1988年9月18日	大浜祥治	
	コカワゲラ	絶滅危惧Ⅰ類	雲南市	1998年7月10日	稲田和久	
	カワラバッタ	絶滅危惧Ⅰ類	益田市	2002年8月22日	山田 学	
	タガメ	絶滅危惧Ⅰ類	鳥根県東部	—	—	飼育個体（鳥根県立宍道湖自然館）
口絵12	トゲナベブタムシ	絶滅危惧Ⅰ類	兵庫県	2001年5月27日	（公財）ホシザキグリーン財団	
	ハラビロハンミョウ	絶滅危惧Ⅰ類	鳥取県	—	—	標本（ホシザキ野生生物研究所所蔵）
	カワラハンミョウ	絶滅危惧Ⅰ類	益田市	2002年8月5日	山田 学	
	オオヒョウタンゴミムシ	絶滅危惧Ⅰ類	鳥取県	—	—	標本（ホシザキ野生生物研究所所蔵）

写真掲載 ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所 (採集場所)※	撮影日 (採集日)※	撮影者 (採集者)※	備 考
口絵12	イワタメクラチビゴミムシ	絶滅危惧Ⅰ類	松江市	－	星川和夫	標本
	イソチビゴミムシ	絶滅危惧Ⅰ類	出雲市	2006年 6 月28日	(公財)ホシザキグリーン財団	標本（ホシザキ野生生物研究所所蔵）
	マルコガタノゲンゴロウ	絶滅危惧Ⅰ類	島根県東部	－	島根県立宍道湖自然館	飼育個体（島根県立宍道湖自然館）
	ゲンゴロウ	絶滅危惧Ⅰ類	島根県東部	－	川野敬介	
口絵13	シャープゲンゴロウモドキ	絶滅危惧Ⅰ類	石川県	2003年10月20日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	ダイコクコガネ	絶滅危惧Ⅰ類	大田市	1996年 9 月14日	鈴木謙治	
	オオハナカミキリ	絶滅危惧Ⅰ類	松江市	1986年 6 月 6 日	福井修二	
	キマダラルリツバメ	絶滅危惧Ⅰ類	安来市	1965年 6 月	板垣 治	標本（裏面）
	ルーミスシジミ	絶滅危惧Ⅰ類	隠岐の島町	1986年 7 月31日	淀江賢一郎	
	ウラナミアカシジミ	絶滅危惧Ⅰ類	岡山県	2002年 6 月 9 日	坂田国嗣	
	クロシジミ	絶滅危惧Ⅰ類	岡山県	1998年 6 月30日	坂田国嗣	
	シルビアシジミ	絶滅危惧Ⅰ類	松江市	1994年 8 月30日	坂田国嗣	
口絵14	ヒメシジミ本州・九州亜種	絶滅危惧Ⅰ類	岡山県	2002年 6 月23日	坂田国嗣	
	ゴマシジミ	絶滅危惧Ⅰ類	飯南町	1996年 8 月13日	坂田国嗣	
	ウラギンシヒョウモン	絶滅危惧Ⅰ類	安来市	1996年 7 月 1 日	坂田国嗣	
	オオウラギンシヒョウモン	絶滅危惧Ⅰ類	山口県	1996年 7 月 7 日	坂田国嗣	
	ヒョウモンモドキ	絶滅危惧Ⅰ類	－	1993年 6 月20日	淀江賢一郎	
	ウスイロヒョウモンモドキ	絶滅危惧Ⅰ類	大田市	2002年 7 月 2 日	中蘭洋行	
	シータテハ	絶滅危惧Ⅰ類	長野県	2003年 7 月28日	坂田国嗣	
	ホシミスジ近畿地方以西亜種	絶滅危惧Ⅰ類	江津市	2007年 6 月12日	三島秀夫	
口絵15	ウラナミジャノメ本土亜種	絶滅危惧Ⅰ類	大田市	2009年 6 月17日	三島秀夫	
	クロヒカゲモドキ	絶滅危惧Ⅰ類	浜田市	1996年 7 月29日	坂田国嗣	
	ウラジャノメ	絶滅危惧Ⅰ類	益田市	1978年 7 月 2 日	中村泰士	標本（島根県立三瓶自然館所蔵）
	キバネセセリ	絶滅危惧Ⅰ類	山梨県	2003年 7 月29日	坂田国嗣	
	コキマダラセセリ	絶滅危惧Ⅰ類	岡山県	1999年 7 月12日	坂田国嗣	
	ホシチャバネセセリ	絶滅危惧Ⅰ類	浜田市	1995年 7 月30日	坂田国嗣	
	オツネトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	大田市	2004年	竹本耕一	
	グンバイトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	－	－	－	
口絵16	ベニイトトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	益田市	2008年 8 月11日	大浜祥治	
	ネアカヨシヤンマ	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	1991年 7 月20日	大浜祥治	
	ナゴヤサナエ	絶滅危惧Ⅱ類	出雲市	2004年 8 月28日	大浜祥治	
	ハネビロエゾトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	岡山県	2011年 7 月31日	守安 敦	
	キイロヤマトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	安来市	2001年 6 月 2 日	大浜祥治	
	ハッチョウトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	松江市	2004年 7 月 3 日	大浜祥治	
	コオイムシ	絶滅危惧Ⅱ類	安来市	－	川野敬介	
	ズイムシハナカメムシ	絶滅危惧Ⅱ類	安来市	2005年10月13日	尾原和夫	標本
口絵17	コエゾゼミ	絶滅危惧Ⅱ類	奥出雲町	1972年 8 月 7 日	尾原和夫	標本
	サイカチマダラキジラミ	絶滅危惧Ⅱ類	江津市	2009年 7 月 3 日	(公財)ホシザキグリーン財団	標本（ホシザキ野生生物研究所所蔵）
	ハマベゴミムシ	絶滅危惧Ⅱ類	隠岐の島町	－	－	標本（ホシザキ野生生物研究所所蔵）
	コガタノゲンゴロウ	絶滅危惧Ⅱ類	高知県	－	－	飼育個体（島根県立宍道湖自然館）
	オオツノハネカクシ	絶滅危惧Ⅱ類	隠岐の島町	－	－	標本（ホシザキ野生生物研究所所蔵）
	アオハナムグリ島前亜種	絶滅危惧Ⅱ類	西ノ島町	1999年 6 月13日	大浜祥治	
	ツヤネクイハムシ	絶滅危惧Ⅱ類	広島県	2001年 6 月16日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	ニッポンハナダカバチ	絶滅危惧Ⅱ類	大田市	2011年 8 月24日	中村唯史	
口絵18	キバラハキリバチ	絶滅危惧Ⅱ類	－	－	前田泰生	標本
	オオズグロメバエ	絶滅危惧Ⅱ類	－	－	前田泰生	標本
	ギフチョウ	絶滅危惧Ⅱ類	安来市	1997年 4 月14日	坂田国嗣	
	ジャコウアゲハ	絶滅危惧Ⅱ類	鳥取県	1999年 5 月16日	坂田国嗣	
	スジボソヤマキチョウ	絶滅危惧Ⅱ類	奥出雲町	1998年 9 月20日	坂田国嗣	
	カラスシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	大田市	2001年 6 月10日	坂田国嗣	
	ウスイロオナガシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	安来市	2001年 6 月15日	坂田国嗣	
	オナガシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	隠岐の島町	1996年 8 月 5 日	坂田国嗣	

写真掲載 ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所 (採集場所)※	撮影日 (採集日)※	撮影者 (採集者)※	備 考
口絵19	ヒロオビミドリシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	飯南町	1992年 6 月27日	坂田国嗣	
	ミドリシジミ	絶滅危惧Ⅱ類	－	2002年 7 月 8 日	坂田国嗣	
	クモガタヒョウモン	絶滅危惧Ⅱ類	大田市	1995年 6 月25日	坂田国嗣	
	メスグロヒョウモン	絶滅危惧Ⅱ類	大田市	2001年 6 月10日	坂田国嗣	
	ミスジチョウ	絶滅危惧Ⅱ類	奥出雲町	1994年 7 月 5 日	坂田国嗣	
	オオムラサキ	絶滅危惧Ⅱ類	安来市	1995年 7 月24日	坂田国嗣	
	ヒメヒカゲ中部・近畿・中国地方亜種	絶滅危惧Ⅱ類	浜田市	1995年 7 月30日	坂田国嗣	
	ギンイチモンジセセリ	絶滅危惧Ⅱ類	鳥取県	1997年 5 月11日	坂田国嗣	
口絵20	スジグロチャバネセセリ	絶滅危惧Ⅱ類	奥出雲町	2000年 7 月10日	坂田国嗣	
	ミヤマチャバネセセリ	絶滅危惧Ⅱ類	岡山県	2000年 7 月 1 日	坂田国嗣	
	エゾトンボ	準絶滅危惧	飯南町	2004年 7 月 4 日	高木 聡	
	ヤマトマダラバタ	準絶滅危惧	出雲市	2005年11月12日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	シリアカハネナガウンカ	準絶滅危惧	隠岐の島町	2004年 8 月21日	尾原和夫	標本
	ハルゼミ	準絶滅危惧	大田市	2009年 6 月 1 日	三島秀夫	
	エノキカイガラキジラミ	準絶滅危惧	大田市	2010年 6 月22日	(公財)ホシザキグリーン財団	標本 (ホシザキ野生生物研究所所蔵)
	アダチアカサシガメ	準絶滅危惧	隠岐の島町	2004年 1 月21日	島田 孝	
口絵21	ハマベナガカメムシ	準絶滅危惧	雲南市	2002年 7 月16日	尾原和夫	標本
	ハマベツチカメムシ	準絶滅危惧	出雲市	2003年 4 月27日	尾原和夫	標本
	アオクチブトカメムシ	準絶滅危惧	飯南町	1994年 8 月 9 日	尾原和夫	標本
	ハマバウスバカゲロウ	準絶滅危惧	出雲市	2011年10月25日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	コオナガミズスマシ	準絶滅危惧	安来市	－	(公財)ホシザキグリーン財団	標本 (ホシザキ野生生物研究所所蔵)
	アヤスジミゾドロムシ	準絶滅危惧	出雲市	2006年 7 月14日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	ケスジドロムシ	準絶滅危惧	出雲市	2006年 8 月 6 日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	ハガマルヒメドロムシ	準絶滅危惧	飯南町	－	(公財)ホシザキグリーン財団	標本 (ホシザキ野生生物研究所所蔵)
口絵22	ヨコミゾドロムシ	準絶滅危惧	出雲市	2005年10月27日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	ホシミスジ隠岐亜種	準絶滅危惧	西ノ島町	1987年 6 月10日	淀江賢一郎	
	イソハサミムシ	情報不足	出雲市	2011年 5 月 4 日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	チッチゼミ	情報不足	出雲市	1996年 8 月26日	大浜祥治	
	シャシャンボキジラミ	情報不足	出雲市	－	(公財)ホシザキグリーン財団	標本 (ホシザキ野生生物研究所所蔵)
	ミヤケミズムシ	情報不足	大田市	2009年 9 月 9 日	尾原和夫	
	イシハラカメムシ	情報不足	奥出雲町	2009年 9 月23日	尾原和夫	
	カワラゴミムシ	情報不足	青森県	2006年 6 月30日	(公財)ホシザキグリーン財団	
口絵23	コハンミョウ	情報不足	－	－	福井修二	標本
	アイヌハンミョウ	情報不足	－	－	福井修二	標本
	コニワハンミョウ	情報不足	－	－	福井修二	標本
	ホソハンミョウ	情報不足	－	－	福井修二	標本
	ウミミズギワゴミムシ	情報不足	益田市	－	－	標本 (ホシザキ野生生物研究所所蔵)
	マダラコガシラミズムシ	情報不足	出雲市	2003年 6 月16日	(公財)ホシザキグリーン財団	標本 (ホシザキ野生生物研究所所蔵)
	ムツボシツヤコップゲンゴロウ	情報不足	益田市	2009年 9 月29日	－	標本 (ホシザキ野生生物研究所所蔵)
	クロコブセスジダルマガムシ	情報不足	出雲市	－	(公財)ホシザキグリーン財団	標本 (ホシザキ野生生物研究所所蔵)
口絵24	ウマツライソハネカクシ	情報不足	出雲市	2006年 6 月28日	(公財)ホシザキグリーン財団	標本 (ホシザキ野生生物研究所所蔵)
	ホソキマルハナノミ	情報不足	飯南町	－	(公財)ホシザキグリーン財団	標本 (ホシザキ野生生物研究所所蔵)
	ババチビドロムシ	情報不足	出雲市	－	(公財)ホシザキグリーン財団	標本 (ホシザキ野生生物研究所所蔵)
	ヒゲナガヒラタドロムシ	情報不足	飯南町	－	(公財)ホシザキグリーン財団	標本 (ホシザキ野生生物研究所所蔵)
	クロゲンセイ	情報不足	－	2010年 7 月 9 日	皆木宏明	
	バッキンガムカギアシゾウムシ	情報不足	出雲市	2012年10月10日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	ババスケヒメゾウムシ	情報不足	広島県	2001年 6 月16日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	フクイアナバチ	情報不足	邑南町	2010年 7 月28日	皆木宏明	
口絵25	ダルマアリ	情報不足	－	－	福井修二	標本
	ケンランアリノスアブ	情報不足	雲南市	2013年 7 月 1 日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	ギンボシスズメ	情報不足	大田市	1998年 5 月25日	三島秀夫	標本
	スキバハウジャク	情報不足	飯南町	2008年 8 月18日	三島秀夫	
	ウスジロドクガ	情報不足	大田市	1992年 6 月 3 日	三島秀夫	標本

写真掲載ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所 (採集場所)※	撮影日 (採集日)※	撮影者 (採集者)※	備 考
口絵25	トラサンドクガ	情報不足	大田市	2013年 5 月25日	三島秀夫	標本
	クビジロツメヨトウ	情報不足	西ノ島町	2008年10月20日	大浜祥治	
	トビイロアカガネヨトウ	情報不足	雲南市	2008年10月 6 日	三島秀夫	標本

【クモ類】

写真掲載ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所 (採集場所)※	撮影日	撮影者	備 考
口絵27	イソコモリグモ	絶滅危惧Ⅱ類	大田市	2010年 5 月 6 日	皆木宏明	
	ワスレナグモ	準絶滅危惧	津和野町	2012年10月 1 日	皆木宏明	
	キノボリトタテグモ	準絶滅危惧	松江市	1974年 7 月	景山純孝	

【甲殻類】

写真掲載ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所 (採集場所)※	撮影日 (採集日)※	撮影者 (採集者)※	備 考
口絵26	ハマガニ	絶滅危惧Ⅰ類	松江市	2008年 7 月 1 日	鳥根県立宍道湖自然館	
	ヒラテナガエビ(ヤマトナガエビ)	準絶滅危惧	出雲市	2010年 8 月 2 日	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体(鳥根県立宍道湖自然館)
	ヒメヌマエビ	準絶滅危惧	出雲市	2010年10月27日	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体(鳥根県立宍道湖自然館)
	ヤマトヌマエビ	準絶滅危惧	出雲市	2011年10月21日	辻井要介	飼育個体
	ミナミヌマエビ	準絶滅危惧	出雲市	2012年 6 月12日	辻井要介	
	マメコブシガニ	準絶滅危惧	斐伊川水系	－	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体(鳥根県立宍道湖自然館)
	ベンケイガニ	準絶滅危惧	松江市	2011年 6 月22日	鳥根県立宍道湖自然館	
	トゲナシヌマエビ	情報不足	出雲市	2010年10月27日	鳥根県立宍道湖自然館	飼育個体(鳥根県立宍道湖自然館)
口絵27	タイワンヒライソモドキ	情報不足	松江市	2012年 5 月28日	鳥根県立宍道湖自然館	
	フタバカクガニ	情報不足	松江市	2012年 6 月11日	鳥根県立宍道湖自然館	
	ニホンハマワラジムシ	情報不足	出雲市	2011年 4 月25日	(公財)ホシザキグリーン財団	
	ニッポンヒイロワラジムシ	情報不足	出雲市	2011年 4 月14日	(公財)ホシザキグリーン財団	

【陸・淡水産貝類】

写真掲載ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所 (採集場所)※	撮影日 (採集日)※	撮影者 (採集者)※	備 考
口絵28	ニシノシマガセル	絶滅危惧Ⅰ類	西ノ島町	－	野津 大	
	オキビロウドマイマイ	絶滅危惧Ⅰ類	隠岐の島町	－	野津 大	
	アラハダシロマイマイ	絶滅危惧Ⅰ類	隠岐の島町	2013年 8 月21日	増野和幸	
	カワシシユガイ	絶滅危惧Ⅰ類	広島県	－	岡村一郎	標本
	オキムシオイガイ	絶滅危惧Ⅱ類	隠岐の島町	－	野津 大	標本
	オキゴマガイ	絶滅危惧Ⅱ類	隠岐の島町	－	野津 大	標本
	ヒメナミギセル	絶滅危惧Ⅱ類	隠岐の島町	－	野津 大	
	オキノクニキビガイ	絶滅危惧Ⅱ類	隠岐の島町	－	野津 大	標本
口絵29	オキシメクチマイマイ	絶滅危惧Ⅱ類	隠岐の島町	－	野津 大	
	オキニシキマイマイ	絶滅危惧Ⅱ類	隠岐の島町	－	野津 大	
	オキマイマイ	絶滅危惧Ⅱ類	隠岐の島町	－	野津 大	
	ヘソアキコベソマイマイ	準絶滅危惧	隠岐の島町	－	野津 大	
	ダイセンニシキマイマイ	準絶滅危惧	飯南町	1982年 7 月25日	岡村一郎	
	カラスガイ	準絶滅危惧	松江市	2003年 1 月20日	戸田顕史	
	マツカサガイ	準絶滅危惧	出雲市	2005年 6 月 1 日	戸田顕史	標本
	ニセマツカサガイ	準絶滅危惧	出雲市	2005年 6 月 1 日	戸田顕史	標本

【サンゴ類】

写真掲載ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所	撮影日	撮影者	備 考
口絵30	イソバナ	準絶滅危惧	知夫村	2002年 8 月 4 日	秋吉英雄	
	イボヤギ	準絶滅危惧	知夫村	2002年 8 月 4 日	秋吉英雄	
	ムツサンゴ	準絶滅危惧	隠岐の島町	2011年 7 月 9 日	幸塚久典	

【淡水海綿類】

写真掲載 ページ	和 名	2014カテゴリー	撮影場所	撮影日	撮影者	備 考
口絵30	シロカイメン	準絶滅危惧	出雲市	2001年7月16日	益田芳樹	
	ヨコトネカイメン	準絶滅危惧	出雲市	1990年7月14日	益田芳樹	
	ツツミカイメン	情報不足	岡山県	1999年10月2日	益田芳樹	

※「撮影場所（採集場所）」及び「撮影日（採集日）」が不明等の場合は「－」で表示。

※「備考」欄で「標本」又は「飼育個体」と記載した「撮影場所（採集場所）」、「撮影日（採集日）」及び「撮影者（採集者）」はそれぞれ「採集場所」、「採集日」及び「採集者」を記載。

※「標本」及び「飼育個体」については博物館等で所蔵等されている場合、「備考」欄に博物館等の施設名を（ ）内に記載。

索引 (五十音順)

ア アイヌハンミョウ…………… 口絵23、193	イワミマイマイ…………… 256
アイミヤマシマトビケラ…………… 214	ウシカメムシ…………… 192
アオアシナガハナムグリ…………… 200	ウジセトトビケラ (ウジヒメセトトビケラ) …… 213
アオクチブトカメムシ…………… 口絵21、160	ウスイロオナガシジミ…………… 口絵18、139
アオバズク…………… 59	ウスイロヒョウモンモドキ…………… 口絵14、121
アオハダトンボ…………… 146	ウスジロドクガ…………… 口絵25、217
アオハナムグリ島前亜種…………… 口絵17、134	ウスズミケンモン…………… 219
アオマダラタマムシ…………… 201	ウスバカマキリ…………… 151
アオヤンマ…………… 147	ウチヤマセンニユウ…………… 口絵3、44
アカアシクチブトカメムシ…………… 160	ウツセミカジカ (小卵型・中卵型・両側回遊型) …… 口絵10、92
アカエゾゼミ…………… 154	ウデワユミアシサシガメ…………… 191
アカザ…………… 口絵10、92	ウマヅライソハネカクシ…………… 口絵24、197
アカショウビン…………… 口絵5、54	ウマノオバチ…………… 211
アカスジオオカスミカメムシ…………… 158	ウミスズメ…………… 64
アカツクシガモ…………… 口絵4、47	ウミホソチビゴミムシ…………… 195
アカマダラハナムグリ (アカマダラコガネ) …… 166	ウミミズカメムシ…………… 157
アカモズ…………… 66	ウミミズギワゴミムシ…………… 口絵23、195
アサカミキリ…………… 209	ウラキンシジミ…………… 180
アサマイチモンジ…………… 184	ウラギンスジヒョウモン…………… 口絵14、120
アシマダラアカサシガメ…………… 189	ウラゴマダラシジミ…………… 180
アズキガイ…………… 249	ウラジャノメ…………… 口絵15、124
アダチアカサシガメ…………… 口絵20、158	ウラジロミドリシジミ…………… 181
アブラボテ…………… 口絵10、91	ウラナミアカシジミ…………… 口絵13、117
アメイロハエトリグモ…………… 229	ウラナミジャノメ本土亜種…………… 口絵15、123
アヤスジミゾドロムシ…………… 口絵21、167	エサキアメンボ…………… 157
アヤヘリハネナガウンカ…………… 153	エゾクシヒゲシャチホコ…………… 217
アヤモクメキリガ…………… 219	エゾコガムシ…………… 196
アヤモンチビカミキリ…………… 208	エゾゼミ…………… 154
アユカケ (カマキリ) …… 口絵10、92	エゾツノカメムシ…………… 192
アラハダシロマイマイ…………… 口絵28、244	エゾトンボ…………… 口絵20、150
アリヅカウンカ…………… 186	エゾハルゼミ…………… 155
イカルチドリ…………… 57	エゾミドリシジミ…………… 182
イシドジョウ…………… 口絵8、83	エノキカイガラキジラミ…………… 口絵20、155
イシドンコ…………… 口絵9、89	オオアオカミキリ…………… 206
イシハラカメムシ…………… 口絵22、192	オオアシナガサシガメ…………… 190
イズモメクラチビゴミムシ…………… 162	オオウラギンヒョウモン…………… 口絵14、120
イソコモリグモ…………… 口絵27、225	オオキノコムシ…………… 169
イソジョウカイモドキ…………… 168	オオコノハズク…………… 口絵5、53
イソチビゴミムシ…………… 口絵12、113	オオゴマガイ…………… 250
イソハサミムシ…………… 口絵22、185	オオサンショウウオ…………… 口絵7、72
イソバナ…………… 口絵30、259	オオジシギ…………… 63
イッシキキモンカミキリ…………… 170	オオズクロメバエ…………… 口絵18、136
イトアメンボ…………… 189	オオセンチコガネ…………… 165
イトウムシオイガイ…………… 249	オオタカ…………… 口絵2、41
イヌワシ…………… 65	オオタキコギセル (ヒメコギセル) …… 252
イボヤギ…………… 口絵30、259	オオタケチャイロコガネ…………… 200
イワタメクラチビゴミムシ…………… 口絵12、112	オオチャイロハナムグリ…………… 167
イワミセキレイ…………… 口絵3、44	オオチャバネセセリ…………… 184

オオツノハネカクシ	口絵17、134
オオハクチョウ	口絵4、47
オオハナカミキリ	口絵13、115
オオヒョウタンゴミムシ	口絵12、112
オオベニホソヒラタコメツキ	202
オオホソコバネカミキリ	205
オオミズナギドリ	61
オオミズムシ	156
オオミドリシジミ	221
オオムラサキ	口絵19、143
オオメダカナガカメムシ	191
オオヨシゴイ	39
オオヨシノボリ	口絵10、93
オオワシ	64
オカムラムシオイガイ	250
オキゴマガイ	口絵28、245
オキサンショウウオ	口絵7、72
オキシメクチマイマイ	口絵29、247
オキタゴガエル	口絵7、74
オキチビハネカクシ	133
オキチャイロコガネ	200
オキツヤヒサゴミムシダマシ	204
オキナガゴミムシ	194
オキナワリチラシ	174
オキニシキマイマイ	口絵29、247
オキノクニキビガイ	口絵28、246
オキピロウドマイマイ	口絵28、243
オキマイマイ	口絵29、248
オキムシオイガイ	口絵28、245
オシドリ	口絵6、56
オジロワシ	口絵5、52
オツネントンボ	口絵15、126
オナガアゲハ	179
オナガシジミ	口絵18、140
オナガミズアオ	216
オニクワガタ	198
オヤニラミ	口絵8、85
オヨギカタピロアメンボ	157
カ カジカ（大卵型：河川陸封型）	口絵9、88
カジカガエル	75
カスミサンショウウオ	口絵7、73
カタビロクサビウンカ	187
カトウツケオグモ	229
カトリヤンマ	148
カドワキツヤミズギワコメツキ	203
カバフキシタバ	116
カヤコオロギ	185
カラスガイ	口絵29、254
カラスシジミ	口絵18、138
カラスバト	口絵2、38
カラフトゴマフトビケラ	212
カリガネ	口絵3、46

ガロアムシ類	152
ガロアムネスジダンダラコメツキ	202
カワアナゴ	口絵10、94
カワシンジュガイ	口絵28、244
カワネズミ	口絵1、31
カワモトギセル	252
カワヤツメ	口絵9、86
カワラゴミムシ	口絵22、192
カワラバッタ	口絵11、109
カワラハンミョウ	口絵12、111
カンムリウミスズメ	口絵2、40
キイロサナエ	149
キイロテントウゴミムシダマシ	204
キイロヤマトンボ	口絵16、129
キオビホオナガスズメバチ本州亜種	172
キクガシラコウモリ	口絵1、31
キジロオヒキグモ	226
キスジウスキョトウ	220
キスジハネビロウンカ	186
キヌゲハキリバチ	172
キノカワハゴロモ	187
キノボリタテグモ	口絵27、226
キバジュズフシアリ	211
キバネアシブトマキバサシガメ	189
キバネセセリ	口絵15、124
キバラハキリバチ	口絵18、136
ギフチョウ	口絵18、137
キボシマルウンカ	187
キマダラルリツバメ	口絵13、116
キュウシュウチビトラカミキリ	207
キリシマミドリシジミ	183
ギンイチモンジセセリ	口絵19、144
キンイロネクイハムシ	171
キンキコリクワガタ	164
ギンツバメ	214
ギンボシスズメ	口絵25、216
ギンボシツツトビケラ	213
クイナ	口絵4、49
クビアカサシガメ	190
クビアカモモプトホソカミキリ	208
クビグロケンモン	176
クビジロツメヨトウ	口絵25、219
クマタカ	口絵2、42
クモガタヒョウモン	口絵19、141
クリイロキセルガイモドキ	251
クルメサヨリ	口絵8、85
クロウスタビガ	175
クロオオハナノミ	204
クロオビマグソコガネ	199
クロゲンセイ	口絵24、204
クロコブセスジダルマガムシ	口絵23、197
クロサギ	57

クロサワヒメコバネカミキリ	206
クロジ	口絵6、68
クロシジミ	口絵13、118
クロシモフリアツバ	178
クロソンホソハナカミキリ	205
クロツラヘラサギ	口絵4、48
クロバアカサシガメ	189
クロヒカゲモドキ	口絵15、123
クロホシタマクモゾウムシ	210
クロマダラタマムシ	202
クロミドリシジミ	182
クロモンチビヒメシャク	214
ゲンバイトンボ	口絵15、126
ケスジドロムシ	口絵21、167
ゲンゴロウ	口絵12、114
ケンランアリノスアブ	口絵25、212
コアジサシ	口絵5、51
コイカル	口絵3、45
ゴイシシジミ	180
コウノトリ	61
コウミスズメ	64
コエゾゼミ	口絵17、131
コオイムシ	口絵16、130
コオナガミズスマシ	口絵21、163
コガタノゲンゴロウ	口絵17、133
コカワゲラ	口絵11、109
ゴギ	口絵8、84
コキクガシラコウモリ	32
コキマダラセセリ	口絵15、125
コクガン	61
コサメビタキ	口絵6、67
コシアカツバメ	口絵6、66
コシロシタバ	178
コチョウゲンボウ	65
コテングコウモリ	33
コトラガ	179
コニワハンミョウ	口絵23、193
コノハズク	53
コハクチョウ	口絵6、55
コバネアオイトトンボ	口絵11、107
コバネコロギス	185
コハンミョウ	口絵23、193
コブナシコブスジコガネ	166
ゴヘイニクバエ	212
ゴマシオケンモン	219
ゴマシジミ	口絵14、119
コマツエンマグモ	227
コマルケシゲンゴロウ	162
ゴミアシナガサシガメ	131
コミズスマシ	196
コミミズク	59
コモグラ (西日本産小型アズマモグラ)	31

コヨシキリ	66
コルリ	口絵6、67
 サイカチマダラキジラミ	口絵17、132
サイゴクビロウドマイマイ	256
サクラマス	口絵9、87
ササゴイ	62
ササジメクラチビゴミムシ	194
サシバ	口絵2、41
サラサヤンマ	147
サンインコガタスジシマドジョウ	口絵10、91
サンカノゴイ	口絵6、56
サンコウチョウ	66
サンゴタツ	口絵9、88
サンショウクイ	65
シータテハ	口絵14、122
シイボルトコギセル	253
シナノエンマコガネ	165
ジムグリ	75
シャープゲンゴロウモドキ	口絵13、114
ジャコウアゲハ	口絵18、137
シャシャンボキジラミ	口絵22、188
ショウリョウバッタモドキ	151
シラホシダエンマルトゲムシ	200
シリアカハネナガウンカ	口絵20、153
シルビアシジミ	口絵13、118
シロカイメン	口絵30、263
シロコシビロダンゴムシ	239
シロシモフリエダシャク	174
シロスジコシブトハナバチ	173
シロチドリ	57
シロヘリツチカメムシ	159
シロホソバ	218
シロマダラ	口絵7、76
シンジコスナウミナナフシ	237
シンジコハゼ	口絵9、90
ズイムシハナカメムシ	口絵16、130
スカシサン	175
スギタニゴマケンモン	218
スギタニルリシジミ	183
スキバホウジャク	口絵25、216
ズグロカモメ	63
スケバハゴロモ	187
スゲハムシ	171
スジグロチャバネセセリ	口絵20、144
スジグロボタル	203
スジボソヤマキチョウ	口絵18、138
ズナガニゴイ	口絵10、91
スナヤツメ南方種	口絵8、86
スネケブカヒロコバネカミキリ	170
セアカオサムシ	161
セイタカシギ	62
セグロイナゴ	152

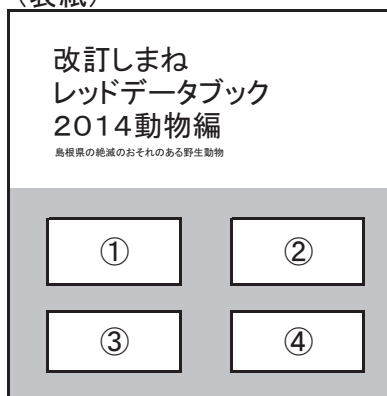
セスジカクマグソコガネ	199	ニシカワハヤシワラジムシ	238
タ ダイコクコガネ	口絵13、115	ニシカワホラワラジムシ	238
タイシャクナガチビゴミムシ	162	ニシノシマギセル	口絵28、243
ダイセンセダコブヤハズカミキリ	208	ニセオオコブガ	218
ダイセンニシキマイマイ	口絵29、254	ニセマグソコガネ	166
タイリクユウレイグモ	228	ニセマツカサガイ	口絵29、255
タイワンヒライソモドキ	口絵27、237	ニッポンハナダカバチ	口絵17、135
タカチホヘビ	76	ニッポンヒイロワラジムシ	口絵27、238
タカハシトゲゾウムシ	210	ニホンアシカ	口絵1、26
タガメ	口絵11、110	ニホンイタチ	口絵1、33
タカユヒメグモ	227	ニホンオオカミ	26
タキグチモモブトホソカミキリ	207	日本海系イトヨ	口絵8、84
タゴガエル	74	ニホンカモシカ	口絵1、27
タッタカモクメシャチホコ	175	ニホンカワウソ	27
タベサナエ	149	ニホンハマワラジムシ	口絵27、238
タマシギ	口絵4、50	ニホンモモンガ	29
ダルマアリ	口絵25、211	ニホンリス	34
チッチゼミ	口絵22、186	ネアカヨシヤンマ	口絵16、127
チビトガリハナバチ	172	ネグロクサアブ	212
チュウヒ	口絵5、52	ネジロハキリバチ	173
チュウブホソガムシ	163	ネズミホソバ	176
チョウゲンボウ	60	ネブトクワガタ	198
ツキノワグマ	口絵1、28	ノコギリカメムシ	191
ツクシガモ	口絵6、55	ノツメクラチビゴミムシ	194
ツクシカラスヨトウ	178	ノビタキ	67
ツシマトリノフンダマシ	228	ハ ハイイロチュウヒ	58
ツツミカイメン	口絵30、264	ハイトカ	65
ツノコガネ	199	ハガマルヒメドロムシ	口絵21、168
ツマグロキチョウ	179	ハコネサンショウウオ	74
ツマグロマルハナノミ	197	ハタケノウマオイ	185
ツミ	64	ハチクマ	口絵2、40
ツヤネクイハムシ	口絵17、135	バッキンガムカギアシゾウムシ	口絵24、209
テナガマシラグモ	227	ハッチョウトンボ	口絵16、129
テングコウモリ	33	ハネビロエゾトンボ	口絵16、128
ドウクツミミズハゼ	口絵8、82	ババスゲヒメゾウムシ	口絵24、210
トガリバナミシャク	215	ババチビドロムシ	口絵24、201
トキ	37	ハマガニ	口絵26、233
トゲナシヌマエビ	口絵26、237	ハマゴウノメイガ	214
トゲナベブタムシ	口絵12、110	ハマシギ	58
トビイロアカガネヨトウ	口絵25、220	ハマスズ	151
トモエガモ	56	ハマベウスバカゲロウ	口絵21、161
トラサンドクガ	口絵25、217	ハマベゴミムシ	口絵17、132
トラフズク	59	ハマベツチカメムシ	口絵21、159
トラフホソバネカミキリ	206	ハマベナガカメムシ	口絵21、158
トンガリササノハガイ	254	ハヤシミドリシジミ	181
ナ ナカスジシャチホコ	216	ハヤブサ	口絵3、43
ナガレタゴガエル	口絵7、77	ハラビロハンミョウ	口絵12、111
ナゴヤサナエ	口絵16、128	ハルゼミ	口絵20、154
ナチキシタドクガ	217	ハンジロギセル	251
ナベヅル	62	ハンノキカミキリ	208
ナマリキシタバ	221	ヒクイナ	口絵4、49
ナマリキリガ	177	ヒゲシロホソコバネカミキリ	205

ヒゲナガサシガメ	190
ヒゲナガヒラタドロムシ	口絵24、201
ヒサマツミドリシジミ	182
ヒシクイ	口絵3、46
ヒダサンショウウオ	口絵7、73
ヒバカリ	76
ヒメアカネ	150
ヒメアシブトクチバ	221
ヒメオオクワガタ	164
ヒメクロウミツバメ	口絵2、38
ヒメサナエ	148
ヒメシジミ本州・九州亜種	口絵14、119
ヒメシロチョウ	口絵11、106
ヒメナミギセル	口絵28、246
ヒメヌマエビ	口絵26、234
ヒメネグロケンモン	218
ヒメハルゼミ	155
ヒメヒカゲ中部・近畿・中国地方亜種	口絵19、143
ヒメベッコウハゴロモ	188
ヒメボタル	203
ヒメマダラナガカメムシ	191
ヒメマルミツギリゾウムシ	209
ヒメミズカマキリ	156
ヒメミズスマシ	196
ヒョウモンモドキ	口絵14、121
ヒラテテナガエビ（ヤマトテナガエビ）	口絵26、234
ヒロオビミドリシジミ	口絵19、140
ヒロシマサナエ	口絵11、108
ビワアシエダトビケラ	213
フクイアナバチ	口絵24、211
フクロウ	58
フジキオビ	174
フジミドリシジミ	181
フタキシエダシャク	215
フタスジカタビロハナカミキリ	205
フタテнкаメムシ	160
フタバカクガニ	口絵27、237
プチサンショウウオ	口絵7、73
ブッポウソウ	口絵3、42
フトハサミツノカメムシ	161
ベーツヒラタカミキリ	169
ヘソアキコベソマイマイ	口絵29、253
ベニイトトンボ	口絵16、127
ヘラサギ	61
ベンケイガニ	口絵26、236
ハウロクシギ	63
ホオアカ	60
ホシチャバネセセリ	口絵15、125
ホシミスジ隠岐亜種	口絵22、183
ホシミスジ近畿地方以西亜種	口絵14、122
ホシムクドリ	67
ホソキマルハナノミ	口絵24、198

ホソバミツモンケンモン	176
ホソハンミョウ	口絵23、193
ホソミイトンボ	146
ホツケミズムシ	156
ホンドノレンコウモリ	34
 マイコアカネ	口絵11、108
マエグロハネナガウンカ	153
マガン	口絵5、55
マクガタテントウ	169
マシダナガゴミムシ	194
マダラウミスズメ	63
マダラカモドキサシガメ	190
マダラクワガタ	198
マダラコガシラミズムシ	口絵23、195
マツカサガイ	口絵29、255
マナヅル	62
マメコブシガニ	口絵26、235
マルケシゲンゴロウ	196
マルコガタノゲンゴロウ	口絵12、113
ミサゴ	口絵5、51
ミズカメムシ	188
ミズゴマツボ	251
ミスジチョウ	口絵19、142
ミズスマシ	163
ミズラモグラ	29
ミゾゴイ	口絵4、48
ミツギリゾウムシ	209
ミツノエンマコガネ	165
ミドリシジミ	口絵19、141
ミナミアカヒレタビラ	口絵8、83
ミナミテナガエビ	234
ミナミヌマエビ	口絵26、235
ミヤケミズムシ	口絵22、188
ミヤマアカネ	150
ミヤマカラスシジミ	139
ミヤマチャバネセセリ	口絵20、145
ムカシトンボ	147
ムカシヤンマ	149
ムスジイトトンボ	146
ムツサング	口絵30、259
ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	口絵23、195
ムネアカアワフキ	186
ムネアカセンチコガネ	199
ムネアカツヤケシコメツキ	202
ムネグロメバエ	173
ムネシロテンカバナミシャク	215
ムラクモヒシガタグモ	228
ムラサキシタバ	220
ムラサキハガタヨトウ	220
ムラサキミツボシキリガ	177
ムロズミソレグモ	227
メスグロヒョウモン	口絵19、142

モートンイトトンボ	口絵11、107
モジャモジャツチイロゾウムシ	210
モモジロコウモリ	32
モリアオガエル	75
モリクサツミトビケラ	213
モリヤギセル	252
モンクロベニカミキリ	207
ヤ イイロチョウ	口絵3、43
ヤノトラカミキリ	207
ヤマクルマガイ	249
ヤマセミ	口絵5、54
ヤマタカマイマイ	253
ヤマトカナエグモ	228
ヤマトスナハキバチ	171
ヤマトタマムシ	201
ヤマトスマエビ	口絵26、235
ヤマトマダラバッタ	口絵20、152
ヤマトモンシデムシ	197
ヤマネ	口絵1、30
ヤマメタニシ	250
ユビナガコウモリ	口絵1、32
ヨウジウオ	口絵9、87
ヨコトネカイメン	口絵30、263
ヨコミゾドロムシ	口絵22、168
ヨコヤマヒゲナガカミキリ	170
ヨシゴイ	口絵2、39
ヨシノキシタバ	221
ヨスジキリガ	177
ヨタカ	口絵4、50
ヨツモンカメムシ	159
ラ ルーミスシジミ	口絵13、117
ルリクワガタ	164
ルリヒラタムシ	203
ルリボシカミキリ	206
ルリボシヤンマ	148
ルリヨシノボリ	口絵9、89
ワ ワスレナグモ	口絵27、226
ワタナベカレハ	215

(表紙)



- ① ルーミスシジミ
- ② カンムリウミスズメ
- ③ カワラハンミョウ
- ④ オキサンショウウオ

(裏表紙)



- ⑤ オキビロウドマイマイ
- ⑥ アカショウビン
- ⑦ ヤマネ
- ⑧ ダイコクコガネ
- ⑨ ミナミアカヒレタビラ
- ⑩ ハマガニ

改訂 しまねレッドデータブック2014動物編

～島根県の絶滅のおそれのある野生動物～

平成26年3月発行

発行 島根県環境生活部自然環境課
島根県松江市殿町1番地
TEL 0852-22-6377

協力 公益財団法人 しまね自然と環境財団
公益財団法人 ホシザキグリーン財団

印刷 株式会社 島根県農協印刷

ISBN978-4-9906997-1-0

改訂 しまねレッドデータブック 2014 動物編

島根県の絶滅のおそれのある野生動物

